

# 地域アクションプランの 平成28年度の進捗状況等

---

・全体まとめ	.....	1
1 平成28年度の主な成果		
2 各地域の主な動き		
・安芸地域	.....	12
・物部川地域	.....	34
・高知市地域	.....	50
・嶺北地域	.....	64
・仁淀川地域	.....	80
・高幡地域	.....	100
・幡多地域	.....	118

# 地域アクションプランの進捗状況等について

## 1 平成28年度の主な成果

### ◆これまでの取り組みを土台に、各取り組みがさらにステージアップ

### ◆ 地域資源の活用や地域主体の観光振興の取り組みがさらに進み、「地産外商」が活発に。さらに、地産外商の成果を「拡大再生産」につなげる動きも広がりはじめ。

#### 【地産外商がさらに活発化、拡大再生産の動きも広がり始める】

- 果物やブランド米、水産物、ヤギミルク等の地域資源を活用した新たな加工品が数多く誕生。ユズや土佐はちきん地鶏の新たな加工施設の整備が進むなど、地域の加工品づくりがさらに活発化。
- 一次産業事業者（四万十ポークの生産者）が、生産拡大と併せて、食品加工や飲食にまで事業を拡大するという新たな挑戦も行われる。
- 商談会への出展等、積極的な販路開拓により、国内における外商が拡大。さらなる拡大に向け、県版H A C C P認証の取得等、生産管理の高度化の取り組みが各事業者で進む。海外に向けては、青果ユズや冷菓の輸出が定着しつつあるほか、地域商社による加工品の輸出といった新たな挑戦も行われる。
- 拡大再生産に向け、ウルメイワシの加工やカット野菜などの事業で加工施設の拡張整備が進む。

#### 【地域が主体となった観光振興の取り組みがさらに進む】

- 各地域において、広域観光組織を核とする観光人材の育成や旅行商品の造成などがさらに進展。高幡地域では、「2016奥四万十博」の開催を通じて、様々な体験プログラムが造成されるとともに、地域の連携が強化。
- 「志国高知 幕末維新博」の開幕に向けて、地域の歴史資源の磨き上げや観光クラスターの形成が各地で進む。
- 豊かな自然を活かした観光拠点（アウトドア拠点、スポーツ拠点等）の整備に向け、各地で計画づくりが進む。

#### 【地域における連携・協働、クラスター化により、経済効果が波及】

- 地域製品の販売拠点となる直販所や道の駅がさらに充実。地域における加工品づくりとの連携・協働がさらに進む。
- 地域アクションプランにおいて、集落活動センターの経済活動とリンクした取り組みが進む。（集落活動センターにおける観光客への昼食や体験メニューの提供等）
- H28からスタートした地域産業クラスターについて、各プロジェクトのプランづくりが着実に進み、地域アクションプランの面からも、プランの具体化を後押し。

#### ■ 地域アクションプラン数

	安芸	物部川	高知市	嶺北	仁淀川	高幡	幡多	計
H28当初	31	27	30	23	36	41	46	234
追加					1	1	1	3
H28最終	31	27	30	23	37	42	47	237
追加	1		1				4	6
削除		▲1	▲1				▲3	▲5
H29当初	32	26	30	23	37	42	48	238

#### ■ 地域アクションプランの主な支援策の活用状況（平成28年度） ※H29.3月末見込み

- ・産振総合補助金 13事業 総事業費1,568,685千円（県補助金額388,091千円）
- ・産業振興アドバイザー事業 採択件数50件、指導・助言回数152回

#### ■ 主な成果

- ・地域アクションプランによる雇用の創出（平成28年度見込） 197人（うち産振総合補助金導入事業関連118人）
- ・H21～26年度に産振総合補助金を活用した事業の売上の増加額（各事業における補助金の活用前とH27売上実績の差の計） 約52.6億円

## 2 各地域の主な動き

### 仁淀川地域

観光交流施設「南風」が新たにオープンするとともに、**村の駅ひだか**は、引き続き売上額・来客者数を順調に伸ばしている。

また、**宇佐の一本釣りうめいわし**の加工品や**カット野菜**、**地乳製品**の需要拡大に伴い、生産体制の強化と衛生管理の高度化に向けた施設整備が進んでいる。

観光分野では、「志国高知 幕末維新博」の開幕に向け、地域会場となる**紙の博物館**や**青山文庫**の磨き上げが図られたほか、**横倉山**や**屋形船**におけるガイド養成が進むなど、さらなる誘客に向けた体制が強化された。また、県外企業との協働による**アウトドア拠点施設**の整備に向けた取り組みが着実に進んでいる。

### 高幡地域

直販所「**とさっ子広場**」が新たにオープンし、売上額・来客者数を順調に伸ばしている。

また、**キジや栗**、**養殖魚の加工品**は、積極的な外商展開により県外への販路をさらに拡大。**四万十ポーク**は、新たな畜舎の整備による生産体制の強化とともに、加工・直販施設や高知市内の飲食店の開業による事業拡大が進んでいる。

観光分野では、「**2016奥四万十博**」の開催を通じて、様々な体験プログラムが造成され、入込客数を伸ばすとともに、地域の連携が強化された。また、浦ノ内湾を**海洋スポーツ**の拠点として整備する取り組みが進んでいる。

### 幡多地域

農業分野では、**ユズ**、**直七**、**ぶしゆかん**等の柑橘の産地化やブランド化を目指し、作付面積の拡大や、加工及び販路拡大等の体制づくりなどが順調に進んでいる。

水産業分野では、加工事業者等の積極的な外商活動の展開や、県内外の飲食事業者等との連携強化が進み、着実に売上を伸ばし、雇用の創出にもつながっている。さらに、**メジカ**や**養殖マグロ**といった地域の強みを活かした、漁業者や多様な事業者による地域産業クラスターの形成を目指す取り組みも推進されている。

商業分野では、新たに拠点ビジネスとして展開を開始した「**よって西土佐**」の売上高は順調に伸び、計画を上回っている。

観光分野では、**日本版DMOの形成**に向けた取り組みのほか、**スポーツと一般観光を融合**させた新たな観光商品の造成や受入体制づくりが進められている。

**土佐あかうし**の増頭対策や、**大川黒牛**、**土佐はちきん地鶏**の飼育施設の拡張により、生産拡大に向けた体制強化が図られるとともに、土佐はちきん地鶏の食鳥処理・加工施設の整備に着手し、販売拡大に向けた付加価値の向上に取り組んでいる。

また、**ブランド米「土佐天空の郷」**が全国コンクールで品質を高く評価され、販売面でも効果が表れているほか、ブランド米を原料とする**泡盛**や**甘酒**の生産が開始されるなど新たな加工品づくりが進んでいる。

観光分野では、県外企業との協働による**アウトドア拠点施設**の整備に向けた取り組みや民泊誘致の体制づくり等が着実に進んでいる。

集落活動センターでは、スギの**コンテナ苗**の栽培や、**森の教習所**による研修事業の実施といった経済活動が始動した。

### 嶺北地域

地域の基幹品目である**シシトウ**や**ニラ**の生産拡大と品質向上に向けた取り組みが進んだほか、新たな次世代型ハウスの整備による**還元水を活用した野菜**の生産拡大や畜舎整備による**ヤギミルク**の増産など、生産体制の強化が図られた。

また、地域の果物を使用した**氷菓**や**焼き菓子**等を製造・販売する施設がオープンしたほか、誘致も視野に入れた**海洋堂ファクトリー**と連携した「**ごめん**」の賑わいづくりの取り組みが進んでいる。

観光分野では、物部川流域3市の観光関係者等で組織する「**物部川DMO協議会**」が設立され、広域観光の推進体制がさらに強化された。

### 物部川地域

### 安芸地域

**ユズ**のEUへの青果輸出が定着しつつあるほか、青果の生産拡大と品質向上に向けた新植・改植の取り組みが進んでいる。

また、**キラメッセ室戸「楽市」**や**海の駅東洋町**では、売上額・来客者数とも順調に推移しているほか、**奈半利町**では特産品の開発が進み、主にふるさと納税返礼品として販売額を伸ばしている。

観光分野では、「志国高知 幕末維新博」の開幕に向け、地域会場となる**中岡慎太郎館**や**室戸世界ジオパークセンター**等の磨き上げや周遊プランの造成が図られたほか、**魚梁瀬森林鉄道遺産**の日本遺産への認定申請が行われた。

### 高知市地域

土佐山地区において、**有機・無農薬栽培**の農産物を活用したスイーツ等の加工・販売事業や、**ユズの搾汁残渣**を活用した精油事業が始動したほか、**竹資源**を活用した産業の集積が進んでいる。

高知市中心市街地では、大型クルーズ客船の寄港等により増加する**外国人観光客**の受入体制が強化されたほか、**日曜市**では、出店基準の緩和により新たな出店者が増加するなど、高知市中心部の魅力向上につながっている。

また、「志国高知 幕末維新博」の開幕に向け、歴史資源の磨き上げや浦戸湾を周遊する**観光遊覧船**の運航体制の強化などが図られた。

# 地産地消・地産外商（ブランド化、アンテナショップ）

## ユズを中心とした中山間振興【室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村】

### 取り組みの内容

- ＜JA土佐あき＞
  - 青果の生産拡大と果実品質向上のための新植・改植の推進
  - EU向け輸出青果の腐敗果対策として、早期収穫とクールチェーンを実施
  - 国内外への積極的な販路の開拓
- ＜JA馬路村＞
  - ユズ加工品の販路拡大に向けて、高知市内にアンテナショップを開設（H27年度末）



### 主な成果

- ＜JA土佐あき＞
  - 青果出荷受入量 337t(H27)→356t(H28)
  - 加工仕向量 4,954t(H27)→5,995t(H28)
  - フランス等EU諸国に5年連続で青果を輸出（H28輸出実績：4t）
- ＜JA馬路村＞
  - 高知市内アンテナ店売上高 0円(H27)→4,624万円(H28)

### 今後の方向性

- 安定生産に向けた新植、改植の推進
- ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓
- 消費者ニーズに対応するための加工品製造施設の整備（JA馬路村）

## 三原村ユズ産地化計画の推進事業【三原村】

### 取り組みの内容

- ユズの生産拡大
- 研修生の受入
- 選果・搾汁施設の稼働
- ユズ加工品の販売拡大

### 主な成果

- 生産量 151.1t(H27)→221.5t(H28)
- 青果率 13.6%(H27)→20.8%(H28)
- 販売金額 23,820千円(H27)→37,500千円(H28)

### 今後の方向性

- 新規就農者の確保と育成、青果率の向上など、ユズ生産体制の強化
- 集落活動センターとの連携強化
- ユズ加工品の磨き上げと販売促進



## 四万十の栗再生プロジェクト【四万十町】

### 取り組みの内容

- 栗の剪定技術者の委嘱（1名）
- 研修会等による栽培技術指導
- 新商品の開発（3種類）

### 主な成果

- 栗集荷量 24t(H27)→29t(H28)
- おちゃくりカフェ販売額 68,756千円(H27)→68,996千円(H29.1月末現在)

### 今後の方向性

- 剪定技術の普及
- 新商品の開発と販売促進



## 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化【南国市】

### 取り組みの内容

- 還元野菜生産者会議の開催（生産状況等の確認）
- 次世代型ハウスの整備
- 還元野菜のセット販売開始

### 主な成果

- 次世代型ハウスの整備による生産体制の強化
- 雇用の創出 6人（うち短期6人）

### 今後の方向性

- 直販所等での「還元野菜」コーナーの設置
- 地元飲食店等へ「還元野菜」の供給



## 米のブランド化による稲作農業の展開【本山町】

### 取り組みの内容

- ブランド米の生産増、販路拡大
- ブランド米を活用した加工品の開発、製造販売

### 主な成果

- ブランド米の販売額 3,400万円(H27)→3,500万円(H29.1月末現在)
- 第13回お米日本一コンテストinしずおか 特別最高金賞受賞

### 今後の方向性

- 生産者と生産量の増大
- 直接販売の増加等による生産者所得の向上
- 加工品開発による中米の利用拡大



## 四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業【四万十市】

### 取り組みの内容

- 四万十ぶしゅかん生産者組合の設立
- 苗木及び獣害防止柵への補助、幼木の管理技術指導
- 加工品の製造、販売
- 商談会への出展や、首都圏での認知度向上キャンペーンの実施

### 主な成果

- 栽培面積 490a(H27)→720a(H28見込)
- 生産量 18,700kg(H27)→26,259kg(H28)

### 今後の方向性

- 栽培技術の向上による生産量の増加
- 集出荷体制の効率化
- 加工品の生産及び衛生管理の強化
- ぶしゅかんの認知度向上



土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化

## 土佐はちきん地鶏・大川黒牛

### 取り組みの内容

- ・はちきん地鶏育雛鶏舎等の整備(6月)
- ・食鳥処理・加工施設の整備に着手
- ・黒牛肥育牛舎の整備(4月)
- ・首都圏での販売強化

### 主な成果

- ・新規取引先 33社 累計109社(H28.12月末現在)
- ・はちきん地鶏の出荷羽数 5.5万羽(H27)→6万羽(H28見込)
- ・黒牛の販売額 40,000千円(H27)→44,518千円(H29.1月末現在)

【大川村】

＜(株)むらびと本舗、(一社)大川村ふるさとむら公社等＞

### 今後の方向性

- ・村内施設での食鳥処理及び加工品の生産
- ・県版HACCP認証の取得
- ・首都圏等での販路の拡大
- ・繁殖雌牛の増頭



土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興

## 土佐あかうしの生産基地

### 取り組みの内容

- ・繁殖雌牛及び肥育牛の増頭
- ・育成技術の向上

### 主な成果

- ・(株)れいほく未来の飼養頭数 128頭(H27) →176頭(H29.1月末現在)

【本山町、大豊町、土佐町】

＜JA土佐れいほく、(株)れいほく未来等＞

### 今後の方向性

- ・繁殖雌牛及び肥育牛のさらなる増頭
- ・繁殖から肥育までの一貫した生産管理の徹底



「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組 【南国市】

## ごめんケンカシャモ

＜企業組合ごめんシャモ研究会等＞

### 取り組みの内容

- ・各種イベントへの出展(9回)
- ・シャモ料理提供店舗の紹介
- ・直営飲食店「軍鶏伝」の営業による消費拡大

### 今後の方向性

- ・高知農業高校との連携等による生産体制の強化
- ・新商品の開発、商談会出席等による販路開拓
- ・シャモ肉の安定生産、生産拡大に向けた食鳥処理施設の整備

### 主な成果

- ・売上高 39,258千円(H27) →43,000千円(H28見込)



ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業 【南国市】

## ヤギミルク

＜川添ヤギ牧場＞

### 取り組みの内容

- ・飲料用ヤギミルクの販売開始(ひまわり乳業(株)への原料供給)
- ・ヤギミルクを使ったアイスクリームの開発(OEM)、試験販売
- ・ヤギ肉の試食会開催
- ・ヤギ畜舎の増築

### 今後の方向性

- ・飼育頭数の増によるヤギミルクの生産拡大
- ・ひまわり乳業(株)と連携したヤギミルクの販路拡大
- ・ヤギ肉の販路開拓

### 主な成果

- ・売上高 3,038千円(H27) →3,591千円(H28)
- ・雇用の創出 4人(うち短期4人)



四万十のうまい豚プロジェクト

## 四万十ポーク

【四万十町】

＜四万十ポークブランド推進協議会、(農)四国デュロックファーム、(農)平野協同畜産＞

### 取り組みの内容

- ・加工直販所のオープン(4月)
- ・豚バル(高知市内飲食店)のオープン(5月)
- ・豚舎の新築及び補改修
- ・農場HACCP推進農場に認定(県内初)

### 主な成果

- ・加工直販所の売上高 0千円(H27)→56,259千円(H29.1月末現在)
- ・豚バルの売上高 0千円(H27)→10,966千円(H29.1月末現在)
- ・雇用の創出 25人(うち長期12人、短期13人)

### 今後の方向性

- ・営業活動等による販路の拡大
- ・年間出荷頭数の増加



売り出せ西土佐プロジェクト推進事業

## 道の駅「よって西土佐」

【四万十市】

＜(株)西土佐ふるさと市、四万十市＞

### 取り組みの内容

- ・道の駅「よって西土佐」がオープン(4月)
- ・サテライトショップ「よって西土佐まつやま」がオープン(10月)
- ・地域素材を活用した商品の開発・販売

### 主な成果

- ・(株)西土佐ふるさと市の売上高 41,398千円(H27) →155,981千円(H29.2月末現在)
- ・レジ通過者数 66,569人(H27) →167,196人(H29.2月末現在)
- ・雇用の創出 23人(うち長期23人)

### 今後の方向性

- ・地域素材を活かした新たな商品開発等による売上の増加
- ・周辺施設・商店街等との連携強化
- ・幡多エリアの観光情報等の発信による観光の拠点化



観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化  
**観光交流施設「南風」** 【土佐市】

＜土佐市、特定非営利活動法人新居を元気にする会＞

**取り組みの内容**

- ・直販所及びカフェのオープン(4月)
- ・アドバイザー活用による魅力ある店舗づくり
- ・地域農産物を活用した加工品の開発

**今後の方向性**

- ・交流人口の拡大に向けた仕組みづくり(観光案内・情報発信の強化、観光体験メニューの提供等)
- ・直販所、カフェの安定的な運営

**主な成果**

- ・施設来客者数 0人(H27)→69,000人(H28見込)
- ・直販所の販売額 0千円(H27)→28,000千円(H28見込)
- ・カフェの販売額 0千円(H27)→21,000千円(H28見込)
- ・雇用の創出 15人(うち長期11人、短期4人)



「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化  
**村の駅ひだか** 【日高村】

＜日高村、(株)村の駅ひだか＞

**取り組みの内容**

- ・売上、来客者、イベント等の分析に基づく商品の品揃えの充実
- ・併設の「村の案内所ひだか」による観光情報発信

**今後の方向性**

- ・出荷者の増及び商品の品揃えの充実
- ・特色ある商品づくりや魅力的な加工品の開発
- ・店舗の狭隘への対応
- ・観光案内所機能の充実

**主な成果**

- ・直販所の販売額 197,175千円(H27)→224,439千円(H28見込)
- ・レジ通過者数 192,511人(H27)→207,000人(H28見込)
- ・雇用の創出 2人(うち長期2人)



直販所の整備による農業者の所得向上  
**とさっ子広場** 【須崎市・津野町・中土佐町】

＜JA土佐くろしお＞

**取り組みの内容**

- ・直販所のオープン(4月)
- ・出荷者研修会の開催

**主な成果**

- ・直販所の販売額 68,000千円(H27)→200,642千円(H28見込)
- ・雇用の創出 17人(うち 長期17人)

**今後の方向性**

- ・産地間連携による端境期の品揃えの強化
- ・夏祭りなど集客イベントの開催



海の駅を拠点とした地域振興  
**「海の駅」東洋町** 【東洋町】

＜東洋町＞

**取り組みの内容**

- ・フェイスブックによる情報発信
- ・地域特産品を活用した飲食メニューの提供

**主な成果**

- ・来場者数 174,122人(H27)→189,466人(H28見込)
- ・販売額 161,151千円(H27)→177,313千円(H28見込)

**今後の方向性**

- ・運営体制の強化
- ・地域産品を活用した加工品の確保
- ・地域の観光情報の発信



キラメッセ室戸「楽市」の機能強化  
**キラメッセ室戸「楽市」** 【室戸市】

＜室戸市＞

**取り組みの内容**

- ・新たな加工品の開発
- ・県外の店舗・アンテナショップへ野菜等を出荷

**主な成果**

- ・来場者数 246,958人(H27)→262,938人(H28見込)
- ・販売額 351,275千円(H27)→359,582千円(H28見込)

**今後の方向性**

- ・農業の6次産業化の推進
- ・販路拡大と集荷体制の整備



**地産地消・地産外商（農産加工）**

「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興  
**まるごと有機プロジェクト** 【高知市】

＜(一財)夢産地とさやま開発公社＞

**取り組みの内容**

- ・スイーツ工場の整備(11月)
- ・高知市内に直営飲食店(2店舗)をオープン(12月及び2月)
- ・有機栽培のショウガやユズを使った加工商品の製造・販売

**主な成果**

- ・販売額 1.37億円(H27)→1.41億円(H29.1月末時点)
- ・雇用の創出 23人(うち長期5人、短期18人)

**今後の方向性**

- ・首都圏に向けたさらなる販路の開拓及び拡大



地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化【香南市】  
**アイスバー**

＜櫛ヤ・シィ、香南市＞

**取り組みの内容**

- ・フルーツアイスバー&スイーツカフェ「manamana」オープン(7月)
- ・アイスバー16種類、スイーツ等の販売
- ・県内外での販路開拓

**主な成果**

- ・売上高 0千円(H27) →8,263千円(H28.12月末現在)
- ・雇用の創出 11人 (うち長期6人、短期5人)

**今後の方向性**

- ・各種研修会への参加による運営体制の強化
- ・外商強化による販路拡大
- ・周辺施設と連携した集客イベントの開催



ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組【本山町】  
**土佐泡盛 REIHOKU**

＜ばうむ合同会社等＞

**取り組みの内容**

- ・土佐泡盛REIHOKUを新発売
- ・クラウドファンディングによるワンカップ泡盛の商品化
- ・新聞、雑誌、テレビによるPR

**主な成果**

- ・新規取引先 30店舗 累計211店舗
- ・焼酎・泡盛等販売本数 3,881本(H27) →5,385本(H29.1月末現在)

**今後の方向性**

- ・認知度の向上による売上の増加
- ・ターゲット層の拡大に向けたリキュール等の開発



梶原産キジ肉の生産・販売の拡大【梶原町】  
**梶原キジ**

＜梶原町雉生産組合、梶原町＞

**取り組みの内容**

- ・熟成商品の発売
- ・商談会への参加
- ・地元飲食店での「キジグルメ」料理の提供
- ・龍馬パスポートに参加
- ・飼育マニュアルの作成

**主な成果**

- ・販売額 14,773千円(H27) →17,481千円(H28見込)
- ・新規取引先 6件

**今後の方向性**

- ・商談会への参加等による販路拡大
- ・アドバイザーの活用による商品内容の見直し



四万十川流域の茶の生産から茶製品の販売拡大による農家所得の向上【津野町】

【津野町】

＜JA津野山、津野町＞

**つる茶**

**取り組みの内容**

- ・茶加工場改修、クリーンルーム及び自動充填機等の整備(H27)
- ・販売促進に向けた茶業アドバイザーの設置
- ・商談会への出展

**主な成果**

- ・かぶせ茶生産面積の拡大 0.5ha(H27) → 0.65ha(H28)
- ・茶製品販売額 22,114千円(H27) → 25,200千円(H28見込)
- ・荒茶販売額 35,046千円(H27)→47,769千円(H28)

**今後の方向性**

- ・商談会への出展等による販路拡大



ユズを核とした中山間農業の活性化【高知市】

**ユズの産地強化と未活用果皮の活用**

＜土佐山ファクトリー協同組合、JA高知市 等＞

**取り組みの内容**

- ・ユズ振興計画の見直し
- ・ユズを活用した加工品の製造・販売
- ・ユズ精油抽出機器の導入

**主な成果**

- ・ユズ販売額 1.9億円(H27)→2億円(H28見込)
- ・未活用果皮を活用した加工品の生産体制の確立

**今後の方向性**

- ・担い手育成による生産基盤の強化
- ・営業活動の強化による首都圏・関西圏への販路開拓



三原村のどぶろくによる地域活性化事業【三原村】

**どぶろく**

＜土佐三原どぶろく合同会社＞

**取り組みの内容**

- ・土佐三原どぶろく合同会社の設立
- ・酒類販売免許の取得
- ・販売の促進
- ・アドバイザーの活用による経営戦略の策定

**主な成果**

- ・法人化等による生産・販売体制の確立
- ・雇用の創出 1人(うち長期1人)
- ・販売額 0千円(H27)→6,000千円(H28見込)



いの町での生姜等加工品製造施設の整備と販売促進

【いの町】

＜西村青果株式会社＞

**生姜等の加工品**

**取り組みの内容**

- ・保冷施設の整備(H27)
- ・大手食品会社等への販促活動
- ・生姜生産農家及び高知県園芸連との原料取引の継続

**主な成果**

- ・売上高 345,845千円(H27) → 531,903千円(H28)
- ・雇用の創出 3人 (うち長期2人、短期1人)

**今後の方向性**

- ・生産体制の維持及び販売強化
- ・原料となる生姜の安定的な調達



## 地産地消・地産外商（林産加工）

竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出 【高知市】

### 竹産業クラスター

＜㈱コスモ工房、(同)高知竹材センター＞

#### 取り組みの内容

- ・竹製自動車ハンドルの素材の製造
- ・竹シート、竹ブラシ等の製造
- ・中山間地域等からの竹の供給体制の構築

#### 主な成果

- ・(同)高知竹材センターへの竹の持ち込み参加者数(団体含む) 0者(H27)→13者(H28)

#### 今後の方向性

- ・竹産業の集積化に向けた竹の供給体制の強化
- ・市場ニーズを踏まえた多様な販路の開拓



町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業 【大月町】

### 土佐備長炭

＜大月町備長炭生産組合＞

#### 取り組みの内容

- ・備長炭生産者の育成
- ・大月町西泊地区と山林の伐採権の譲渡契約を締結

#### 今後の方向性

- ・生産量の安定と技術向上
- ・生産者の収益アップに向けた新たな販売ツールの確立

#### 主な成果

- ・生産者の増加 1人(研修生の地元就労)



土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化

### 土佐備長炭

【東洋町、室戸市】

＜土佐備長炭生産組合、室戸市木炭振興会等＞

#### 取り組みの内容

- ・製炭窯の整備 5基増設
- ・備長炭生産者の育成
- ・土佐備長炭室戸生産組合の設立

#### 今後の方向性

- ・共同利用窯の増設
- ・量産体制の強化
- ・人材の育成

#### 主な成果

- ・生産者の増加 5人



嶺北地域における林業クラスター化の取組 【嶺北地域全域】

### 嶺北地域の林業クラスター

＜森林組合、高知おおとよ製材㈱等＞

#### 取り組みの内容

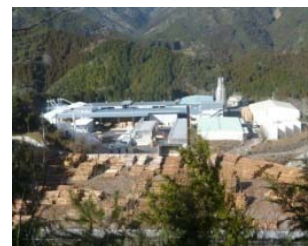
- ・森林組合支援チームによる生産性及び経営改善の支援
- ・嶺北広域原木安定供給協議会の設立
- ・高知おおとよ製材㈱の生産拡大に向けた体制強化及び増産
- ・ストックヤード整備に着手

#### 主な成果

- ・高知おおとよ製材㈱の生産拡大に伴う雇用の創出 3人(うち長期3人)(雇用者総数 50人(H28))

#### 今後の方向性

- ・搬出間伐の生産性向上
- ・林業事業体の体質強化
- ・原木の安定供給



## 地産地消・地産外商（水産加工）

衛生管理強化等による干物等水産加工品販売拡大事業 【大月町】

### 宿毛湾の水産加工品

＜土佐大月海産＞

#### 取り組みの内容

- ・加工施設の整備(H27)
- ・HPのリニューアルによるネット販売の強化
- ・パッケージのリニューアルなど商品のブラッシュアップ

#### 今後の方向性

- ・新規個人顧客の掘り起こし
- ・商談会への出展等による新たな取引先の開拓

#### 主な成果

- ・売上高 15,637千円(H27) →23,852千円(H28)
- ・雇用の創出 1人(うち短期1人)



野見湾養殖カンパチの加工による販売の拡大 【須崎市】

### 極美勘八

＜㈱みなみ丸＞

#### 取り組みの内容

- ・加工施設の整備(H27)
- ・商談会への参加
- ・県版HACCP第1ステージの取得

#### 主な成果

- ・売上高 15,892千円(H27) →27,600千円(H28見込)

#### 今後の方向性

- ・県内取引先の開拓
- ・取引先と連携した新商品の開発



幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業 【黒潮町】

### 県版HACCP認証商品

＜㈱土佐佐賀産直出荷組合＞

#### 取り組みの内容

- ・県内外での商談会等への出展
- ・新商品開発 2件
- ・県版HACCP第3ステージの取得

#### 主な成果

- ・雇用の創出 3人(うち長期3人)
- ・新規取引先 3件
- ・作業工程のマニュアル化による生産性の向上

#### 今後の方向性

- ・衛生管理体制の強化(スタッフの衛生教育、県版HACCP認証商品の拡大)
- ・新商品(ファストフィッシュ等)の開発
- ・既存取引先と連携した商品づくり及び新規取引先の開拓





だしが良くて宗田節商品の販路拡大促進事業

【土佐清水市】

<㈱ウェルカムジョン万カンパニー>

宗田節

取り組みの内容

- ・各種商談会、催事等を通じた販促活動
- ・県版HACCP取得に向けた研修への参加
- ・新商品の開発
- ・衛生管理向上に向けた乾燥機等の導入

主な成果

- ・売上高 61,737千円(H27)  
→91,242千円(H28見込)

今後の方向性

- ・宗田節を活用した新商品の開発
- ・衛生管理体制の強化(県版HACCPの取得)



土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト

【土佐清水市】

<土佐清水ホールディングス㈱、土佐清水市等>

メジカの加工品

取り組みの内容

- ・原魚確保体制の強化
- ・新たな主力商品の開発

主な成果

- ・メジカ漁師の研修生受け入れ 2人
- ・「宗田節ぽん酢」が「高知家のうまいもん大賞-2017-」優秀賞を受賞

今後の方向性

- ・メジカ産業クラスター形成に向けた連携
- ・商品力の強化と販路拡大



中土佐町地域ブランドの創出と販売促進

【中土佐町】

ぴんぴ (スラリーアイス活用)

<中土佐町>

取り組みの内容

- ・「ぴんぴ鯉」及び「上々鯉」の販促活動
- ・特選鯉の販売開始
- ・OEM生産の開始
- ・県版HACCP研修の受講



主な成果

- ・売上高 6,791千円(H27)  
→13,912千円(H29.1月末現在)
- ・新規取引先 7件

今後の方向性

- ・商談会や産地見学会を通じた販路拡大
- ・新商品の開発

宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化

【土佐市】

<企業組合宇佐もん工房>

一本釣りうるめいわし

取り組みの内容

- ・加工施設の拡張整備(3月完成予定)
- ・県内外の商談会等へ出展
- ・ネット販売、食事処の運営
- ・「一本釣りうるめ祭り」の開催

今後の方向性

- ・加工処理能力の向上及び衛生管理の高度化による販路拡大
- ・加工品開発
- ・原材料(うるめ)の確保
- ・漁業者の後継者確保

主な成果

- ・売上高 61,550千円(H26)  
→75,580千円(H28見込)
- ・雇用の創出 2人(うち長期2人)
- ・一本釣りうるめ祭りへの参加店舗数 12店舗(H27)→18店舗(H28)



魅力のある観光

高幡地域の広域観光の推進

【高幡地域全域】

<高幡広域市町村圏事務組合>

2016奥四万十博

取り組みの内容

- ・地域博覧会「2016奥四万十博」の開催
- ・体験プログラムの造成や磨き上げ
- ・広報及びセールス活動の実施

主な成果

- ・主要観光施設入込客数 2,006,482人(H27)  
→2,060,574人(H28見込)
- ・宿泊者数 43,482人(H27)  
→45,801人(H28見込)
- ・奥四万十博開催による観光消費額(推計) 約9億8,900万円

今後の方向性

- ・体験プログラムの磨き上げ
- ・5市町の連携による県内外への観光情報の発信等



広域観光の取組の推進

【物部川流域全域】

<南国市、香南市、香美市、各市の観光協会>

物部川流域観光の推進

取り組みの内容

- ・物部川DMO協議会設立
- ・㈱ものべみらい設立(DMO協議会事務局)
- ・PRパンフレット「じゃらん」の作成・配布
- ・物部川流域フェスタ(4,000人参加)
- ・パイロットイベントの開催「おさかなクリスマス in 高知・物部川」(1,800人参加)

主な成果

- ・物部川流域3市における広域観光の推進体制の確立



今後の方向性

- ・子育て世代をターゲットにした誘客の促進
- ・物部川流域内での周遊策の検討・実行

「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進【仁淀川流域全域】

仁淀川流域観光の推進

<(-社)仁淀ブルー観光協議会等>

取り組みの内容

- ・流域市町村等と連携した旅行商品の企画・セールス
- ・仁淀川流域の観光情報発信
- ・「仁淀川地域観光振興計画」の策定
- ・第二種旅行業登録
- ・お土産品等の開発・販売

今後の方向性

- ・観光資源の旅行商品化、継続したセールス活動
- ・「奇跡の清流仁淀川」ブランドを生かした情報発信の強化
- ・観光に携わる人材の育成
- ・安定的かつ戦略的な組織運営(自主財源の確保、日本版DMOの登録等)

主な成果

- ・協議会のセールスで実現したツアー 147本 3,784人(H27)  
→180本 4,400人(H28見込)



## 安芸地域の観光振興の推進

### 安芸地域の広域観光の推進

## 【安芸地域全域】

<(一社)高知県東部観光協議会等>

#### 取り組みの内容

- ・新たに設立された(一社)高知県東部観光協議会による広報及びセールス活動
- ・志国高知 幕末維新博と連携した周遊キャンペーン、パンフレット作成等
- ・土佐の観光創生塾(6回)に延べ121人が参加
- ・維新博地域会場での人材育成研修
- ・教育旅行誘致活動
- ・市町村と連携した民泊登録世帯の増加に向けた取り組み及び民泊受入家庭への研修会等の開催

#### 主な成果

- ・土佐の観光創生塾による新たな旅行商品の造成・販売 6件
- ・民泊登録世帯の増 95軒(H27)→105軒(H28)
- ・教育旅行の受入決定 3校(H28実施校) →10校(うちH29実施予定5校、H30実施予定5校)

#### 今後の方向性

- ・官民一体となった教育旅行の受入体制の確立
- ・(一社)高知県東部観光協議会の旅行業第2種登録による旅行商品の造成・販売
- ・体験プログラム等の磨き上げ
- ・マーケティングに基づく戦略づくり、戦略に基づく情報発信やプロモーション、セールス活動による入込客数の確保



## 幡多広域におけるスポーツツーリズムの推進を核とした交流人口の拡大

【幡多地域全域】

### 都市部との交流人口の拡大

<(一社)幡多広域観光協議会>

#### 取り組みの内容

- ・合宿等専用ポータルサイトの開設
- ・6市町村連携による受入体制づくり
- ・人工芝整備を活かした誘致活動の強化



#### 今後の方向性

- ・ポータルサイト等を活用した幡多地域全体への合宿等の誘致促進
- ・体験型観光の受入に向けた集落活動センターなど地域住民との積極的な連携

#### 主な成果

- ・合宿等受入(黒潮町) 5,119人泊(H27) →8,600人泊(H28見込)

## 嶺北地域の連携による交流人口の拡大【嶺北地域全域】

### 広域連携による交流人口の拡大

<嶺北地域観光・交流推進協議会等>

#### 取り組みの内容

- ・広域観光組織の機能強化に向けた研修の実施
- ・エージェントへのプロモーション活動
- ・広域観光・交流パンフレットの改訂
- ・民泊研修の実施

#### 今後の方向性

- ・教育旅行のさらなる誘致に向けた民泊家庭の拡大
- ・広域観光組織の体制強化

#### 主な成果

- ・公共関連宿泊施設の宿泊者数 15,028人(H27)→15,534人(H28見込)
- ・民泊受入世帯数の増加 49世帯(H27)→78世帯(H28見込)
- ・教育旅行の受け入れ 0件(H27)→5件164人(H28見込)



## 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進【高知市】

### 体験型旅行商品(とき恋ツアー)

<榊城西館>

#### 取り組みの内容

- ・第2種旅行業免許を活用した新商品の開発
- ・ガイドブックの発行(多言語化)
- ・県内全域での旅行商品づくり

#### 今後の方向性

- ・さらなる旅行商品づくりと情報発信

#### 主な成果

- ・新たな旅行商品の造成 56コース(H27) →63コース(H28見込)
- ・利用客数 3,300人(H27) →3,600人(H28見込)



## 浦戸湾を活用した観光の振興【高知市】

### 新高知市観光遊覧船

<土佐レジン>

#### 取り組みの内容

- ・浦戸湾周辺の地域資源を活かした観光遊覧船の運航
- ・幕末維新博に合わせた船内アナウンスの充実
- ・遊覧船の増隻(1隻→3隻)
- ・発着場の変更による利用客の利便性の向上

#### 今後の方向性

- ・利用客のさらなる増加に向けたクルーズ内容の充実及びPRの強化

#### 主な成果

- ・遊覧船乗船客数 0人(H26)→662人(H28見込)
- ・利用客の受入体制の強化



## 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化

### 屋形船仁淀川

<日高村、(株)屋形船仁淀川> 【日高村】

#### 取り組みの内容

- ・屋形船ガイド養成
- ・ツアー客等へのガイド実践
- ・村のガイドひだか(屋形船、フットパス、ケービング等のガイド組織)設立
- ・レンタサイクル駐輪場の整備

#### 今後の方向性

- ・ツアー客や外国人観光客の増加に向けた集客力の向上と情報発信
- ・観光客へのおもてなし(遊覧ガイドの養成・体験メニューの開発等)の向上
- ・地域コミュニティと協調した観光拠点施設(体験交流・飲食・宿泊等)の整備

#### 主な成果

- ・乗船者数 3,992人(H27) →4,985人(H28見込)
- ・屋形船ガイド数 0人(H27)→5人(H28)



## 県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実【高知市】

### 外国人観光客への高知流おもてなし

<高知おせっかい協会>

#### 取り組みの内容

- ・中心商店街等の店舗におけるメニュー等の多言語化の推進
- ・「外国人観光客に対する接客講座」の開催
- ・大型クルーズ客船寄港時の観光案内

#### 今後の方向性

- ・各店舗における外国人観光客に対する接客レベルの向上
- ・メニューの多言語化店舗数及びオセッカイ認定者数の拡大

#### 主な成果

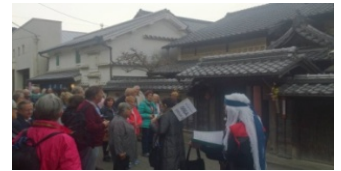
- ・おせっかい協会によるメニュー等の多言語化店舗数 35店舗(H27)→40店舗(H29.2月末現在)
- ・オセッカイ認定者数 109人(H27)→151人(H29.2月末現在)



歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進  
**まち歩きガイド・歴町観光の推進**

【佐川町】

＜NPO佐川くろがねの会、佐川町、  
 (一社)さかわ観光協会＞



取り組みの内容

- ・幕末維新博に併せてガイド衣装の製作
- ・観光ガイド勉強会の実施(英語対応、佐川の偉人)
- ・青山文庫リニューアル整備、旧竹村呉服店改修整備、のれん・看板等案内表示等整備による上町周遊の魅力向上

主な成果

- ・上町地区への入込客数 20,599人(H27)  
 →22,500人(H28見込)
- ・上町まち歩きガイド利用者数 3,464人(H27)  
 →4,000人(H28見込)

今後の方向性

- ・さらなる誘客に向けて、さかわ観光協会を中心に関係機関・団体や住民が一体となった「チーム佐川」でのおもてなしの体制づくり

その他の特徴的な展開

農園レストランによる地域食材の消費拡大 【南国市】

**農園レストラン**

＜(株)ナイフアンドフォークカンパニー＞

取り組みの内容

- ・地元食材(シャモ、ヤギミルク等)を活用したメニュー提供
- ・店舗横に良心市の設置
- ・レギュラーメニューのリニューアル(生産者の写真掲載など、地元色を出したものに変更)
- ・幕末維新博に併せて庭園部分に龍馬像を設置

今後の方向性

- ・新たな企画等の実施によるリピーターの確保
- ・夕方以降の顧客獲得に向けた夜メニューの強化



主な成果

- ・売上高(9月期) 0千円(H27)→220,991千円(H28)
- ・食材の地産地消率 83%

地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進  
**イチジク、金目鯛等の加工品** 【奈半利町】

＜奈半利町、NCL48、漁協女性グループ、(一社)なはりの郷＞

取り組みの内容

- ・加工施設のオープン(5月)  
 農水産加工:奈半利のおかって  
 水産加工:加領郷魚舎(なや)
- ・イベント出店等による販促活動
- ・新商品の開発



主な成果

- ・奈半利のおかって売上高 0千円(H27)→9,925千円(H29.2月末現在)
- ・加領郷魚舎売上高 0千円(H27)→15,040千円(H29.2月末現在)

今後の方向性

- ・ふるさと納税返礼品等の需要に対応するための生産体制の強化、後継者の育成
- ・商談会を活用した販路開拓
- ・奈半利町通販サイトを活用した販路の拡大

昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業【宿毛市】  
**羊羹パン、保存用ラスク**

＜(有)菱田ベーカリー＞

取り組みの内容

- ・国内外の展示商談会等へ出展
- ・首都圏でのテストマーケティング
- ・マスメディアを活用した情報発信
- ・新商品の開発

今後の方向性

- ・羊羹パンのさらなる認知度の向上
- ・インターネットを活用した通販事業の強化



主な成果

- ・売上高 27,000千円(H27)  
 →35,187千円(H28見込)
- ・首都圏の高質系スーパーで定番商品として取引開始

日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化【高知市】  
**街路市**

＜出店者4組合、高知市等＞

取り組みの内容

- ・新規出店者の拡大に向けた出店基準の緩和
- ・駐車場やトイレ等の案内板の設置
- ・日曜市の食材を活用した飲食店との連携

今後の方向性

- ・様々な媒体を活用した日曜市の魅力の発信
- ・新規出店者のさらなる拡大



主な成果

- ・新規出店者数 15件(H27)→26件(H29.2月末現在)

四万十地域の素材を活かした新たな外商戦略構築事業  
**四万十食材等の加工** 【四万十市】

＜しまんと百笑かんぱに(株)、四万十市地域商品研究会＞

取り組みの内容

- ・自社商品の開発及びブラッシュアップ
- ・展示会や商談会への出展
- ・県版HACCP取得に向けた研修への参加
- ・台湾での高知県フェアの開催
- ・人材育成セミナーの実施

今後の方向性

- ・生産拡大に向けた加工施設整備の検討
- ・さらなる販路の拡大
- ・地域商社としての機能強化



主な成果

- ・売上高 33,350千円(H27)  
 →48,000千円(H28見込)

学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム  
**「ONEれいほく」の構築** 【嶺北地域全域】

**若者と地域をつなぐONEれいほく**

＜NPO法人ONEれいほく、高知大学等＞

取り組みの内容

- ・ONEれいほくのNPO法人化
- ・役場等からのプロジェクトの受託 6件(碁石茶生産補助者の受入・販売促進、農業インターシップの企画・実施等)

今後の方向性

- ・地域活性化に資するオリジナルプロジェクトの企画・実施
- ・地域の情報発信や人材の誘致

主な成果

- ・だいちハウス訪問者数 0人(H27)  
 →延べ585人(H29.1月末現在)
- ・ONEれいほくの関与による嶺北地域への移住者数 7件 9人





## 安芸地域アクションプランの進捗状況等

H29.3.28  
安芸地域本部

### 1 地域アクションプランの平成28年度の実施状況（総括）

#### (1) 総評

全項目（31項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

農業分野では、ユズについて、果実の品質アップに向けた栽培講習、改植事業等の勉強会などを開催するとともに、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行っており、北川村では、村が主体となり、農業経営の安定化と作業効率の向上のためのユズ栽培農地の集約を進めている。

林業分野では、室戸市において土佐備長炭の価格競争力の向上に向けた新たな団体が設立され、市有林の立木の売却についての検討など関係者協議を進めるとともに、新規研修生の受入による後継者の育成に取り組んでいる。

水産分野では、定置網漁業の漁獲物に高鮮度処理を施すことによる付加価値向上や、商談会への参加等による販売促進に取り組み、新規取引先の確保に繋がっている。

なお、シラスについては、平成24年度に整備した加工施設の加工処理能力の向上に対応できるよう、漁業者と加工事業者との連携強化による、漁業生産体制の構築と販路拡大などに取り組んでいる。

商工業分野では、キラメッセ室戸「楽市」や海の駅東洋町の売上額・来客者数が順調に推移しているほか、奈半利町では特産品の開発が進み、主にふるさと納税返礼品として販売額を伸ばしている。

観光分野では、市町村や高知県東部観光協議会が中心となり、3月から開催している志国高知幕末維新博の地域会場である中岡慎太郎館など5施設の磨き上げのほか、教育旅行の受入増加や観光クラスター形成等に向けた広域的な取り組みが進んでいる。

#### (2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A 土佐あき</li> <li>・ J A 馬路村</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>( J A 土佐あき )</p> <p>青果出荷受入量(1～12月) : 500 t &lt;H26 : 449t&gt;</p> <p>加工仕向量(1～12月) : 5,000 t &lt;H26 : 4,489t&gt;</p> <p>( J A 馬路村 )</p> <p>加工品販売額 (1～12月) : 36億円 &lt;H26 : 32億円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>( J A 土佐あき )</p> <p>青果出荷受入量(1～12月) : 350t</p> <p>加工仕向量(1～12月) : 4,800t</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>(JA馬路村) 加工品販売額(1~12月): 32億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>(JA土佐あき)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青果出荷受入量(1~12月): 356 t (前年比105%)</li> <li>・加工仕向量(1~12月): 5,995t (前年比121%)</li> </ul> <p>(JA馬路村)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品販売額(1~12月): 28億9,366万円(前年比96%)</li> </ul> <p>○新植・改植の推進(青果の生産拡大と品質向上)(JA土佐あき)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培講習、改植事業等の勉強会(32回)</li> <li>・出荷目慣らし会の開催(4回)</li> </ul> <p>○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工原料の品質ワンランクアップ(JA土佐あき) (勉強会等(品質向上に向けた栽培指導等)の開催: 31回) (出荷目慣らし会の開催: 4回)</li> <li>・販路拡大に向けた活動(産地交流イベント等)の継続 (JA土佐あき(ゆず収穫祭: 10/16)、JA馬路村(ゆずはじまる祭: 10/30))</li> <li>・EU向け青果の輸出(10~11月): 4t</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・果実の品質向上と安定供給、販売強化 ⇒新植・改植の推進などの取り組みを着実に継続</li> <li>・加工品の販売強化 ⇒消費者ニーズに対応するための加工品製造施設の整備(JA馬路村)</li> </ul>
<p>■No.2 ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポンカン生産者</li> <li>・甲浦の果樹仲間</li> <li>・東洋町</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>商品数: 4アイテム(累計) &lt;H26: 2アイテム&gt; 既存商品の販売数(1~12月): 5,000本 &lt;H26: 3,584本&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>商品数: 3アイテム(累計) 既存商品の販売数(1~12月): 4,000本</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品数: 3アイテム(累計)</li> <li>・既存商品の販売数(1~12月): 2,567本(前年比79%)</li> <li>・新商品の開発: 1商品(甲ちゃんのポンカンジュース) ⇒9月に完売(600本)</li> <li>・大阪府内の飲食店への営業活動(6月: 3店舗、11月: 5店舗)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪府内のイベントでのPR:3回(10/24、11/5～11/6、2/4～2/5)</li> <li>・新商品開発に向けた企業訪問(10/12、12/19、1/17、3/2)</li> <li>・東洋町ふるさと納税返礼品に出品(12月～)</li> <li>・食品メーカーとの連携による新商品の試作(ポンカンコンフィチュール、ポンカンドライフルーツ)(2月)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上げ向上を目指した商品の磨き上げ ⇒来年度の生産販売計画や搾汁方法の見直し</li> <li>・販路拡大及び新商品の開発 ⇒商談会やフェアへの参加による販路拡大及び専門家の活用による菓子類等の新商品開発</li> </ul>
<p>■No.4 白下糖の生産拡大と新商品の開発(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸西村</li> <li>・芸西村製糖組合</li> <li>・生産者グループ</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>サトウキビ収穫量:45t&lt;H26:34t&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>サトウキビ収穫量:35t</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サトウキビ収穫量(H28):41t(前年比:132%)</li> <li>・H26に収穫量拡大を目的として作成した栽培暦に沿った栽培の進捗状況調査(11～1月)</li> <li>・栽培歴の検証と消費拡大についての関係者協議(8回)</li> <li>・後継者候補1名の製糖作業への参加</li> <li>・移住相談会でのPR(東京、12/4)</li> <li>・栽培方法の調査について高知大学と協議(1/23)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培歴の検証 ⇒栽培方法について高知大学農学部との連携を検討</li> <li>・製糖体験メニューの磨き上げ ⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討</li> <li>・後継者の育成 ⇒生産者の関係者や知人等に対し栽培を勧めるとともに、県外での移住相談会等でもPR</li> <li>・販路拡大 ⇒商談会への参加やテストマーケティングの実施などによる商品の磨き上げ</li> </ul>
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市木炭振興会</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>出荷量 : 1,580t&lt;H26:1,076t&gt;</p> <p>新規就労者数 : 26人(H28～31累計)&lt;H24～27 11人&gt;</p> <p>製炭窯設置 : 21基(H28～31累計) &lt;H24～26 増設7基&gt;</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐備長炭室戸生産組合</li> <li>・土佐備長炭生産組合</li> </ul>	<p>[H28到達目標]</p> <p>出荷量 : 1,260 t</p> <p>新規就労者数 : 6人</p> <p>製炭窯設置 : 5基</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就労者数(3月末見込み) : 5人</li> <li>・製炭窯設置(3月末見込み) : 5基</li> <li>・振興策の検討</li> <li>・土佐備長炭室戸生産組合の設立(8月)</li> <li>・製炭原木(ウバメガシ)の植栽試験の開始(10月～)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒室戸市有林の売却支援</li> <li>新たに設立された土佐備長炭室戸生産組合を通じた原木の分配を検討</li> <li>⇒原木伐採のための作業道開設への支援</li> <li>⇒ウバメガシ等の資源量把握のための実態調査の継続</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.6 林業加工品の販売の促進(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)エコアス馬路村</li> <li>・馬路林材加工協同組合</li> <li>・馬路村森林組合</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>木製品出荷額 : 277,000千円 &lt;H26 : 251,910千円&gt;</p> <p>加工部門雇用者数 : 27人(現状維持) &lt;H26 : 27人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>木製品出荷額 : 258,000千円</p> <p>加工部門雇用者数 : 27人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木製品出荷額(1月末) : 183,935千円(前年同期比96%)</li> <li>・加工部門雇用者数(2月末) : 25人(前年同期比96%)</li> <li>・振興策の検討</li> <li>・29年度の新商品販売に向けた試作品のブラッシュアップ</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木製品の販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒消費者ニーズに合った木製品の販売強化</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>[定置網漁獲物]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市定置漁業振興協議会</li> <li>・中芸定置網漁業振興協議会</li> </ul> <p>[水産加工]</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額 : 20,000千円 &lt;H26 : 0円&gt;</p> <p>簡易加工品の販売額 : 3,000千円 &lt;H26 : 0円&gt;</p> <p>加工品販売額(有タカシン水産室戸工場) : 1.5億円 &lt;H26 : 0.8億円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額 : 2,000千円</p> <p>簡易加工品の販売額 : 300千円</p> <p>加工品販売額(有タカシン水産室戸工場) : 80,000千円</p>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>・(有)タカシン水産</p>	<p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高鮮度処理魚の販売額（2月末）：265千円 （室戸 204千円、中芸61千円）</li> <li>・簡易加工品の販売額（2月末）：55千円</li> <li>・加工品販売額（(有)タカシン水産室戸工場）（1月末） ：62,233千円（前年同期比100%）</li> </ul> <p>○高鮮度処理の取り組み（室戸市定置協及び中芸定置協）</p> <p>&lt;高鮮度処理魚の増産&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場内の活魚槽（室戸、中芸）や漁船のエア－装置（室戸）を整備</li> <li>・定置網漁業者等への技術指導を実施（室戸37回、中芸17回）</li> </ul> <p>&lt;高鮮度処理魚の販路拡大&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「高知家の魚応援の店」商談会に参加（室戸3回、中芸1回）、産地見学会を開催（室戸1回）</li> <li>・（室戸）サンプル出荷：18社（うち成約 7社）</li> <li>・（中芸）サンプル出荷： 9社（うち成約 1社）</li> </ul> <p>○簡易加工品の製造販売（中芸定置協）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水産加工販売施設「加領郷魚舎」が開所（5/4）</li> <li>・簡易加工品の製造を加領郷魚舎へ委託、生産体制を構築</li> <li>・加領郷魚舎が「高知家の魚応援の店」制度の県内参画事業者として登録</li> <li>・12月より簡易加工品（小イカの沖漬け、ニロギのオイル漬け）を製造し、1月以降に奈半利町のふるさと納税返礼品として販売</li> <li>・加領郷魚舎が県版 HACCP（ステージ2）の認証を取得（1/6）</li> </ul> <p>○タカシン水産による取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県版 HACCP（ステージ2）の認証取得に向け講習会に参加（7/20～7/21）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○高鮮度処理の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高鮮度処理技術の定着と販路拡大 ⇒定置網漁業者への指導による高鮮度処理技術の定着及び実施体制の構築 ⇒産地買受人を介した高鮮度処理魚の試験販売等</li> </ul> <p>○簡易加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品の生産拡大 ⇒新商品の開発と販路の開拓、原魚の安定調達</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○タカシン水産による取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理者の育成</li> <li>⇒HACCP講習会への参加を通じた育成</li> </ul>
<p>■No.8 安芸市のシラス漁業者所得の向上(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸漁協</li> <li>・(株)安芸水産</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>水揚げ金額(1~12月) : 210,000千円  &lt;H26: 201,740千円&gt;</p> <p>シラス漁獲量(1~12月): 420 t &lt;H26: 393t &gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>水揚げ金額(1~12月) : 220,000千円  シラス漁獲量(1~12月): 400 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水揚げ金額(1~12月) : 120,964千円(前年比57%)</li> <li>・シラス漁獲量(1~12月): 347 t(前年比69%)</li> <li>・鮮度維持や先進地視察の実施について(株)安芸水産と協議(7回)</li> <li>・シラスの魚価向上に関する勉強会(2/21)</li> <li>・安芸「ちりめん井楽会」実行委員会(7回)</li> <li>・第4回全国ご当地じゃこサミットの開催(10/8~10/9、21,000人来場)</li> <li>・安芸市の「じゃこシティ」ブランド化の取り組みとして、じゃこの日(毎月15日)を制定し、学校給食での利用や出前授業を開始(11/15~)</li> <li>・遊漁・体験漁モニターツアー実施(11/18、12名参加)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラスの付加価値向上に向けた取り組み ⇒鮮度保持等の高品質化の検討</li> <li>・加工施設の加工処理能力に見合った原魚の確保 ⇒安芸及び周辺地域からの原魚の確保</li> <li>・遊漁・体験漁ツアーの造成 ⇒モニターツアーで課題となった不漁荒天時の対応や料金の割高感について、漁業関係者や東部観光協議会等で検討</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市</li> <li>・協同キラメッセ室戸(有)</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高 : 370,000千円&lt;H26: 308,334千円&gt; 来場者数 : 260,000人&lt;H26: 230,887人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高 : 350,000千円 来場者数 : 250,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高(1月末): 269,502千円(前年同期比107%)</li> <li>・来場者数(1月末): 218,485人(前年同期比108%)</li> <li>・地域おこし協力隊による庭先集荷の実施(中川内地区)</li> <li>・中山間農業複合経営拠点セミナーへの参加(3回)</li> <li>・農業複合経営拠点化に向けた協同キラメッセ室戸(有)、市、県の三者協議の開催(3回)</li> <li>・中山間農業複合経営拠点ブラッシュアップセミナーへの参加(1/12)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏場の生鮮品不足</li> <li>・農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下 ⇒運営主体による農業経営の可能性及び持続可能な集荷体制の構築を検討</li> </ul>
<p>■No. 11 海の駅東洋町を拠点とした地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東洋町</li> <li>・東洋町観光振興協会</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高 : 168,990千円&lt;H26: 141,938千円&gt; 来場者数 : 180,000人&lt;H26: 157,790人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高 : 162,412千円 来場者数 : 180,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高(1月末): 146,391千円(前年同期比111%)</li> <li>・来場者数(1月末): 158,102人(前年同期比110%)</li> <li>・教育旅行の受入(1回) (修学旅行生169人分の昼食(弁当)の提供と土産物の販売)</li> <li>・ワークショップの開催(3回)</li> <li>・直販所支援アドバイザーの導入(4回)</li> <li>・甲浦港であそびな祭に出店(11/20)</li> <li>・来場者50万人突破記念大感謝祭開催(12/17)</li> <li>・バックヤードの改修(12月末)</li> <li>・道の駅EXPO大阪2017(あべのハルカス)に出店(3/9~3/12)</li> <li>・商品レイアウトや運営体制の改善に向けて、産振アドバイザーの活用(3/24)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体客など多客時の対応</li> <li>⇒店舗等が手狭になっていることや地域特産品を活用した加工品の開発を行うため、施設の改修や受入体制などについて関係者間で協議</li> </ul>
<p>■No. 12 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)熊谷ファーム</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高：20,000千円&lt;H26：0円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高：13,500千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高(2月末見込み)：59千円</li> <li>・町単補助金の活用により自社HPを作製(3月完成予定)</li> <li>・既存公共施設(廃校跡)を加工場として活用(11月～)</li> <li>・高知県産業振興センターと商品開発について打合せ(3回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工体制の強化</li> <li>⇒新たな加工施設の整備について検討</li> </ul>
<p>■No. 13 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈半利町</li> <li>・JA土佐あき</li> <li>・奈半利なんでも市加工グループ</li> <li>・奈半利のおかって加工グループ</li> <li>・加領郷魚舎加工グループ</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高：9,120千円 &lt;H26：5,140千円&gt;</p> <p>農水産加工施設の売上高：9,000千円 &lt;H26：0千円&gt;</p> <p>水産加工施設の売上高：12,000千円 &lt;H26：3,220千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>JA加工施設(奈半利味噌)の売上高：7,887千円</p> <p>農水産加工施設の売上高：5,000千円</p> <p>水産加工施設の売上高：5,600千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA加工施設(奈半利味噌)の売上高(1月末)：5,000千円(前年同期比111%)</li> <li>・農水産加工施設の売上高(2月末)：9,925千円</li> <li>・水産加工施設の売上高(2月末)：15,040千円</li> </ul> <p>○JA加工施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈半利味噌の新たな取引先確保(1件)</li> </ul> <p>○農水産加工施設(奈半利のおかって)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業開始(5/3)</li> <li>・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(77回)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品表示勉強会の実施</li> <li>・メディア内覧会の実施</li> <li>・催事への出店 (3回)</li> <li>・駅ビアガーデンの実施 (8/16)</li> <li>・リテール HACCP (消費者に直接商品が渡る施設における HACCP) 研修会への参加 (12/21)</li> <li>○水産加工施設 (加領郷魚舎) <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業開始 (5/4)</li> <li>・加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議 (40回)</li> <li>・相談会及び商談会への参加 (10回)</li> </ul> </li> <li>・食品表示勉強会の実施</li> <li>・メディア内覧会の実施</li> <li>・中芸定置網漁業振興協議会から簡易加工品 (ニロギのオイル漬け・小イカの沖漬け) の生産を受託</li> <li>・「高知家の魚応援の店」制度の県内参画事業者に登録</li> <li>・HACCP 研修会への参加</li> <li>・東海岸グルメまつりなどの催事への出店 (13回)</li> <li>・駅ビアガーデンの実施 (8/16)</li> <li>・海のランチバイキングの実施 (9/22、11/26)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工商品の販路拡大及び販売体制の強化 ⇒積極的な商談会への参加による販路拡大及びアドバイザーによる指導や加工グループとの協議による販売体制の強化</li> </ul>
<p>■No. 14 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 (田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田野町</li> <li>・民間事業者</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>体験受入回数：28回&lt;H25：24回&gt;</p> <p>受入人数：計1,423人 (体験271人、見学1,152人) &lt;H25：計1,186人 (体験226人、見学：960人) &gt;</p> <p>塩関連での就業者数：10人 (累計) &lt;H26：2人&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>体験受入回数：25回</p> <p>受入人数：計1,245人 (体験237人、見学1,008人)</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験受入回数 (2月末)：44回 (前年同期比47.8%)</li> <li>・受入人数 (2月末)：計301人 (前年同期比50.1%)</li> </ul> <p>○産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H28年6月町議会で、塩職人養成に向けた補正予算 (製塩ハウス用地取得費及び建設実施設計委託) を措置</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・29年1月に用地取得済、実施設計が3月末に完了見込みであり、H29年度に製塩ハウス2棟を建設予定（H29年度当初予算に計上）</li> <li>・製塩ハウスを民間事業者又は塩職人希望者に賃貸し、民間事業者の指導のもと、塩づくりの修業と塩の増産に活用する方向</li> </ul> <p>○観光への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内での周遊促進のため、製塩体験を観光クラスター整備計画における体験メニューの一つとして位置付け</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>○産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完全天日塩の活用計画の策定と実行</li> <li>・塩職人希望者の育成・環境整備</li> </ul> <p>⇒受入れ、育成、独立後の環境整備に向けた関係者間での調整</p> <p>○観光への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客のためのPR</li> </ul> <p>⇒田野町内での周遊を促進する取り組み（パンフレット製作、スタンプラリーの実施、案内看板の整備、観光ガイド育成等）による集客力のアップ</p>
<p>■No. 15 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組（田野町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田野町</li> <li>・道の駅指定管理者</li> <li>・加工施設指定管理者</li> <li>・生産者組織</li> <li>・地域団体</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>年間売上高（1～12月）：400,000千円&lt;H26：258,729千円&gt;  年間入込数（1～12月）：265千人&lt;H26：221千人&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>年間売上高（1～12月）：294,047千円  年間入込数（1～12月）：232千人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間売上高（1～12月）：319,170千円（前年比109%）  *H27.10月からふるさと納税業務開始</li> <li>・年間入込数（1～12月）：272,835人</li> <li>・町、道の駅指定管理者（田野駅屋連）及び地域本部による情報共有会議の開催（4月～、月1回開催）  ⇒看板や冷蔵庫等の設備整備、トイレの洋式化（今年度中の実施を予定）、町広報への生産者募集記事の掲載、他の道の駅との交流販売などの取り組みが進展</li> <li>・地域内での周遊促進のため、道の駅指定管理者が田野町の観光クラスター協議会に参画</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の方向性について町の方針の明確化（機能強化のための施設整備等、小さな拠点化など）</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直販・飲食機能の強化 (店舗の狭隘<sup>あい</sup>、生産者の高齢化に伴う野菜等の商品不足、地産外商への取り組み等)</li> <li>・地元食材を活用した魅力ある加工品の開発・販売の強化</li> <li>・情報発信機能の強化</li> <li>・人材育成</li> <li>・町と道の駅指定管理者間の情報共有体制の強化 ⇒情報共有会議の継続による、関係者間での課題の共有</li> </ul>
<p>■No. 16 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸西村</li> <li>・(有)かっぱ市</li> <li>・生産者グループ</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 200,000千円&lt;H26: 135,000千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高: 165,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高(2月末): 136,977千円(前年同期比100.1%)</li> <li>・新商品の開発(白下糖加工品2種)</li> <li>・かっぱ市で製造・販売する商品(1商品)について県版HACCP(ステージ2)の認証を申請(3月末取得見込み)</li> <li>・販売計画と新商品の開発に係る進捗管理、集荷システムの導入の検討、集落活動センターとの連携等について関係者協議(6回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花卉類等の出品量の確保</li> <li>・新商品の開発 ⇒相談会等への参加・テストマーケティングの実施</li> <li>・製糖体験メニューの磨き上げ ⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討</li> </ul>
<p>■No. 17 安芸地域の観光振興の推進(安芸地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)高知県東部観光協議会</li> <li>・安芸広域市町村圏事務組合</li> <li>・市町村</li> <li>・観光協会等</li> <li>・地域団体</li> <li>・民間事業者</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数)(1~12月) : 2,606,000人&lt;H27: 2,401,821人&gt;</p> <p>圏内宿泊者数(1~12月) : 150,000人&lt;H27: 138,229人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>圏内主要施設訪問者数(1~12月): 2,402,000人 圏内宿泊者数(1~12月) : 139,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・圏内主要施設訪問者数(1~12月) : 2,343,600人(前年比97%)</li> <li>・圏内宿泊者数(1~12月): 138,600人(前年比100%)</li> <li>・東観協が新たなパンフレット(土佐食日記)を配布(4月)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東観協が広報誘客部会を開催し(3回)、東部地域の幕末維新博パンフレット(れきたび)完成、配布(H29.3月～)</li> <li>・東観協の事務局次長1名及び企画スタッフ1名配置(5月)</li> <li>・志国高知 幕末維新博関連のアドバイザーによるアドバイスの実施(10回)</li> <li>・教育旅行関連のアドバイザーによる研修会の実施(6回)</li> <li>・土佐の観光創生塾開催(6回・のべ121人参加)</li> <li>・東観協主催の伊尾木洞ガイド研修会実施(1回)</li> <li>・志国高知 幕末維新博に向けた東部3エリアでの現地研修実施(中芸1回、安芸・芸西1回、室戸・東洋1回)</li> <li>・四国デスティネーションキャンペーン(H29.4～6月)中に運行される「太平洋パノラマトロッコ」での地域のおもてなし(ガイド、物販等)検討会開催(2回)</li> <li>・マーケティング調査に基づく観光戦略検討会及び観光セミナー開催(1回)</li> <li>・旅行会社等へのセールス活動(25日) 首都圏、関西などでのセールス活動を実施</li> <li>・県外イベント等でのPR(11日) 大阪海遊館での東部地域の観光PR及び物産販売(6月)</li> <li>・教育旅行の受入れ 中学校1校受入れ(5/25～5/27)及び高等学校2校受入れ(10/24～10/26及び11/8～11/9) 平成30年度に中学校5校の受入れが決定</li> <li>・民泊登録世帯(3月末):105軒(前年比110%)</li> <li>・東部地域の広域イベント「安芸・室戸パシフィックライド2016」(12/4)開催(参加者314人)</li> <li>・「幕末維新博安芸・室戸フリーきっぷ」発売開始(2/4～)</li> <li>・東観協の旅行業第2種登録(2/8)</li> <li>・東観協のホームページ開設(3月末)</li> <li>・幕末維新博と連動したスタンプラリー(ひがしこうちぐるっと周遊キャンペーン)実施(～H30.3.31)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行における農業や漁業の体験学習時間の設定や天候不順への対応 ⇒H29.5月(5校)の受入れに向けた、課題の共有及び改善策の検討</li> <li>・教育旅行における民泊登録世帯の増 ⇒各市町村担当者とともに民泊候補の世帯を訪問し、さらなる掘り起こしを実施</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>・志国高知 幕末維新博の第2幕に向けた各観光施設の磨き上げや周遊プランの造成、二次交通対策 ⇒観光クラスター形成の取り組みや幕末維新博と連動した企画展、イベント開催による誘客の促進など</p>
<p>■No. 18 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大（奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈半利町</li> <li>・田野町</li> <li>・安田町</li> <li>・北川村</li> <li>・馬路村</li> <li>・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績：1,500人&lt;H26：846人&gt; 拠点施設年間来館者数：1,000人&lt;H26：0人&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績：1,300人 拠点施設年間来館者数：－（拠点施設未整備）</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ツアー等による林鉄ガイド実績（2月末）： 794人（前年同期比106%）</li> <li>・拠点施設年間来館者数：－（拠点施設未整備）</li> <li>・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会総会の開催</li> <li>・日本遺産申請に向けた各関係機関との協議を実施</li> <li>・中芸広域連合長・副連合長会において、日本遺産申請に向けて中芸5町村で取り組むことに合意</li> <li>・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会総会出席者に対し林鉄セミナーを実施（1回）</li> <li>・日本遺産申請に向けた推進協議会設立準備会を開催（7/6、7/28）</li> <li>・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会設立総会の開催（8/5、3月）</li> <li>・同協議会合同部会（ストーリー部会・活性化策部会）の開催（8/15、9/7、1/14）</li> <li>・同協議会ストーリー部会の開催（10/26）</li> <li>・同協議会活性化策部会の開催（11/16）</li> <li>・同協議会運営委員会の開催（8/15、11/15）</li> <li>・同協議会役員会（中芸広域連合・副連合長会）での経過報告（9/7、10/31、12/5、2/28）</li> <li>・文化庁との協議（8/30、10/3、11/10、12/9）</li> <li>・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会第2回総会を開催し、日本遺産申請書を承認（1/18）</li> <li>・文化庁に対し日本遺産認定申請（1/24）</li> <li>・中芸地区以外での普及啓発のため、藁工ミュージアムでの展覧会（林鉄機関車や森林鉄道パネル等の展示やトークイベント等）や中芸地区での関連イベント（林鉄ツアー等）の実施（10/15～12/11）</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本遺産をテーマとした地域住民向けの中芸5町村連続講演会開催(10～1月)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚梁瀬森林鉄道遺産の活用と普及啓発活動 ⇒協議会活動状況の情報発信(町村広報誌、SNSの活用)</li> </ul>
<p>■No. 19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸市</li> <li>・室戸ジオパーク推進協議会</li> <li>・室戸市観光協会</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 10,000人 &lt;H26: 7,869人&gt;</p> <p>室戸世界ジオパークセンター入館者数: 70,000人 &lt;H26: 0人&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 8,000人 室戸世界ジオパークセンター入館者数: 70,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパークガイド利用者数(1月末): 6,062人 (前年同期比73%)</li> <li>・室戸世界ジオパークセンター入館者数(1月末): 69,136人(前年同期比70%)</li> </ul> <p>○室戸ジオパーク推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展「ジオパークで見る日本の地質 in 室戸ユネスコ世界ジオパーク展」開催(4/23～6/30)</li> <li>・企画展「室戸ユネスコ世界ジオパーク深海博2016」開催(7/1～8/31)</li> <li>・企画展「室戸ユネスコ世界ジオパーク室戸神祭展」開催(9/16～10/30)</li> <li>・室戸世界ジオパーク推進協議会総会(5/18)にて、室戸ジオパーク第3期実行計画(H28～31)を策定</li> <li>・ツアー・体験プログラムの実施(9回・のべ134人参加)</li> <li>・体験プログラムインストラクター養成講座(5回・20人受講)</li> <li>・ジオツーリズム推進チーム会(7/7)</li> <li>・室戸世界ジオパークセンターの案内リーフレットをリニューアル(8月)</li> <li>・第5回写真コンテスト・第1回絵画コンテストの入選作品展示(11/7～12/18)</li> <li>・「いきもの展」開催(1/4～1/31)</li> <li>・研修会「室戸ジオパークを考える」(2/6)</li> <li>・段ノ谷山サイト研修会(2/7)</li> <li>・「室戸のおきやく(酒宴)&amp;室戸フェア in 京都」開催(2/10～2/11)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸高校生の観光ガイドによるジオツアー (2/20)</li> <li>・館内ガイド研修 (2/13～2/14)</li> <li>・接遇研修 (2/24)</li> <li>・スプリングフェスタ2017(イオンモール高知)開催(2/25)</li> <li>・「吉良川の町家 雛まつり」にブース出店 (3/4～3/5)</li> <li>・むろとジオの恵み BBQ 開催 (3/12)</li> <li>・ガイド養成講座 (3/14～3/17、3/21)</li> <li>・むろとジオマルシェ開催 (3/20)</li> </ul> <p>○室戸市</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸世界ジオパークセンターの展示内容の充実(インフォメーションの移設や海底地形の隆起を体感できる映像ブースの設置等、3/4リニューアルオープン)</li> <li>・ジオサイトの磨き上げ(御厨人窟の活用検討)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオツアーに関わる人員の確保 ⇒ジオツーリズム推進チーム会を開催し、ジオツアーの開発や磨き上げ、実施体制について検討</li> <li>・ジオパークセンターの機能強化 ⇒センターを拠点とする周遊モデルコースの造成</li> </ul>
<p>■No. 20 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト</li> <li>・室戸黒潮協同組合</li> <li>・(一社) うみ路</li> <li>・室戸市</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数：31,000人 &lt;H26：24,431人&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数：30,000人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸ドルフィンセンター来場者数(2月末)：22,245人 (前年同期比79%)</li> </ul> <p>○NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・室戸ドルフィンセンターでのイベント実施(22回)</li> <li>・教育旅行の受入(イルカとのふれあい体験)(1回)</li> <li>・日曜市(高知市)の室戸市ブース等のイベントへの出店(9回)</li> <li>・県観光アドバイザーによる体験プログラム研修(9/15)</li> <li>・冬期限定プログラム「ときめきドルフィン」の実施(11/1～2/28)</li> </ul> <p>○室戸黒潮協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育旅行の受入(カツオのたたき作り体験)(1回)</li> <li>・県観光アドバイザーによる体験プログラム研修(9/15)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>○(一社)うみ路(合同会社シーベジタブル)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・貝類等収穫体験の実施に向けたスジアオノリ養殖施設の整備(11月～)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存体験プログラム(カツオのたたき作り体験やイルカとのふれあい体験)の周知</li> <li>⇒事業主体による個々のPRのほか、施設内の事業者で連携した広報を検討</li> </ul>
<p>■No. 21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸市</li> <li>・安芸市観光協会</li> <li>・漁協</li> <li>・伊尾木あなごう保存会</li> <li>・内原野陶芸館</li> <li>・JA土佐あき</li> <li>・安芸市観光ボランティアガイドの会</li> <li>・廊中ふるさと館</li> <li>・メリーガーデン</li> <li>・はたやま夢楽</li> <li>・安芸「釜あげちりめん井」楽会</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(日本一のナス産地拡大プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>市内年間観光客数 : 300,000人&lt;H26:196,895人&gt;</p> <p>市内年間宿泊者数 : 25,000人</p> <p>&lt;22,721人(H22～26平均値)&gt;</p> <p>ちりめん井販売食数 : 45,000食&lt;H26:40,846食&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>市内年間観光客数 : 208,000人</p> <p>市内年間宿泊者数 : 25,000人</p> <p>ちりめん井販売食数 : 45,000食</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ちりめん井販売食数(12月末):37,264食(前年同期比81%)</li> <li>・観光クラスター協議会(6/24、7/15、8/29、11/25、1/30)周遊コースの検討、案内板の整備、多言語化を検討</li> <li>・観光ボランティアガイドの体制強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月の定例勉強会の開催(5月～)</li> <li>高知市内観光ガイド実践実習講座(1/28)</li> <li>県観光アドバイザーによる体験プログラムインストラクター研修(9/15、11人参加)</li> <li>県観光アドバイザーによる伊尾木洞ガイド研修(2/21、11人参加)</li> <li>観光ボランティア養成講座(5回、修了者30名)</li> </ul> </li> <li>・廊中ふるさと館の世代交代や経営安定化に向け、産振アドバイザーを活用(3回、1/25、2/8、3/9)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周遊観光メニューの充実</li> <li>・体験プログラムの新たな造成と磨き上げ</li> <li>⇒シラス漁、果実収穫作業等のモニターツアーを実施</li> <li>料金設定やカフェメニュー等の見直し</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 東洋町における体験観光の推進（東洋町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東洋町</li> <li>・ 地元マリンスポーツ関係事業者</li> <li>・ 東洋町観光振興協会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>体験者数：5,000人&lt;H27：0人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>体験者数：1,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験者数：0人</li> <li>・ 高知家杯東洋町 SUP 選手権大会の開催（参加選手40名）</li> <li>・ サーファー向けアンケート調査の実施（9月、10月）</li> <li>・ 体験プログラム研修（9/16）</li> <li>・ 「守口市民まつり前夜祭」（大阪府守口市、11/5）や「こにゃん元気市場」（滋賀県湖南市、11/5～11/6）でのPR</li> <li>・ 「甲浦港であそびな祭」にてイベント実施（甲浦港周辺クルージング、活魚すくいゲーム）（11/20）</li> <li>・ こけら祭り開催（1/8）</li> <li>・ 高知県東部地域フェスタ in 天神橋筋商店街（大阪市）に参加（2/4～2/5）</li> <li>・ 東洋町観光振興協会先進地事例研修（長崎県「まつうら党交流公社」）（3/3～3/5）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体験プログラムの受入体制の強化 ⇒体験者受入に向けて東洋町観光振興協会の法人化及び事務所開設の準備</li> <li>・ 地域資源を生かした体験プログラムの造成及び周知 ⇒H27年度に作成した東洋町観光アプリ（TOYO ナビ）のPR強化 ⇒「イカダでの釣り体験」など観光客向けの新たな体験プログラムの造成や、教育旅行の受入に向けた「カツオのたたき体験」の実施を検討</li> <li>・ サーフィン客等の受入施設の整備 ⇒サーフィン客へのアンケート調査の結果を基に、必要な施設整備を検討</li> </ul>
<p>■No. 23 藤村製絲を活用した観光振興（奈半利町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 藤村製絲㈱</li> <li>・ 奈半利町</li> <li>・ なはり観光文化協会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>来館者数（1～12月）：1,500人&lt;H26：0人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>来館者数（1～12月）：800人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来館者数（1～12月）：800人</li> <li>・ なはり浦の会総会（5月）</li> <li>・ なはり浦の会との協議（7回）</li> <li>・ 集落活動センターなはりの郷内に観光部門設立（9/26）</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
※地域産業クラスター関連(奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光部門会の開催(2/10)</li> <li>・県観光拠点補助金の活用により奈半利町観光推進事業を実施(地域住民とのワークショップ(5回)、観光案内看板、公式ガイドブック、町歩きガイドマップ、展示用観光パネル等)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・藤村製絲記念館の活用拡大 ⇒町歩きガイドブックの活用等による奈半利町内周遊の促進</li> </ul>
<p>■No. 24 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大(北川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北川村</li> <li>・(株)きたがわジャルダン</li> <li>・北川村観光協会</li> <li>・中岡慎太郎先生顕彰会</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>各施設入園(館)者合計数:100,000人 &lt;H26:80,983人&gt;</p> <p>(モネの庭 :65,000人) &lt;H26:53,174人&gt;</p> <p>(北川村温泉 :28,000人) &lt;H26:21,682人&gt;</p> <p>(中岡慎太郎館 :7,000人) &lt;H26:6,127人&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>各施設入園(館)者合計数 :69,000人</p> <p>(モネの庭 :62,000人)</p> <p>(北川村温泉は閉館中)</p> <p>(中岡慎太郎館 :7,000人)</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設入園(館)者合計数 :63,145人(前年同期比92%)</li> <li>(モネの庭(1月末) :57,696人(前年同期比93%))</li> <li>(北川村温泉は閉館中)</li> <li>(中岡慎太郎館(2月末) :5,449人(前年同期比78%))</li> </ul> <p>○モネの庭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モネの庭職員の接客マナー研修の開催(12回)</li> <li>・モネの庭のレストラン再建に向けたメニューづくりのため、産振アドバイザーの活用(2回)</li> <li>・モネの庭のレストラン再建までの代替措置としてプチカフェ「モネの家」を開店(7月～)</li> <li>・モネの庭キャンドルの夜(9/10)来場者数:1,170人</li> <li>・県観光拠点補助金(9月補正)を活用したレストラン部分のリニューアル(H29.3月完成・H29.4月オープン予定)</li> </ul> <p>○中岡慎太郎館</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中岡慎太郎先生顕彰会がNPO法人化(6月)</li> <li>・中岡慎太郎を中心とした地域活性化に向けたイベント企画及びガイドの育成について産振アドバイザーを活用(3回)</li> <li>・県歴史観光補助金を活用し、中岡慎太郎館の歴史資料の展示リニューアル等実施</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北川村温泉のリニューアル工事の実施 (H29年度未完了予定) ⇒県 CLT 建築促進事業費補助金を活用し、RC 構造から木造 (CLT 構造) へ変更設計 (H29年度当初予算に計上)</li> <li>・北川村内の周遊の仕組みづくり ⇒中岡慎太郎館を中心とした3施設の連携による観光クラスター形成に着手(県歴史観光補助金を活用し、村内周遊マップ作製やモネの庭の Wi-fi 整備等を実施) ⇒幕末維新博開幕後の集客に向けた積極的な広報</li> </ul>
<p>■No. 27 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 (奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈半利町</li> <li>・集落活動センター運営主体</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連 (奈半利町の集落活動センターを中心としたクラスター)</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>—</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>○集落活動センター運営体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県集落活動センター連絡協議会への参画 (6月、2月)</li> <li>・社員総会開催 (3回) 及び理事会開催 (4回)</li> <li>・なはりの郷活性化協議会の開催 (2回)</li> <li>・奈半利町の各施設を指定管理者として管理</li> </ul> <p>〔 物産館無花果及び海浜センター (指定期間: H28. 7/1~H31. 6/30) 弘瀬家住宅、奈半利のおかって及び加領郷魚舎 (指定期間: H28. 10/1~H31. 9/30) 〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落活動センターなはりの郷の事業拡大に対応するため、集活センター推進アドバイザーを活用 (5回)</li> <li>・会計の仕組みづくりのため、産振アドバイザーを活用 (3回)</li> </ul> <p>○一次産業部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業複合経営拠点運営委員会の設置 (5/23)</li> <li>・農業複合経営拠点運営委員会及びセミナーへの参加 (12回)</li> <li>・なはりの郷農業部門の設置 (9/26) 及び農業複合経営拠点運営委員会へ参画 (10回)</li> <li>・農業複合経営拠点先進地への視察 (2回)</li> </ul> <p>○観光・移住部門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「旧弘瀬家住宅」を拠点とした本格的な活動開始(7/1~)</li> <li>・集落活動センター活用事業の実施 (なはりの町屋切り絵展、土佐の町屋ひなまつり等)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なはりの郷観光部門の設置(9/26)及び観光部門会の開催(2/10)</li> <li>・県観光拠点補助金を活用した奈半利町観光推進事業の実施(地域住民とのワークショップ、観光案内看板、公式ガイドブック、町歩きガイドマップ、展示用観光パネル等の作製)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落活動センターなはりの郷の円滑な事業の遂行 ⇒ふるさと納税返礼品に係る事業、直販所運営事業、移住促進事業などについて、アドバイザーの派遣や情報提供などを県関係機関と町が連携して行うことにより、各事業の円滑な推進を支援</li> </ul>
<p>■No. 28 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安田町</li> <li>・中山を元気にする会</li> <li>・安田川漁協</li> <li>・自然薯生産組合</li> <li>・味工房じねん</li> <li>・中山合同女性部</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>交流人口 : 3,600人&lt;H26:3,329人&gt;  じねんレジ通過者 : 28,000人&lt;H26:25,711人&gt;  集落活動センター利用者数: 3,200人  &lt;H26.12月~H27.3月:689人&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>交流人口 : 3,400人  じねんレジ通過者 : 26,400人  集落活動センター利用者数: 2,400人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口:5,109人(前年同期比123.5%)  <ul style="list-style-type: none"> <li>山芋まつり:1,200人(前年比85.7%)</li> <li>キャンプ場(2月末):2,809人(前年同期比174.4%)</li> <li>小川(3月末見込み):1,100人(前年同期比97.7%)</li> </ul> </li> <li>・じねんレジ通過者(1月末):20,922人(前年同期比93.9%)</li> <li>・集落活動センター利用者数(1月末):2,724人 (前年同期比94.9%)</li> <li>・高知大学との連携(えんむすび隊:自然薯栽培支援及び地域住民とのワークショップ実施、医学部看護学科:地域生活者支援実習)</li> <li>・集落活動センター推進事業費(経済活動拡充支援事業)補助金を活用した自然薯栽培用資材の導入による栽培規模拡大</li> <li>・安田町ふるさと応援隊の追加募集(8/1~募集開始)</li> <li>・県歴史観光資源等強化事業費補助金を活用し、拠点施設(せせらぎの郷・小川)の改修(宿泊受入可能人数の倍増)工事完了(3月)</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安芸農業振興センターによる集落営農に向けた勉強会(7/14)、アンケートの実施(11月)、アンケート結果報告会(2/3)</li> <li>・旧中山小中学校活用検討委員会の開催(11/24、2/23)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動を軌道に乗せていくための仕組みづくり ⇒さらなる栽培面積の拡大と販路の確保等</li> <li>・旧中山小中学校の活用策の検討 ⇒役場内での素案づくりと住民・関係機関を含めた検討委員会での活用案の策定</li> <li>・志国高知幕末維新博との連携 ⇒町内の周遊ルートづくりや特産品販売等の計画づくりへの参画・推進による交流人口の拡大への取り組み</li> <li>・集落活動センターの円滑な運営の継続 ⇒応援隊の追加導入</li> </ul>
<p>■No. 31 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・芸西村</li> <li>・集落活動センター運営主体</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>—</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>—</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者協議(推進協議会2回開催)</li> <li>・高知県集落活動センター連絡協議会への参画</li> <li>・地域住民との勉強会・部会の開催(6回)</li> <li>・取り組み事業(サトウキビ栽培と竹害対策)の決定</li> <li>・耕作放棄地(5a)でのサトウキビ栽培の開始</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の幅広い参画、プレイヤーの確保 ⇒集落活動センターを中心としたプレイヤーの掘り起こし(先進事例の勉強会と住民ワークショップの開催)</li> <li>・村内製品の地産外商、交流人口拡大に向けた具体的な取り組みの検討 ⇒村内製品の加工施設の整備を検討するとともに、住民参画の勉強会を通じて抽出した村の課題ごとに部会を編成し、具体的な解決策を検討</li> </ul>

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

### 3 県民参画に向けた取組

- ・産業振興計画シンポジウムの開催（田野町、5/18）
- ・安芸市木曜会6月定例会での第3期計画の説明（5/26）
- ・四国銀行との勉強会における第3期産業振興計画及び地域アクションプランの説明（8/18）
- ・その他、管内事業者等への研修会（H A C C P研修、土佐M B A、土佐F B C等）や商談会などの開催の周知

### 4 相談案件：12件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/1	鮮魚卸	魚の加工をしたいが、どうしたらよいか。
2	4月下旬	雑貨	参加できる見本市等はないか。
3	4月下旬	食品加工	社員研修に係る費用に対する補助制度がないか。
4	5/30	食品加工	商品を保管する冷蔵庫等を導入したい。
5	6/6	食品加工	見本市出展費用に対する補助事業がないか。
6	7/13	食品加工	精肉用真空包装機械を導入したい。
7	8月上旬	雑貨	県外でP Rできる場はないか。
8	8月中旬	食品加工	パッケージ改良に使える補助事業はないか。
9	10/12	福祉	介護タクシーの導入・改修に対する補助事業はないか。
10	2/10	食品加工	鶏、シャモなどの解体施設の新築に対する補助事業はないか。
11	2/10	木材加工	木材加工を下請けとして担ってくれる県内企業を探している。
12	3/3	雑貨	馬路村産ゆずを活用したアロマオイルの開発・海外販売を考えているが、海外販売ルートを教えてほしい。

## 物部川地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 3 . 2 8

物部川地域本部

### 1 地域アクションプランの平成 28 年度の実施状況（総括）

#### (1) 総評

物部川地域では、27 件のアクションプランを推進しており、産振総合補助金やアドバイザーの活用、各種研修会への参加促進など、事業主体の実情に沿った支援を行っている。

農業分野では、日本一の生産量を誇るニラ、シシトウ、ユズ（青果）等の生産拡大に取り組んでいるほか、ヤギミルクの増産の取り組みでは、産振総合補助金を活用し、生産体制の強化に向けた畜舎の増築に取り組んでいる。

林業分野では、森の工場による施業地のさらなる集約や高性能林業機械の導入により、原木の増産が順調に進んでいる。

水産業分野では、シイラ加工品の増産に向けたヘッドカッターの導入や加工職員の追加雇用により生産体制が強化され、売上が大幅に伸びている。

商工業分野では、南国市において、海洋堂と連携した地域振興を進めており、28 年 7 月 11 日に海洋堂の進出等に係る協定を締結したところである。また、海洋堂の誘致を商店街の活性化につなげるため、南国市商工会が中心となり、商店街や学校等を巻き込んだジオラマづくりのほか、本年 1 月には「みんなのモノづくり展」を開催した。香美市では、チャレンジショップのチャレンジャーの確保に向けて広報を強化するとともに、チャレンジショップ卒業生や移住希望者の創業を見据えて、空き店舗所有者の意向調査に取り組んでいる。

観光分野では、既存の高知市を含む 4 市の広域観光の取り組みに加え、物部川流域 3 市の観光関係者等で組織する「物部川DMO協議会」及びDMO協議会の事務局を担う「(株)ものべみらい」が設立され、パイロットイベントの開催など、交流人口の拡大に向けた取り組みを進めている。

#### (2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
No.1 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」(香南市、香美市)  《事業主体》 ・ J A 土佐香美  ※地域産業クラスター関連（日本一のニラ産地拡大プロジェクト）	[目標 (H31 園芸年度)] ニラ販売額：29.7 億円 < H27 園芸年度：27.1 億円 >  [H28 園芸年度到達目標] ニラ販売額：27.8 億円  [取組状況] ・ ニラ販売額 (H28 園芸年度)：26.9 億円 (前年比 99.3%) ・ 産地パワーアップ事業の活用により、省力化に向けた調整作業機械 (15 台) を順次導入 ・ H29 年度の調整作業機械導入の意向調査を実施 (要望台数 8 台) ・ 調整作業機械導入農家から導入効果や課題を情報収集 → 事例集を作成しニラ部会農家に配布

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規模拡大志向農家への補助事業説明会を開催(5/25、22人)→産地パワーアップ事業で低コスト耐候性ハウス(56a)を整備</li> <li>・営農意向アンケートの実施(8~9月)</li> <li>・産地提案書の作成及び指導農業士2人の増員による担い手の受入体制の強化</li> <li>・地域産業クラスター(日本一のニラ産地拡大プロジェクト)ワーキング(2次・3次)開催(3/21)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の高齢化 ⇒新規就農者の受入体制の強化</li> <li>・調整作業労力の確保と労働力の軽減 ⇒国庫事業を活用した調整作業機械の導入</li> </ul>
<p>■No.2 南国市の園芸基幹品目シシトウの振興(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA南国市</li> <li>・JA長岡</li> <li>・JA十市</li> </ul>	<p><b>[目標(H31園芸年度)]</b></p> <p>JAシシトウ出荷量:760t &lt;H27園芸年度:679t&gt;</p> <p><b>[H28園芸年度到達目標]</b></p> <p>JAシシトウ出荷量:700t</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JAシシトウ出荷量(H28園芸年度):677t(前年比99%)</li> <li>・3JA合同検討チーム会において産地ビジョン(案)の作成</li> <li>・炭酸ガス施用実証ほ(1ヶ所)及びIPM技術実証ほの設置(1ヶ所)</li> <li>・3JA合同の出荷場巡回検査(3回)</li> <li>・新規栽培者への栽培管理、経営改善に係る巡回調査(18回)</li> <li>・京浜地区での消費宣伝活動を実施(参加農家7人)</li> <li>・生産者大会の開催(11/1)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷量の増加及び販売額の維持 ⇒環境制御技術の導入促進及び担い手の育成</li> </ul>
<p>■No.3 還元水を活用した野菜の生産体制の構築とブランド化(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル</li> <li>・(株)トリムエレクトリックマシナリー</li> <li>・高知大学</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>協力農家の戸数:7戸(H28~31累計) &lt;H27:3戸&gt;</p> <p>「還元野菜」の売上:10,000千円 &lt;H27:1,200千円&gt;</p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:3品目 (H28~31累計) &lt;H27:0品目&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>協力農家の戸数:0戸</p> <p>「還元野菜」の売上:2,500千円</p> <p>機能性に基づく差別化ができた品目数:1品目</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>※地域産業クラスター関連（南国市還元野菜プロジェクト）</p>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力農家の戸数：0戸</li> <li>・還元野菜の売上：0円（3月に還元野菜セットを販売）</li> <li>・機能性に基づく差別化ができた品目数：0品目</li> <li>・還元野菜プロジェクト会議の開催（6回）： <ul style="list-style-type: none"> <li>クラスター計画における地域AP取り組み内容の確認</li> <li>次世代型ハウス整備の進捗状況の確認 等</li> </ul> </li> <li>・還元野菜生産者会議（7/27）</li> <li>・次世代型ハウスの竣工（1/27）</li> <li>・臨時職員の雇用：6人</li> <li>・還元野菜の里づくり協議（2/23） <ul style="list-style-type: none"> <li>還元野菜の定義付け</li> <li>かざぐるま市への還元野菜コーナーの設置時期</li> <li>トリム顧客向け還元野菜のセット販売（3月実施）を決定</li> </ul> </li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・還元野菜の販売先の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒直販所でのコーナー設置に向けた協議</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.5 生産から販売までのユズの総合的な産地強化対策（香美市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市</li> <li>・JA土佐香美</li> </ul>	<p>[目標（H31）]</p> <p>ユズ販売額：5.2億円&lt;H27園芸年度：5.2億円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>ユズ販売額：5.2億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ販売額（H28園芸年度）：4.7億円（前年比90%）</li> <li>・産地協議会の開催（10回）</li> <li>・先進事例調査の実施（7/11）</li> <li>・総会の開催（8/18）</li> <li>・農地集約に向けたアンケート調査地区（1地区） <ul style="list-style-type: none"> <li>→集落周辺部にユズの植栽を決定</li> </ul> </li> <li>・担い手への園地流動化に向けたアンケート調査（部会員）を実施、とりまとめ</li> <li>・産地提案書の作成及び指導農業士2人の増員による担い手の受入体制の強化→新規就農相談案件4件（1～2月）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒市の移住窓口となっているNPOと連携した情報発信</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.6 「なの市」「なのカフェ」の売上拡大による農家所得の向上(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA長岡</li> <li>・(株)なの工房</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>直販所等の売上高: 171,000千円 &lt;H26: 171,000千円&gt; 直販所等の雇用者数: 32人 &lt;H26: 32人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>直販所等の売上高: 160,000千円 直販所等の雇用者数: 31人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所等の売上高(1月末): 119,768千円 (前年同期比 87.7%)</li> <li>・直販所等の雇用者数(3月末見込み): 32人</li> <li>・3周年記念イベント開催</li> <li>・サーモンパーク千歳への出品(4~5月、11~12月)</li> <li>・ひまわりフェスタの開催(10/29)</li> <li>・ものづくり総合技術展うまいもの市への出展(11/16~11/17)</li> <li>・なのカフェ営業時間の変更(8:00~17:00→7:30~16:30)</li> <li>・ランチパスポートへの掲載(3月~、パンケーキ)</li> <li>・全農による鮮魚の店頭販売(1月~、毎月第3火曜日)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販所全体の売上の落ち込み ⇒産振アドバイザーの活用も視野に入れた、改善策の導入</li> </ul>
<p>■No.8 地元野菜の消費拡大による地域農業の活性化(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル</li> <li>・農家レストランまほろば畑</li> <li>・南国市</li> <li>・道の駅南国風良里</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(南国市還元野菜プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額(割合): 6,455千円(25%) &lt;H26: 5,373千円(20.81%)&gt; 業務筋への供給: 25事業体 &lt;H26: 20事業体&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>学校給食における地元野菜の供給金額(割合): 6,455千円(25%) 業務筋への供給: 25事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食への地元野菜の供給金額(割合)(1月末): 5,561千円(20.3%)</li> <li>・業務筋への供給: 29業体(H27: 24事業体)</li> <li>・学校給食の配送体制の強化(2人→3人)</li> <li>・農家レストラン開店日 31日(4/1~3/31): 来店者数 5,262人(29日分集計、1日平均181人)</li> <li>・高校生レストランの開催(8/9): 来店者数 190人</li> <li>・食育フォーラムの開催(2/4、参加者数 約470人)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家レストランの新規グループ(たちばな)の自立的運営への移行 ⇒課題の洗い出し及び運営メンバーの拡充</li> </ul>
<p>■No.9 農園レストランによる地域食材の消費拡大(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)ナイフアンドフォークカンパニー</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:200,500千円&lt;H26:0円&gt; 食材の地産地消率:83%&lt;H27:83%&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高:175,000千円 食材の地産地消率:83%</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高(H27.10~H28.9月):220,991千円 (H28.10~H29.1月):53,591千円(前年同期比60.5%)</li> <li>・食材の地産地消率:83.29%</li> <li>・地元食材(ヤギミルク、シャモ肉等)を活用したメニューの提供</li> <li>・ランチメニューにパスタランチ、シャモカレーを追加</li> <li>・店舗横に良心市を設置(南国スタイルの野菜を販売)</li> <li>・新たなパンメニューの開発・販売</li> <li>・シャモ肉カレーパンを現代企業社全店で販売</li> <li>・メニューのリニューアル及びメニュー表の刷新(生産者紹介の掲載等地元色の打ち出し)(12月末)</li> <li>・夕方以降の客の獲得に向け、ワンドリンクサービスやディナー限定メニュー(夜のお魚ランチ)の提供を開始</li> <li>・幕末維新博の開幕に併せ、龍馬像を設置(縦2.7m、横5m)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高の維持 ⇒新たな企画等の実施</li> </ul>
<p>■No.10 加工品販売による夜須地域の活性化(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協同組合やすらぎ市</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>加工品販売額:1億円&lt;H26:0.96億円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>加工品販売額:0.96億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工品販売額(1月末):0.8億円(前年同期比101%)</li> <li>・新商品の開発、販売(15アイテム:みかんホイップ、マーブルあん食パン、めっちゃチーズなど)</li> <li>・生産販売計画及び販売実績の検討(5回)</li> <li>・再ブランド化に向けた店舗コンセプト(案)の決定(6次産業化アドバイザーの活用)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNSによる顧客への情報発信 (49回)</li> <li>・ フリーペーパー (k+)による情報発信</li> <li>・ 既存商品のブラッシュアップ及び新商品開発に向けた産振アドバイザーの導入 (2回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存商品のブラッシュアップ、新商品の開発、再ブランド化に向けたコンセプトの再構築</li> <li style="padding-left: 20px;">⇒6次産業化アドバイザー・産振アドバイザーの活用、アドバイザーの実践</li> </ul>
<p>■No. 11 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取組 (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業組合ごめんシャモ研究会</li> <li>・ 南国市商工会</li> <li>・ 南国市</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>売上高 : 65,000 千円 &lt;H26 : 21,553 千円&gt;</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数 : 20 店舗 (累計)</p> <p style="padding-left: 20px;">&lt;H26 : 19 店舗&gt;</p> <p>シャモ目標飼育羽数 : 3,000 羽 &lt;H26 : 1,859 羽&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>売上高 : 50,000 千円</p> <p>ごめんケンカシャモ提供店舗数 : 20 店舗 (累計)</p> <p>シャモ目標飼育羽数 : 3,000 羽</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上高 (1月末) : 37,574 千円 (前年同期比 126%)</li> <li style="padding-left: 20px;">(うち高知市内の直営飲食店売上高 : 22,604 千円)</li> <li>・ ごめんケンカシャモ提供店舗数 : 18 店舗 (H27 : 19 店舗)</li> <li>・ シャモ飼育羽数 : 2,233 羽 (前年同期比 86.5%)</li> <li>・ シャモスキヤキセット販売数 (1月末) : 563 セット</li> <li style="padding-left: 20px;">(前年同期比 74.8%)</li> <li>・ シャモ鍋セット販売数 (1月末) : 951 セット</li> <li style="padding-left: 20px;">(前年同期比 79.4%)</li> <li>・ 各種イベント出展(9回)</li> <li>・ 総会 (1回)、定例会 (21回) の開催</li> <li>・ 食鳥処理施設整備に向けて、ものづくり出前相談会に参加 (7/7)</li> <li>・ シャモ提供店舗紹介パンフレット「ごめんください」の作成・配布</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シャモ肉の安定供給量の確保</li> <li style="padding-left: 20px;">⇒飼育マニュアルに基づく生産管理の徹底</li> <li>・ 食鳥処理委託先の南国市外への移転による輸送費の増</li> <li style="padding-left: 20px;">⇒食鳥処理施設の整備</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.12 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・川添ヤギ牧場</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:22,500千円&lt;H26:1,800千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:5,400千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高(H28):3,591千円(前年比118.2%)</li> <li>・産振アドバイザーの導入(全5回)によるビジネスプランの作成</li> <li>・ひまわり乳業がヤギミルクの販売開始(5/16~いかりスーパー(関西)、サニーマート(県内)他)</li> <li>・パート雇用4人(6月~)</li> <li>・ヤギミルクを使ったアイスクリームの開発(OEM)、テスト販売(7月)</li> <li>・JAL機内食でのヤギミルクプリンの原材料供給(10/1~10/31、300食(日))</li> <li>・ヤギ肉試食会の開催(11/21、ヴィラ・サントリーニ、松原ミート、ス・ルラクセの3シェフが調理しレシピを提供)</li> <li>・産振総合補助金(ヤギ畜舎整備事業)の交付決定(1/10)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヤギミルク生産量の増加</li> </ul> <p>⇒畜舎整備による増産体制の確立</p>
<p>■No.13 民有林における原木の増産(物部川地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・各森林組合</p> <p>・林業事業体等</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>原木生産量(民有林のみ):50,000m<sup>3</sup>&lt;H26:35,887m<sup>3</sup>&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>原木生産量(民有林のみ):47,000m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木生産量(3月末見込み):42,680m<sup>3</sup>(前年比106%)</li> <li>・市町村、森林組合、事業体への補助事業等の説明会の開催(5/11)</li> <li>・境界明確化事業の成果報告会の開催(5/14、9人)</li> <li>・境界明確化事業説明会の開催(7/30、30人から同意)</li> <li>・市町村広報紙への間伐補助制度の掲載(3市、6~8月)</li> <li>・第52回林道研究発表会で、香美森林組合の取り組み(山林協会との合同発表)が優秀賞を受賞</li> <li>・高性能林業機械の導入:スイングヤーダ(物部森林組合)、グラップル(香美森林組合)</li> <li>・香美森林組合が間伐推進賞受賞</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木の安定供給</li> </ul> <p>⇒安定的な事業地の確保と担い手の育成</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 シイラ等の加工商材活用 (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県漁協手結支所</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>シイラ加工事業の販売額 : 20,000 千円          &lt;H26 : 16,011 千円&gt;</p> <p>新たな魚種の取扱い尾数 (新規) : 3,000 尾</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>シイラ加工事業の販売額 : 22,000 千円          新たな魚種の取扱い尾数 (新規) : 300 尾</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シイラ加工事業販売額 (1 月末) : 37,159 千円              (前年同期比 197%)</li> <li>・新たな魚種の取扱い尾数 (新規) : 0 尾</li> <li>・ヘッドカッターの導入 (6/27 県補助事業活用)</li> <li>・臨時職員の雇用 (6 月～)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生管理の向上              ⇒「高知県食品衛生高度管理手法」に基づく自主管理マニュアルの順守</li> </ul>
<p>■No. 15 地域の特産品づくり          ～農産物加工への取組～ (南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんこく空の駅推進協議会・西島園芸団地              など既存企業・組織・グループ、新しい組織・グループ</li> <li>・JA 南国市出資農業生産法人(株)南国スタイル</li> <li>・南国市商工会</li> <li>・南国市観光協会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>地域資源を活用した新たな特産品数 : 10 品目 (H28～31 累計) &lt;H26 : 0 品目&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>地域資源を活用した新たな特産品数 : 3 品目</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を活用した新たな特産品数 : 1 品目 (ヤギミルクアイスクリーム)</li> <li>・6 次産業化等推進事業費補助金 (市単) の「南国 F O O D P L U S」(H28.4 月設立) への交付決定 : 6 次産業化推進に向けた相談窓口のワンストップ化              →受託加工 51 件、相談受付 61 件、販売活動 41 件、商談会参加 11 件</li> <li>・特産品開発事業費補助金 (市単) 採択 6 件 (稲生産ワインの販路拡大 他)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレイヤーの発掘・育成              ⇒特産品開発事業費補助金による商品開発等への支援を継続</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.16 海洋堂ファクトリーと連携・連動した「ごめん」の賑わいづくり(南国市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南国市商工会</li> <li>・南国市</li> <li>・南国市中心市街地活性化推進協議会</li> <li>・(株)海洋堂</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>空き店舗活用数：7件(累計) &lt;H26：1件(累計)&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>空き店舗活用数：4件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗活用数：0件</li> <li>・(株)海洋堂と南国市が連携協定を締結(7/11)</li> <li>・南国市中心市街地活性化推進協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回(6/13)： <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度の活動内容を承認(フィギュア・ジオラマ教室の開催、大型造形物の制作、作品の展示会の開催等)</li> </ul> </li> <li>第2回(12/20) <ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなのモノづくり展」開催に向けた協議</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ジオラマ教室(海洋堂、商工会主催)の開催：小学生向け1回、高齢者向け1回、稲生地区1回)</li> <li>・南国市によるワンダーフェスティバル視察(7/24)</li> <li>・ごめんの軽トラ市の開催(5/15 1,800人、10/30 2,000人、2/12 1,100人)</li> <li>・南国グルメ「はしごでGO」の開催(11/2～11/6、チケット販売数 461枚)</li> <li>・海洋堂との連携企画「みんなのモノづくり展」の開催(1/14～1/29、約4,000人)</li> <li>・なんこく・ごめん活性化庁内(南国市)検討チーム会議(2/3)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋堂のファクトリー誘致に向けたスケジュール、役割分担の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒海洋堂と、建物の詳細に関する協議</li> <li>⇒南国市及び海洋堂と、基本構想(計画)策定に向けた協議</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.17 地域産品を活用したヤ・シィパークを核とする地域の活性化(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)ヤ・シィ</li> <li>・香南市</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>加工所兼店舗の売上高：54,193千円&lt;H27：0円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>加工所兼店舗の売上高：47,934千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工所兼店舗の売上高(12月末)：8,263千円</li> <li>・産振総合補助金を活用した加工所兼店舗の整備(5月)</li> <li>・フルーツアイスバー&amp;スイーツカフェ「mana mana(マナマナ)」グランドオープン(9/17)(7/23にプレオープン済み)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グランドオープンを機にアイスバーのアイテム数増加 (12 アイテム → 16 アイテム) 及びスイーツ (焼き菓子) の販売開始 (5 アイテム)</li> <li>・ スイーツの新商品の販売 (12 月中下旬～、6 アイテム)</li> <li>・ 店舗スタッフの雇用 11 人 (正規 2 人 (店長兼外販担当 1 人、フロアマネージャー1 人)、パート・アルバイト 9 人)</li> <li>・ 各種研修会への参加 店長：H A C C P 研修他 フロアマネージャー：土佐 F B C 他</li> <li>・ 土佐カントリークラブ (香南市)、デュロックファーム (四万十町) でアイスバー3 種限定販売</li> <li>・ 大阪市のレストランでアイスバー8 種限定販売</li> <li>・ ランチメニューの提供 (9/1～)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 店舗運営体制の強化 ⇒各種研修等への参加による従業員のスキルアップ</li> </ul>
<p>■No. 20 香美市における特産品づくりの推進 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (一社)香美市観光協会</li> <li>・ (協) 韮生の里</li> <li>・ 奥ものべじじばあんぜん会</li> <li>・ コハマ農産物直販所</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>開発商品売上高：10,000 千円 (17 商品)  &lt;H26：8,717 千円 (14 商品) &gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>開発商品売上高：8,800 千円 (15 商品)</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開発商品売上高(2 月末)：9,666 千円 (21 商品) (前年同期比 113%)</li> <li>・ 6 次産業化セミナーに「(協) 韮生の里 (にろうまいこ)」が参加</li> <li>・ 6 次産業化アドバイザーの導入 (コハマ農産物直販所：新商品のパッケージデザイン等)</li> <li>・ 6 次産業化セミナー (交流会) にコハマ農産物直販所が参加 (10/26)</li> <li>・ 香美市特産品振興事業費補助金 (市単) の採択：1 件</li> <li>・ 高知県商品力強化事業費補助金の採択 (12/1)：1 件</li> <li>・ 新商品の開発・販売：4 商品 (ちよこっとチョコ、たっぷりチョコ、焼きかるかん、カトルカール)</li> <li>・ 各種イベント出展での特産品販売 (26 回)</li> <li>・ 韮生の里の改修に向け、新たな食堂のコンセプトづくりへの産振アドバイザー導入 (3 回)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新商品の開発、既存商品のブラッシュアップ ⇒6 次産業化等の支援策の活用</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化(香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・香美市商工会</li> <li>・えびす街協同組合</li> <li>・地域活動団体</li> <li>・香美市</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業: 16件(H28~31累計) &lt;H27: 3件&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>空き店舗を活用した新規開業: 4件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き店舗等を活用した新規開業: 1件</li> <li>・チャレンジャーの卒業(1/31、以後チャレンジャーは0店)</li> <li>・チャレンジショップ先進地視察(6/17)</li> <li>・チャレンジショップ運営委員会開催(9回)</li> <li>・えびす商店街活性化検討委員会開催(9回)</li> <li>・チャレンジャー募集チラシの作成・配布(8月~)</li> <li>・フリーペーパー「こじゃんと」9月号にチャレンジャー募集の広告を掲載</li> <li>・チャレンジャー募集及びチャレンジャー販促チラシの新聞折り込み(12/1)</li> <li>・ふらっと中町で婚活イベントの開催(11/19、20人)</li> <li>・商店街活性化イベント「ミニ四駆親子工作教室イベント」の開催(11/27: 38人、3/12)</li> <li>・空き店舗所有者の意向調査及びデータ整理</li> <li>・地域の頑張る人づくり事業を活用し、「地域の担い手セミナー」を開催(12~1月、全4回、研修参加者14人)</li> <li>・地域資源の掘り起こしと活用に向け地域づくりアドバイザーの導入(1~3月、全3回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チャレンジャーの獲得 ⇒募集チラシの配布などPR強化</li> <li>・チャレンジショップ卒業生や移住希望者の受け皿づくり ⇒NPO法人「いなかみ」との移住希望者に関する情報共有及び集落支援員が主体となった空き店舗所有者の意向調査→空き店舗バンク(貸し付け条件、賃料等)の作成、情報発信</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 広域観光の取組の推進（物部川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知中央広域観光協議会のうち、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>観光客入込数：140.5万人&lt;H26：132.1万人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>観光客入込数：153.7万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客入込数（1～12月）：140.2万人（前年比95%）</li> <li>・高知中央広域観光協議会総会開催（5/16） →事業計画、予算案の承認（サービスエリア・道の駅へのパンフレットの配布、圏域下見研修の実施、観光・物産展への参加等）</li> <li>・物部川DMO協議会総会（設立総会6/30、臨時総会1/25） ※設立総会以降、毎月、月例会を開催</li> <li>・「(株)ものべみらい」設立（9/12）</li> <li>・3市連携企画「物部川流域フェスタ」の開催（9/25、4,000人）</li> <li>・圏域の観光素材研修の実施（10/13）</li> <li>・「高知まんなか観光物産展」（浅草まるごと日本）の開催（11/5～11/6）</li> <li>・「おさかなクリスマス in 高知・ものべ川」の開催（12/23、1,800人）</li> <li>・キーワードラリーの開催（1/20～2/28）</li> <li>・近畿日本ツーリストによる観光商品の造成（3月）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DMO協議会による具体的な取り組みの実践 ⇒協議会の運営を担う「(株)ものべみらい」が主体となった企画立案・実践</li> </ul>
<p>■No. 24 南国市の地域資源を活用した参加型観光の推進（南国市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)南国市観光協会</li> <li>・市内各観光に関わる企業・団体・グループ</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数：555,000人 &lt;H26：539,000人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>主要4観光施設の観光客入込数：555,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要4観光施設の観光客入込数（1～12月）：534,506人（前年比95.5%）</li> <li>・各種イベントの開催 岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリ（4/2～4/3） ：8,000人 ごめんな祭（5/8）：2,700人 長宗我部フェス（5/14）：2,800人 土佐のまほろば祭り（8/2）：9,000人</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>「真田丸」トークショー&amp;パネル展(7/30):200人 他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごめん・ありがとうプロモーションにより作成したPR動画公開(4/14~)</li> <li>・おへんろ衣装レンタル開始(7月~)</li> <li>・モニターツアー「津波避難タワーと市内観光」(9/29):19人</li> <li>・モニターツアー「南国市でオナガドリと写真撮影&amp;トリ三昧ツアー」(10/18):14人</li> <li>・南国市観光クラスター連絡協議会設立(11/21) →県歴史観光資源等強化事業費補助金交付決定(12/5、クラスター)</li> <li>・後免エリアのガイド養成講座(観光クラスター事業活用、1~2月、全4回、参加者17~21人)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型メニューの充実 ⇒クラスター協議会での周遊コースの造成</li> </ul>
<p>■No.25 体験観光等の旅行商品化と販売の推進・地域の観光情報の発信(香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社)香南市観光協会</li> <li>・香南市</li> <li>・香南市歌舞伎でまちおこし実行委員会</li> <li>・地域の体験メニュー等提供団体</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(日本一のニラ産地拡大プロジェクト)</p>	<p><b>[目標(H31)]</b> 観光客入込数:55万人&lt;H26:51.8万人&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b> 観光客入込数:70万人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客入込数(1~12月):60.5万人(前年比97%)</li> <li>・モニターツアーの開催:15回、参加者のべ370人</li> <li>・歌舞伎によるワークショップ等の開催:36回、参加者のべ613人</li> <li>・土佐塩の道トレイルランニングレースの開催(10/2、25kmコース:200人エントリー・173人出走、50kmコース:37人エントリー・32人出走)</li> <li>・香南市観光施設連絡会(クラスター協議会の位置づけ)を開催し(8回)、歴史のリアル化、クラスター化について協議→県歴史観光資源等強化事業費補助金交付決定(10/28、リアル化及びクラスター)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会の体制強化 ⇒職員の雇用及びスキルアップ ⇒旅行業務取扱管理者の確保</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 26 三宝山プロジェクト (香南市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香南市</li> <li>・ 民間事業者 (予定)</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>観光客入込数：20 万人&lt;H27：0 人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シャトー三宝の耐震診断委託業務完了 (2 月) (耐震結果 0.79・・・0.85 以上が必要)</li> <li>・ 土地・建物所有者との無償貸借契約の締結を予定 (H29 年度～5 年間)</li> <li>・ 検討委員会への参画について複数企業への打診</li> <li>・ 拠点化に向けた庁内 (香南市) ワークショップの開催 (3 月 2 回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プレイヤーの確保 ⇒現在打診中の企業の詳細が得られない場合、公募に向けた各種条件面の整理</li> <li>・ 基本計画の策定</li> </ul>
<p>■No. 27 香美市における滞在型・体験型観光の推進 (香美市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 香美市</li> <li>・ (一社) 香美市観光協会</li> <li>・ 地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>主要 3 観光施設の入込数：300,000 人&lt;H26：264,593 人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>主要 3 観光施設の入込数：282,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要 3 観光施設の入込客数 (1～12 月)：262,610 人 (前年比：94.7%)</li> <li>・ 観光協会事務局を移転し、「香美市インフォメーション」に窓口業務専門員を 3 人雇用</li> <li>・ 「シカニクの日べふ峡温泉スプリングフェスタ」の開催 (4/29)：参加者 873 人</li> <li>・ 「塩の道 Jazz Live うおーく」の開催 (4/23)：参加者 67 人</li> <li>・ 香美市 3 大祭りの開催：川上様夏祭り (7/27、3,000 人)、土佐山田まつり (8/6、8,000 人)、奥物部湖水祭 (8/14、10,000 人)</li> <li>・ 土佐塩の道トレイルランニングレースの開催 (10/2、25km コース：200 人エントリー・173 人出走、50km コース：37 人エントリー・32 人出走)</li> <li>・ 香美バル開催 (10/28～10/29、チケット販売数 487 枚)</li> <li>・ 龍河洞クリスマスキャンドルナイトの開催(12/23、約 1,300 人)</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフォメーションに無料 Wifi の設置 (1/20) 及び外国人観光客向け案内看板設置 (1/31)</li> <li>・土佐塩の道 30 k m うおーく (3/25)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <p>観光協会の体制強化</p> <p>⇒インフォメーション機能の強化</p> <p>⇒旅行業 3 種登録による旅行商品の造成</p>

## 2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況 (交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
No. 12 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業 (南国市)	ヤギ畜舎の増築によるヤギミルクの生産体制強化	44, 322 (21, 599)

## 3 県民参画に向けた取組

- ・企業訪問における地域アクションプランの制度説明 (5/30)
- ・行政事務地域連絡会議における地域アクションプランの概要説明 (6/3)
- ・四国銀行との連絡会における第 3 期産業振興計画及び地域アクションプランの説明 (7/15)
- ・高知銀行との連絡会における第 3 期産業振興計画及び地域アクションプランの説明 (12/13)

## 4 相談案件：5 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/19	食品加工	ワイン醸造所整備に向けた候補地の選定
2	5/2	農業	直販所の拡充
3	5/19	観光	物部川流域でのサイクリングメニューづくり
4	6/28	食品加工	グァバを原材料とする加工品づくり
5	12/6	食品加工	水産物加工施設の整備



## 高知市地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 3 . 2 8  
高知市地域本部

### 1 地域アクションプランの平成 28 年度の実施状況（総括）

#### (1) 総評

第 3 期のアクションプラン全 3 0 項目については、概ね安定的に推移している。

「竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出」については、竹材の集荷や加工・販売など竹産業を土佐山地区に集積して拠点化し、県内各地に竹資源を活用した事業を拡大していくクラスターの形成に向け、(同) 高知竹材センターを設立し 6 月から稼働を開始した。現在は立ち上げ後の実施体制の強化を図り、土佐山地区周辺から集材した原竹の一次加工・販売を行っている。

農業分野では、土佐山地区のユズの搾汁残渣の有効活用や、スイーツの製造販売に向けた新たな施設・設備の稼働により雇用が創出され、販路の開拓や店舗における販売に取り組んでいる。

観光・商工業分野では、大型クルーズ客船の寄港などに伴い増加する外国人観光客に対応するため、店舗向けの接客講座の開催などに取り組み、特に中心商店街における外国人観光客の受入体制の強化が図られた。

また、日曜市では新規出店基準を緩和し、農業者以外にも出店の機会を拡げたことにより、新規出店数が増加するなど、次世代の担い手を確保する取り組みが進んでいる。

高知市を核とした周遊観光を促進する取り組みについては、(株)城西館が実施している体験型旅行商品（とき恋ツアー）の一層の拡がりに向けて、県内各地の地域資源の発掘と新たな商品の開発が進んでいる。

#### (2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 1 キュウリの生産販売対策の強化による産地振興（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A 高知春野</li> <li>・ J A 高知春野キュウリ部会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>出荷量：12,700t&lt;H27：10,174t&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>出荷量：10,330t</p> <p>[取組状況]</p> <p>出荷量 (H28 園芸年度)：8,900t (前年比 86%)</p> <p>生産性向上に向けた環境制御技術等に係る勉強会等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勉強会 3 回 (5/2、10/17、12/12)</li> <li>・ 普及促進事業の説明会 2 回 (5/9、5/12)</li> </ul> <p>環境制御技術の取り組み結果のとりまとめ及び報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 反省会・成果発表会を開催し、実証ほにおける炭酸ガス装置の有効性や課題、今後の取り組み方針等について協議 (7/15、7/19、8/4)</li> </ul> <p>環境制御技術導入の栽培マニュアルの改訂 (9/30)</p> <p>JA 高知春野園芸部総会及び H29 園芸年度園芸品販売推進大会において、栽培面積や販売目標を確認・共有 (10/19)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>天敵実証ほを設置し、天敵と害虫の状況について把握(10～12月)</p> <p>J A高知春野のキュウリ選果機の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選果機の設置及び稼働開始(11/1)</li> </ul> <p>担い手確保に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の獲得に向けた、農業体験ツアー(11/19～11/20)の開催</li> <li>・新規就農者募集パンフレットの作成(3月完成)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高品質・高収量のための技術改良 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒環境制御技術や天敵利用技術の普及促進</li> <li>⇒環境制御技術マニュアルの改訂に向けたデータの収集</li> </ul> </li> <li>・産地の維持拡大のための担い手確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒担い手研修生の就農に向けた受入支援の継続</li> <li>⇒建設業など農業以外の分野からの労働力確保</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.3 生産と販売促進対策の強化による消費地に選ばれるユリ産地の振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・J A高知市</li> <li>・J A高知市長浜支所園芸部花卉部会</li> <li>・J A高知春野</li> <li>・J A高知春野花卉部会球根部会</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>販売額：3.8億円&lt;H27：3.8億円&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>販売額：3.8億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>販売額(H28園芸年度)：3.5億円(前年比94%)</p> <p>取引市場を交えた協議等による市場ニーズの把握(3回)及び今後の出荷計画の情報共有(2/23)</p> <p>品質向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な目慣らし会の実施(28回)</li> <li>・県外の優良産地への視察及び栽培技術に関する情報交換(6/29～7/1)</li> </ul> <p>担い手確保に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の獲得に向けた、農業体験ツアー(11/19～11/20)の開催</li> <li>・指導農業士の育成強化</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者減に伴う出荷量減少に対する販売対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒市場ニーズを踏まえた規格の絞り込み及び付加価値性の高い品種の育成</li> </ul> </li> <li>・担い手の確保に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒JA 無料職業紹介所等の活用促進</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.7 新ショウガの生産振興</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A高知春野</li> <li>・ J A高知春野ショウガ部会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>販売額：8億円&lt;H27：7.91億円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：7.96億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額 (H28 園芸年度)：8.98億円 (前年比 114%)</p> <p>品質向上に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ファインバブル水試験の実施 (実施農家数 2 件)</li> <li>・ ファインバブル水導入圃場の調査 (3 回)</li> <li>・ 炭酸ガス技術に関する各種調査 (4 回)</li> <li>・ 炭酸ガス施用実証実験についての農家との協議 (9 月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高収量・高単価対策</li> </ul> <p>⇒ファインバブル等の技術確立による品質向上に向けた取り組み</p>
<p>■No.8 ユズを核とした中山間農業の活性化 (高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A高知市</li> <li>・ J A高知市土佐山柚子生産組合</li> <li>・ 土佐山ファクトリー協同組合</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>販売額：1.9億円&lt;H26：0.8億円&gt;</p> <p>未活用(廃棄)果皮：0t&lt;H24-26 平均：111t&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：1.5億円</p> <p>未活用(廃棄)果皮：-</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額 (3月末見込み)：2億円 (前年比 105%)</p> <p>ユズ振興計画の見直し及び苗木の定植指導等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗木の定植指導 2 回 (5/2、5/7)</li> <li>・ ユズ栽培技術情報紙の作成及び配布 3 回 (4、5、6 月)</li> </ul> <p>搾汁残渣を活用した精油等抽出機器の導入(土佐山ファクトリー(協)、産振総合補助金を活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユズ精油等抽出装置完成 (11/28)</li> <li>・ 精油等抽出装置の試運転見学会及び関係者との協議において、製品サンプルと今後のスケジュール・販売先等について確認</li> <li>・ ユズ精油等抽出装置の移設及び本格稼働 (3/1)</li> </ul> <p>ユズ精油の製品表示について検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食品産業協議会に表示について相談 (12/22)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販路の拡大</li> </ul> <p>⇒首都圏・関西圏を中心とした営業活動の強化</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユズの生産量の維持及び拡大</li> <li>⇒定植指導及び技術指導の継続実施に向けて、栽培技術情報紙の充実やより効果的な講習会の実施</li> </ul>
<p>■No. 10 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一財）夢産地とさやま開発公社 等</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>販売額：2.02 億円&lt;H26：1.03 億円&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>販売額：1.49 億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>販売額（1月末見込み）：1.41 億円（前年同期比 122%）</p> <p>スイーツ加工施設の整備（産振総合補助金を活用）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事（9/1 着工、11/19 完成）</li> <li>・スイーツ商品の試験製造開始（11 月）</li> </ul> <p>スイーツ等の販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひろめ市場内にとさやま開発公社が運営する店舗をオープンし、地域の農産物を活用した食事やアルコール飲料等を販売（12/17）</li> <li>・オーベルジュ土佐山内にカフェをオープンし、地域食材を活用した軽食やスイーツのお土産品等を販売（2/10）</li> <li>・プロジェクトチームによる全体会において、進捗状況及び今後の進め方等を協議（9 回）</li> </ul> <p>加工品の販路拡大及び販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京にて、食材にこだわった飲食店等に向けてユズやショウガのコンフィチュールやピール等の PR 及び商談会の実施（1/26、参加団体:9 社、契約成立数:1 社、産振アドバイザーを活用）</li> <li>・農産物及びジンジャーエールの新規取引 6 社</li> <li>・東京都内におけるファーマーズマーケットでの販促（計 48 回）</li> <li>・日曜市での販促（計 25 回）</li> <li>・ユズを活用した新たな商品の開発（ゆずシロップ）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>スイーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各店舗の販売の安定化及び拡大</li> <li>⇒店舗間の情報共有の仕組みづくりや会計管理の見直し</li> <li>⇒品質向上に向けたアドバイザー等の活用</li> </ul> <p>その他加工品事業（ジンジャーエール等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジンジャーエール類の販路拡大</li> <li>⇒日曜市等の対面販売の強化に加え、セット商品の販売やネット販売、ふるさと納税返礼品での展開</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 直販店を核とした鏡地域の活性化 (高知市)</p> <p>《事業主体》 ・鏡村直販店組合</p>	<p>[目標 (H31) ] 販売額 : 1.7 億円 &lt; H27 : 1.62 億円 &gt;</p> <p>[H28 到達目標] 販売額 : 1.64 億円</p> <p>[取組状況] 販売額 (2 月末) : 1.44 億円 (前年同期比 99%) 販売促進に関する取り組み ・ネットを活用した通信販売・情報発信に係る協議 (8 回、11/29 産振アドバイザーの活用) 農業改良普及所による栽培推進品目の栽培試験、現地巡回指導 ・栽培推進品目の情報提供 (青果部会講習会 1 回) ・現地巡回指導 12 回 ・直販店総会にて、計画的な生産体制の構築に向けた新たな栽培品目の提案 (2 月)</p> <p>[課題と今後の対応] ・商品ラインナップの充実 ⇒これまでの取り組みの継続及び他産地からの仕入協議 ・さらなる販売額増に向けた取り組み ⇒店舗以外での多様な販売ルートの確立</p>
<p>■No. 12 「食」の提供による地域農産物の消費 拡大</p> <p>《事業主体》 ・J A 高知市 ・J A 高知市女性部</p>	<p>[目標 (H31) ] 直販所販売額 : 76,000 千円 &lt; H27 : 74,609 千円 &gt; 加工グループ販売額 : 26,000 千円 &lt; H27 : 25,136 千円 &gt;</p> <p>[H28 到達目標] 直販所販売額 : 74,956 千円 加工グループ販売額 : 25,352 千円</p> <p>[取組状況] 直販所販売額 (1~12 月) : 82,202 千円 (前年比 110%) (H29. 1~2 月) : 10,507 千円 (前年同期比 105%) 加工グループ販売額 (1~12 月) : 29,852 千円 (前年比 119%) (H29. 1~2 月) : 4,098 千円 (前年同期比 116%) 加工グループの加工品の販売拡大に向けた取り組み ・進捗管理、商品計画の検討及び見直し (7 回) ・県外加工グループの視察研修の開催 (5/21、参加者 8 名) ・農家レストランの開催 (6/18・10/22、来場者 計 153 名) 次年度の事業計画の見直し ・当年度の取り組みの総括及び次年度計画の策定 (直販店:1/26 加工グループ:3/13)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工事業の維持・拡大に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒季節商品やイベント等に向けたメニューの充実</li> <li>⇒主体的に活動できる核となる人材の育成</li> <li>⇒労働力の確保に向けた雇用条件の改善</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.13 伝統作物の復活と関連産業の振興 (高知市)</p> <p>《事業主体》 ・ Team Makino</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>販売額：9,000 千円&lt;H27：0 円&gt;</p> <p>品目数・面積：10 品目・150a (累計) &lt;H27：0 品目・0a&gt;</p> <p>加工品数：7 品目 (累計) &lt;H27：0 品目&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：700 千円</p> <p>品目数・面積：2 品目・10a</p> <p>加工品数：1 品目 (累計)</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額 (2 月末)：337 千円</p> <p>品目数・面積 (2 月末)：3 品目・9a</p> <p>加工品数 (2 月末)：2 品目</p> <p>任意の集団であった「Team Makino」を組織化 (規約の制定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設立総会の開催 (5/21)</li> </ul> <p>夏秋品目の作付け及び秋冬品目の作付計画の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株)大豊ゆとりファームにて採種用インゲンの定植 (7/15)</li> <li>・ 北七ツ淵地区・久万川地区にて栽培方法や採種、販路等について協議 (7/26、8/22、8/29)</li> </ul> <p>活動の進捗状況確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連絡協議会を開催し、商談会の開催に向け調整 (8/23)</li> </ul> <p>生産及び販路の拡大に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ セミナー及び商談会の開催 (12/13、参加人数：生産者及びバイヤー等 68 名)</li> <li>・ 高知市内で伝統野菜の PR を目的としたマルシェ (販売会) の実施 (1/21、来場者数:202 名)</li> <li>・ 県内各地域の伝統野菜の関係者等による産地交流会の実施 (3/13)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販路に合わせた重点品目の絞り込み <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 「Team Makino」連絡協議会への情報提供・助言等</li> </ul> </li> <li>・ 伝統野菜の新規生産農家の確保及び普及活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 集落営農組織等の生産意欲のある団体に向けた情報提供</li> </ul> </li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 異業種間のコラボレーションによる 新たな商品・サービスの創出（高知市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コラボネットワーク高知事務局</li> <li>・ 高知市</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>農商工連携セミナー受講者数：延べ 100 事業者  <span style="float: right;">&lt;H27：0 事業者&gt;</span></p> <p>コラボグランプリエントリー数：30 アイテム  <span style="float: right;">&lt;H27：10 アイテム&gt;</span></p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>農商工連携セミナー受講者数：延べ 60 事業者            コラボグランプリエントリー数：15 アイテム</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>農商工連携セミナー受講者数：延べ 77 事業者            コラボグランプリエントリー数：10 アイテム</p> <p>参画者の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農商工連携セミナーの開催（8/17）</li> </ul> <p>新たな商品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ うめきたフェスティバル（大阪）にて第1回にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ 2016 を開催（4/3）</li> <li>・ にっぽんの宝物コラボグランプリ 2016 高知大会の開催（11/5 開催）及びエントリー商品のブラッシュアップやプレゼン方法についてのアドバイス</li> </ul> <p>販売促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ にっぽんの宝物シンガポール大会イベントにおいてエントリー商品をPR（10/28～10/30）</li> <li>・ ショッピングセンターやホテルの売店・バイキング等で高知大会受賞商品の新規取引開始</li> <li>・ 高知大会グランプリ受賞商品のサンプル提供（香港）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参画者の拡大 ⇒H29 農商工連携セミナーへの呼び込みの継続</li> <li>・ 新たな商品づくり及び販売促進の取り組み ⇒全国大会「にっぽんの宝物 JAPAN グランプリ 2017（仮）」（H29.5月予定）エントリー商品のブラッシュアップ ⇒コラボネットワークの取り組み及びグランプリ開催に関する情報発信の強化（チラシ、ウェブサイト等）</li> </ul>
<p>■No. 16 森の工場の拡大による原木の増産</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知市森林組合</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>森の工場面積：2,000ha（累計）&lt;H26：1,453ha&gt;            素材生産量：4,200 m<sup>3</sup>&lt;H26：2,660 m<sup>3</sup>&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>森の工場面積：1,900ha            素材生産量：3,200 m<sup>3</sup></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <p>森の工場面積(3月末見込み): 1,949ha          素材生産量(3月末見込み): 3,016 m<sup>3</sup>(前年比110%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村、森林組合、事業体を対象とした林業振興関係説明会の開催1回</li> <li>・集材工期調査の実施(11/7)</li> <li>・土佐山桑尾地区が森の工場として新たに認定(予定・面積96ha)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経験値の高い伐採作業員の減少による生産性の低下          ⇒伐採事業地を増加させることで、伐採経験機会をさらに拡大し、作業員の技術力を向上</li> </ul>
<p>■No.18 春野地区の農産物(トマト等)の付加価値向上(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)スタジオ・オカムラ</li> <li>・連携農家</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売額: 120,000千円&lt;H26: 45,110千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額: 60,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売額(12月末): 45,898千円(前年同期比118%)</p> <p>首都圏の百貨店・高質系スーパー等への外商の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏の百貨店への加工品の採用 3件(4~12月)</li> <li>・県外及び海外のバイヤーとの商談 2件(6~12月)</li> <li>サンプル送付 1件</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原料調達の安定化          ⇒連携農家における集出荷施設等の整備</li> </ul>
<p>■No.19 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)コスモ工房</li> <li>・(同)高知竹材センター</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 100,000千円&lt;H27: 90,000千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高: 95,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高(3月末見込み): 80,000千円(前年比88%)</p> <p>竹の供給体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本格的な受け入れ開始(7月)</li> <li>・土佐山地域住民向けの説明会の実施2回(7月)</li> <li>・竹材センターの設備の充実(産振総合補助金ステップアップ事業)及び工業技術センターによる技術支援(7~12月)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原竹の供給体制の強化 ⇒原竹の一次加工体制の強化 ⇒原竹の供給エリアの拡大</li> <li>・市場の動向への対応 ⇒ニーズを常に把握し、多様な販路の拡大</li> </ul>
<p>■No. 20 防災食の開発・製造・販売(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県食品工業団地事業協同組合の企業など</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>アイテム数：10 (累計) &lt;H26：3 銘柄&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>アイテム数：5 (累計)</p> <p>[取組状況]</p> <p>アイテム数 (2月末)：3</p> <p>(参考) 保存用ミレービスケット販売実績 (H28 実績)： 25,700 千円 (前年比：190%)</p> <p>新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発中商品 (2月末)：2</li> </ul> <p>既存商品の用途拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車内保存用への用途拡大に向けた各種試験の実施 (4～1月)</li> <li>・試験結果を元に、自動車メーカーに対して車内保存用防災食を提案中 (2月～)</li> </ul> <p>商談会や展示会などへの出展による販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏で開催される各種展示商談会への出展 <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェアベックス 2016 (4月)</li> <li>・スーパーマーケット・トレードショー2017 (2月)</li> <li>・FOODEX JAPAN2017 (3月)</li> </ul> </li> <li>・産地視察型商談会 (全体会) への参加 (5月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発力の向上 ⇒商品開発に係る公的機関等との連携の強化</li> </ul>
<p>■No. 23 日曜市をはじめとする土佐の街路市の活性化(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知市、出店者4組合ほか関係団体等</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>新規出店数：20 件/年&lt;H26：14 件&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>新規出店数：20 件</p> <p>[取組状況]</p> <p>新規出店数 (2月末)：26 件</p> <p>新規出店者の拡大 ・「さんしんGO！」による広報活動 (6/26)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>市場内の回遊性を高めるための取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駐車場・トイレ等の案内看板の作成・掲示 (4月)</li> <li>・ 英語版リーフレットの制作 (3月)</li> </ul> <p>食を通じた飲食店との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日曜市の食材を活用した飲食店認定数：2店舗</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規出店者のさらなる拡大</li> </ul> <p>⇒日曜市の魅力を紹介した映像の制作</p>
<p>■No. 24 近隣地域等との連携による滞在型・体験型観光の推進 (高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 榎城西館等</li> <li>・ 高知市</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：127.3万人  &lt;H26：約93.4万人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数：106.8万人</p> <p>[取組状況]</p> <p>高知市内の宿泊施設の延べ宿泊者数 (3月末見込み)：  103.3万人 (前年比112%)</p> <p>城西館による着地型旅行商品「とさ恋ツアー」の実施・企画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存メニューの利用客数 (3月末見込み)：3,600人  (前年比109%)</li> <li>・ 新規商品化メニュー1ヶ所 (須崎市浦の内地域)</li> <li>・ 新規企画メニュー2ヶ所 (高知市土佐山地域、仁淀川地域)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着地型旅行商品の開発による観光資源の磨き上げ</li> </ul> <p>⇒集落活動センター等を通じた旅行商品の開発</p>
<p>■No. 25 本家よさこいのブランド力確立とよさこい文化の継承・発展</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知市</li> <li>・ (公社) 高知市観光協会ほか関係団体等</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>よさこい祭り来場者数：1,200千人  (近年の最高来場者数の維持)  &lt;H26：1,200千人&gt;</p> <p>高知よさこい情報交流館入館者数：400千人 (累計)  &lt;H25. 4. 27～H27. 3. 31:119,643人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>よさこい祭り来場者数：1,200千人  高知よさこい情報交流館入館者数：250千人 (累計)</p> <p>[取組状況]</p> <p>よさこい祭り来場者数 (8/9～8/12)：約1,100千人  高知よさこい情報交流館入館者数 (2月末)：223千人 (累計)</p> <p>2020 東京オリンピック・パラリンピック大会への準備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2016年リオ大会の「ジャパンハウス」において「よさこい」を紹介 (写真・パネル展示等)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海外よさこいチーム代表者を「よさこいアンバサダー」として認定</li> <li>・よさこい情報発信サイトの立ち上げ</li> </ul> <p>よさこい発祥の地PR及び普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかよさこいの開催(5/8～7/17)</li> <li>・こうち駅前よさこい(8/21～12/25までの日曜日)</li> <li>・はりまやよさこい(同上)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よさこい鳴子踊りの持続・発展及び県内外でのPR</li> </ul> <p>⇒2020 東京オリンピック・パラリンピック大会に向けた全国のよさこいとの連携</p> <p>⇒踊り子の参加しやすい環境整備</p>
<p>■No. 27 浦戸湾を活用した観光の振興(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐レジン</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>観光遊覧船の乗船客数: 2,000人 &lt;H26: 0人&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>観光遊覧船の乗船客数: 1,200人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>観光遊覧船の乗船客数(3月末見込): 662人(前年比 88.9%)</p> <p>利用客拡大に向けた環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2隻目稼働(9/7～)、3隻目稼働(10/30～)</li> <li>・新たな発着場での運航(2月～)</li> </ul> <p>クルーズ内容の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕末維新博に合わせた船内アナウンスの充実・改善(3月～)</li> </ul> <p>「さんしんGO!」による広報活動(3/19)</p> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗船客のさらなる増加</li> </ul> <p>⇒3隻体制における効率的なオペレーションの展開及びPRの強化</p>
<p>■No. 30 県民性を活かした外国人観光客受入態勢の充実(高知市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知おせっかい協会</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>商品表記の多言語化店舗数: 100店舗(累計)</p> <p style="text-align: right;">&lt;H26: 0店舗&gt;</p> <p>オセッカイストの認定者数: 300人(累計) &lt;H26: 0人&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>商品表記の多言語化店舗数: 50店舗(累計)</p> <p>オセッカイストの認定者数: 150人(累計)</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>商品表記の多言語化店舗数(2月末): 40店舗</p> <p>オセッカイストの認定者数(2月末): 151人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	大型外国客船の乗船客への街中ガイド等の活動 ・ガイド活動の実施 8回 中心市街地の店舗関係者を対象とした接客講座 ・英語・中国語接客講座の開催 3回 ・出張型接客英会話個別講座の開催 3回 外国人観光客向けの案内表記の翻訳 ・翻訳 4件 <b>[課題と今後の対応]</b> ・外国人観光客に対する店舗の接客力向上 ⇒接客英会話個別講座の内容の充実

## 2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 8 ユズを核とした中山間地域の振興(高知市)	・バイオマス再資源化装置の導入によるユズ搾汁残渣の有効活用(精油等抽出機器の整備)	104,981 (50,000)
■No. 10 「まるごと有機プロジェクトの推進」による中山間地域の振興(高知市)	・有機無農薬野菜の加工品の販売等による土佐山産農産物のブランド化の推進(加工場の施設整備、直営販売拠点の整備)	110,376 (50,000)
■No. 19 竹資源の活用による中山間地域の新たな産業の創出(高知市) ※ステップアップ事業	・竹集約システムの構築(竹の伐採・集材・加工等の仕組みづくりの構築、PR用ホームページ・チラシ作製、事業推進に向けたPR活動)	2,720 (1,360)

## 3 県民参画に向けた取組

- ・四国銀行本店営業部に対して産業振興の取り組みについて説明(4/12)
- ・高知市商店街振興組合連合会役員会にて、産業振興の取り組みについて説明(4/25)
- ・土佐山の日に、土佐山地区の住民及び関係団体に対して産業振興の取り組みについて説明(4/29)
- ・おせっかい協会定例会にて、会員に対して産業振興の取り組みについて説明(4/19、5/24、6/14)
- ・産業振興計画シンポジウムの開催(高知市、5/16)
- ・高知銀行幹部との協議にて、産業振興の取り組みについて説明(6/9)
- ・梅ノ木ファーム役員会にて、役員に対して産業振興の取り組みについて説明(7/12)
- ・県内の製造業者に対して産業振興の取り組みについて説明(7/14)
- ・県種苗緑化組合への訪問時に産業振興の取り組みについて説明(8/16)
- ・浦の内湾内の漁業協同組合及び事業者に対して産業振興の取り組みについて説明(9/8)

- ・高知市旅館ホテル協同組合との協議にて、産業振興の取り組みについて説明（10/11）
- ・その他、訪問、来社企業等に対して第3期計画の説明

#### 4 相談案件：20件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/13	製造販売	おしぼりを製造する会社から、新商品の開発と雇用についての相談
2	4/13	医薬品	個人からアカメガシワの入手方法についての相談
3	4/18	食品加工	飲食店経営者より、メニューの商品化についての相談
4	5/25	医薬品	春野商工会より、フキの皮の抗菌作用の活用についての相談
5	6/16	食品	精進料理の普及についての相談
6	7/8	林業	竹を活用したバイオマス発電事業についての相談
7	8/5	水産業	高知県産鰹の加工販売事業についての相談
8	9/26	水産業	車エビの養殖者より、今後の事業展開についての相談
9	10/7	清掃業	地域活性化に向けた取り組みについての相談
10	11/22	飲食業	ジビエ料理の普及・啓発についての相談
11	12/15	障害福祉	障害福祉サービス事業所利用者の工賃アップに向けた新たな事業展開についての相談
12	12/15	食品	有用植物を活用した薬膳料理についての相談
13	1/12	飲食業	クラフトビールの開発についての相談
14	2/2	食品加工	県産パッションフルーツを用いたリキュールの製造についての相談
15	2/8	発電	ダム湖の景観改善についての相談
16	2/8	水産業	底曳漁で獲れるタカアシガニの活用策についての相談
17	2/10	商業	インターネットを活用した個人経営者等を支援する取り組みについての相談
18	2/17	観光	大手旅行会社による旅行商品の企画及び受け入れ先の確保についての相談
19	2/23	食品	ビワのはちみつの産地についての相談
20	3/7	観光	外国人観光客向けのガイドマップの作成についての相談





## 嶺北地域アクションプランの進捗状況等

H29.3.28  
嶺北地域本部

### 1 地域アクションプランの平成 28 年度の実施状況（総括）

#### (1) 総評

嶺北地域アクションプランは、全 23 件中 8 件が新規案件としてスタートし、嶺北 4 町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略等の取り組みとベクトルを合わせながら推進している。

農業分野では、3 町が中山間農業複合経営拠点事業に取り組む中、JA 出資型法人（(株)れいほく未来）においては、都市圏からの研修生の受け入れが定着し、新規就農につながってきている。また、ブランド米「土佐天空の郷」が全国コンクールで品質を高く評価され、販売面でも効果が表れているほか、ブランド米を原料とする「土佐泡盛 REIHOKU」や甘酒の生産が開始されるなど、新たな加工品づくりも進んでいる。

畜産分野では、土佐あかうしの増頭対策や、大川黒牛、土佐はちきん地鶏の飼育施設の拡張により、生産拡大に向けた体制強化が図られている。また、土佐はちきん地鶏の付加価値を向上させるため、食鳥処理・加工施設の整備に着手するとともに、首都圏等での販売拡大に取り組んでいる。

林業分野では、12 月から高知おおとよ製材(株)がフル稼働体制に入り、集落活動センターにおける担い手育成やスギのコンテナ苗の栽培の取り組みなどと合わせて、嶺北地域を 1 つのフィールドとした林業クラスターの形成が進んでいる。

観光分野では、県外企業の監修によるアウトドア拠点施設の整備に向けた取り組みや、山岳観光の拠点整備のほか、さめうら荘の改修に関する協議が進められている。

また、これら全ての取り組みを進展させるには、広域連携による交流人口の拡大や移住対策、若者の定着が必須であることから、クラウドファンディングも活用しながら、学生・若者と地域を結ぶ「ONE れいほく」による仕組みづくりに地域と共に取り組んでいる。

#### (2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 JA 出資型法人（(株)れいほく未来）を核とする地域活性化の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)れいほく未来</li> <li>・JA 土佐れいほく</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（嶺北畜産クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む） ：12 人（H28～31 累計）＜H24～27 累計：8 人＞</p> <p>農業経営事業（園芸）売上高 ：50,000 千円＜H26：23,670 千円＞</p> <p>米粉等の販売額：1.1 億円＜H26：1.04 億円＞</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>研修による新規就農者数（雇用者数含む）：3 人 農業経営事業（園芸）売上高：38,500 千円 米粉等の販売額：1.1 億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修による新規就農者数(雇用者数含む):2人</li> <li>・農業経営事業(園芸)売上高(1~12月):35,409千円 (前年比96.4%)</li> <li>・米粉等の販売額(1月末):0.9億円</li> <li>・インターンシップ事業実施:3回・15人参加</li> <li>・栽培講習会への参加:9回</li> <li>・生育状況確認及び栽培管理指導:8回</li> <li>・農業基礎講座の開催:5回、参加者延べ23名</li> <li>・農商工連携基金事業による米粉の新商品開発:2件 (グルテンフリーの米粉ミックス粉、柚子羊羹の販売) ※米粉ミックス粉は4月発売開始予定</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修生の募集、受入、育成 ⇒農業に意欲のある研修生の確保・指導・育成及び 独立就農や雇用就農につなげるための就農支援</li> <li>・栽培技術の習得 ⇒育苗及び野菜栽培管理技術の向上による生産性の 向上(彩どりピーマン、米ナス等)及び冬作(スナップ エンドウ)の定着に向けた検討</li> <li>・米粉の新商品の販売促進 ⇒関西圏へのさらなる販売促進</li> <li>・米粉パン販売の継承(八菜館における米粉パン販売の中止) ⇒後継者の募集・育成</li> </ul>
<p>■No.6 土佐あかうしの競争力の確保による 肉用牛産業の再興(本山町,土佐町,大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA土佐れいほく</li> <li>・(株)れいほく未来</li> <li>・飼養者</li> <li>・本山町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大豊町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラス ターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>土佐あかうしの販売額:3.0億円&lt;H26:1.5億円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>土佐あかうしの販売額:2.8億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐あかうしの販売額(1月末):2.0億円 (前年同期比87%)</li> <li>・れいほく未来飼養頭数(1月末):176頭(前年同期比138%) (繁殖雌牛110頭、肥育20頭、子牛46頭)</li> <li>・土佐町肉用牛推進協議会設立(6/10)</li> <li>・堆肥舎:畜産クラスター整備事業の農政局採択(8/2) 産振総合助金審査会採択(10/17)</li> <li>・レンタル畜舎整備事業:本山町1戸</li> <li>・第30回全農こうち枝肉共励会(11/21)にて優秀賞 :れいほく未来</li> <li>・飼料用とうもろこし試験栽培:4反(交付金活用)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繁殖雌牛及び肥育牛のさらなる増頭 ⇒繁殖雌牛導入事業及び土佐あかうし増頭対策事業(ET受胎、CS舎飼育)の継続実施</li> <li>・飼育担当者の飼養管理技術の向上 ⇒OJTの徹底</li> <li>・自給飼料の確保 ⇒飼料用とうもろこし本格栽培：1.3町</li> <li>・れいほく未来の水不足 ⇒汲み上げポンプ整備 (H29 うち農業確立支援事業活用予定)</li> </ul>
<p>■No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化(大川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)むらびと本舗</li> <li>・大川村</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>黒牛の販売額：54,900千円&lt;H26：34,000千円&gt; 出荷羽数：12.5万羽&lt;H26：5.2万羽&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>黒牛の販売額：40,000千円 出荷羽数：8.0万羽</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒牛の販売額(1月末)：44,518千円(前年同期比161%)</li> <li>・出荷羽数(1月末)：5.1万羽(前年同期比124%)</li> <li>・大川村PT産業振興部会の開催：4回</li> <li>・黒牛肥育牛舎完成(4/21)</li> <li>・はちきん地鶏育雛鶏舎(朝谷1棟)完成(6/17)</li> <li>・はちきん地鶏肥育鶏舎(方田2棟)の整備(3月完成予定)</li> <li>・食鳥処理・加工施設の整備着手 地方創生推進交付金採択(11/25) 産振総合補助金審査会採択(12/5)</li> <li>・顧問契約した商社OBを通じた首都圏での営業活動 (～12月)</li> <li>・新規取引先：33件(取引先数(累計)：109件)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・繁殖雌牛の増頭 ⇒一貫生産体制における繁殖成績の向上</li> <li>・はちきん地鶏のブランド化 ⇒村内施設での食鳥処理及び加工品の生産 ⇒首都圏等における営業活動の強化 (営業担当人材の増強と外商公社との連携)</li> <li>・高知県版HACCP認証取得 ⇒技術研修や資料作成等、HACCP申請に向けた準備</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益性確保に向けた増羽体制及び施設の整備 ⇒床暖房の効果による冬場の育成率、出荷平均体重の改善</li> </ul>
<p>■No.8 嶺北地域における林業クラスター化の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林所有者</li> <li>・自伐林家</li> <li>・森林組合</li> <li>・素材生産事業体</li> <li>・高知おおとよ製材(株)</li> <li>・大豊町</li> <li>・本山町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化）</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>素材生産量：130,000 m<sup>3</sup>&lt;H26：98,515 m<sup>3</sup>&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>素材生産量：110,000 m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素材生産量（1月末）：85,388 m<sup>3</sup>（前年同期比113%）</li> <li>・木材増産推進プロジェクトチーム会：4回</li> <li>・森林組合支援ワーキング：3回</li> <li>・森林組合支援チームをスタート（6月～）：9回</li> <li>・素材生産事業体の増産に向けた聞き取り、協議（森林組合、事業体計12事業体）</li> <li>・間伐関係補助事業の周知</li> <li>・ストックヤード造成工事 （4月着手、進入道完成、造成作業／進捗率は全体の17.7%）</li> <li>・原木（C材）の安定供給に向けた各種制度の普及啓発</li> <li>・高知おおとよ製材(株)は12月からフル生産 新規採用者6名</li> <li>・嶺北広域原木安定供給協議会の設立（1/24）</li> <li>・チップ材出荷量累計（2月末）：4,034t</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・搬出間伐の生産性向上</li> <li>・皆伐事業地の拡大に伴う再生林の推進</li> <li>・林業事業体の体質強化 ⇒「森の工場」新規計画策定の検討 木材増産に向けた計画的な生産（皆伐・搬出間伐）</li> <li>・林業従事者及び担い手の育成確保</li> <li>・原木の安定供給 ⇒嶺北広域原木安定供給協議会の取り組み 必要となる原木量の確保並びに供給体制の整備 コスト及び需要供給のバランスの調整等</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進及び建築人材の育成(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)SUN SHOW</li> <li>・レイホク木材工業(協)</li> <li>・吉野川リビング(協)</li> <li>・本山町</li> <li>・土佐町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>木材の出荷量: 2,000 m<sup>3</sup>&lt;H26: 744 m<sup>3</sup>&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>木材の出荷量: 1,200 m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の出荷量(3月末見込): 585 m<sup>3</sup>(前年比57%)</li> <li>・建築棟数(2月末): 23棟 (香川県: 9棟(159 m<sup>3</sup>), 高知県: 14棟(426 m<sup>3</sup>))</li> <li>・四国内の販売活動の展開 県内銀行のビジネスマッチングにより香川県で営業活動を実施: 1回</li> <li>・レイホク木材工業(協)のホームページ開設(6/17)</li> <li>・「木がつなぐ森と人の未来協議会(れいほくスケルトン)」設置(9/12)</li> <li>・地域材の特性や木造住宅のメリット等について学ぶセミナーの開催: 5回(11/19、12/23、1/23、2/25、3/25)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・嶺北材の販路拡大 ⇒香川県を中心とした営業活動の展開 ⇒エンドユーザーや建築士等に対する嶺北材のPRを強化</li> </ul>
<p>■No.10 特用林産物(シキミ、サカキ)の販売促進(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者</li> <li>・(一財)本山町農業公社</li> <li>・土佐町森林組合</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売数量: 2,500kg&lt;H26: 2,350kg&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売数量: 2,500kg</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売数量(3月末見込): 1,054 kg(前年比42%)</li> <li>・生産者の実態把握、生産増加のための訪問: 39回</li> <li>・本山町農業公社との打合せ: 20回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産量の増加 ⇒栽培放棄地の生産委託の拡充 公社等による集出荷の検討</li> <li>・品質の向上 ⇒生産者に対する勉強会の開催</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 嶺北の山林をフィールドとした「森の教習所」による担い手育成の取組(土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いしはらの里協議会</li> <li>・土佐町</li> <li>・民間事業者((株)FPI)等</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>林業研修者:60人(H28~31累計)&lt;H27:0人&gt; 研修者の宿泊日数:360泊(H28~31累計)&lt;H27:0泊&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>林業研修者:5人 研修者の宿泊日数:30泊</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業研修者:9人</li> <li>・研修者の宿泊日数:39泊</li> <li>・研修プログラムの検討:12回</li> </ul> <p>県立林業学校短期課程(小規模林業向けコース)の土佐町での開催が決定(1月) 研修日程(1/15~1/27)及び内容の決定(12月) 研修者募集開始(12月) H29年度研修プログラムの検討(2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業推進体制の検討:1回 合同会社にて、事業推進担当役員を決定</li> <li>・研修フィールドの検討:1回</li> <li>・研修プログラムの実施:2回(1/15~1/27、3/15~3/17)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修者確保対策 ⇒今年度実施内容の検証及びH29事業計画への反映</li> </ul>
<p>■No. 12 嶺北地域の特産品販路拡大への支援(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)れいほく未来</li> <li>・NPO法人土佐さめうら観光協会</li> <li>・ポータルサイト利用事業者</li> <li>・土佐町</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・大川村</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額:85,200千円&lt;H27:0円&gt; ポータルサイト年間売上高:1,200千円&lt;H26:564千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>県外飲食店等との直接取引による販売額:16,000千円 ポータルサイト年間売上高:700千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外飲食店等との直接取引による販売額(1月末):6,327千円</li> <li>・ポータルサイト年間売上高(2月末):351千円</li> <li>・受発注管理システムを活用した地産外商の実施</li> <li>・商談会への参加:1回(面談:約30件)</li> <li>・大阪への営業:6回</li> <li>・直接取引飲食店等(2月末):8件</li> <li>・直接取引関係生産者等(2月末):16件</li> <li>・HPへのアクセス数:4,383件</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な集荷方法等、集荷システムの確立</li> <li>・計画的な農畜産物の生産体制構築 ⇒嶺北全体における集荷の仕組みづくりのため、生産事業者等への呼びかけ</li> <li>・ポータルサイトのリニューアルの検討</li> </ul>
<p>■No. 13 クラウドファンディングを活用した地域活性化（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関、高知大学、町村等で構成する協議会</li> <li>・商工会</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>調達額：15,000 千円 (H28～31 累計) &lt;H27：0 円&gt; 嶺北地域のプロジェクト数：5 件 &lt;H27：0 件&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>調達額：5,000 千円 嶺北地域のプロジェクト数：2 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調達額：1,499 千円</li> <li>・嶺北地域のプロジェクト数：3 件 → 達成件数：2 件 <ul style="list-style-type: none"> <li>PT①達成 6/22 車イス対応テーブル 調達額：370 千円、支持者：37 人</li> <li>PT②達成 9/27 デザイナーズワンカップ泡盛 調達額 1,129 千円、支持者：119 人</li> <li>PT③未達成 12/22 本山町シェアハウス 目標額 3,500 千円に対し 64%の支持で未達成（支持者：193 人）</li> </ul> </li> <li>※その他 嶺北地域外の PT：3 件</li> <li>・FAAVO 高知開設（4/6）</li> <li>・サブオーナー（嶺北地域）連携会議：8 回</li> <li>・利用者掘り起こしのためのアイデアソン：3 回 （うち産業振興アドバイザー制度の活用 7/5、10/8）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の掘り起こし及び地域住民の参加促進・啓発 ⇒嶺北地域における勉強会及びアイデアソンの開催</li> </ul>
<p>■No. 14 ぼうむ合同会社による地域資源（木材・米）活用の取組（本山町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼうむ合同会社</li> <li>・本山町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（嶺北地域の林業</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>木工製品全般の売上高：89,000 千円 &lt;H26：33,000 千円&gt; 焼酎の販売額：19,590 千円 &lt;H26：4,655 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>木工製品全般の売上高：74,000 千円 焼酎の販売額：7,750 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木工製品全般の売上高（1 月末）：21,426 千円</li> <li>・焼酎の販売額（1 月末）：7,123 千円（前年同期比 239%）</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[木工製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大手企業との業務提携によるレーザー加工品の製造販売</li> <li>・産振総合補助金(採択 4/8)を活用した施設・設備の拡充(6月)</li> <li>・正職員の新規雇用: 2名 さらに H29.4月新規雇用内定: 1名</li> <li>・派遣職員の受入: 1名(12月～)</li> <li>・大学生・一般インターンシップ受入: 6名</li> <li>・県外での販路拡大・販売促進活動(1月末) 新規取引先: 9件 取引先累計: 170件</li> </ul> <p>[米製品]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐泡盛 REIHOKU を新発売(6月)</li> <li>・商談会・フェアへの出展: 6回</li> <li>・イベントでの PR 販売: 21回</li> <li>・ひろめ市場での試飲販売(6月から毎月1回)</li> <li>・県庁での土佐泡盛お披露目販売(7/12～7/13)</li> <li>・新聞・雑誌への記事掲載: 2回</li> <li>・テレビでの放映: 8回</li> <li>・クラウドファンディング FAAVO 高知で土佐泡盛ワンカップ製造資金を調達→販売開始(1月)</li> <li>・土佐泡盛の PR、ファンづくりを目指した高知市での「土佐泡盛を楽しむタベ」の開催(11月)</li> <li>・販路拡大・販売促進活動(1月末) 新規取引先: 30店舗 取引先累計: 211店舗 販売本数: 5,385本(前年同期比 184%)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上の増加</li> <li>・認知度の向上 ⇒木工製品の県内小売店への営業活動の強化 ターゲット層拡大に向けたリキュール等の開発</li> </ul>
<p>■No. 15 碁石茶を中心とした加工品ビジネスの展開(大豊町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大豊町碁石茶協同組合</li> <li>・(株)大豊ゆとりファーム</li> <li>・大豊町</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額: 0.6億円 &lt; H26: 0.1億円 &gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>碁石茶関連商品の総販売額: 0.2億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・碁石茶関連商品の総販売額(1～12月): 0.5億円 (前年比 43%)</li> <li>・碁石茶生産量(1法人、農家3戸)(12月末): 1.2t</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販促活動：15回（延べ45日）</li> <li>・碁石茶の製造体験プログラムによる生産補助者の受入（6/19～7/31：5人、7/1～8/25：5人）</li> <li>・碁石茶審査会（9/27）</li> <li>・知的財産セミナーの実施（9/27）</li> <li>・機能性表示の臨床実験（高知大）開始（10月～）</li> <li>・タイ・チェンマイとの交流</li> <li>・地方創生推進交付金の活用による碁石茶製造施設の整備（12月）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規生産者の育成・確保 ⇒翌年度も碁石茶親衛隊の募集予定 地域おこし協力隊の導入</li> <li>・販路の維持・拡大 ⇒機能性表示等の活用による付加価値の向上</li> </ul>
<p>■No.16 嶺北材を活かしたオリジナル木工品の製造・販売による地域活性化（土佐町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さめうらこむ</li> <li>・犬小屋製作工房K</li> <li>・土佐地区商工会</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化）</p>	<p><b>[目標（H31）]</b></p> <p>注文数：750件&lt;H27：500件&gt; [犬小屋製作工房K] 従業者数：6人&lt;H27：4人&gt; [さめうらこむ]</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>注文数：500件 [犬小屋製作工房K] 従業者数：4人 [さめうらこむ]</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・注文数（2月末）：508件 [犬小屋製作工房K]</li> <li>・従業者数（2月末）：5人 [さめうらこむ] [犬小屋製作工房K]</li> <li>・新工場予定地の農地転用手続き申請（4月）</li> <li>・オンライン及び紙面での商品PR・販売 [さめうらこむ]</li> <li>・新規製造者の受入（4月）</li> <li>・オンラインでの商品PR・販売</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <p>[犬小屋製作工房K]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・効率的な製造ライン確保のための新工場の整備 ⇒新工場建設予定地の農地転用手続き 産振総合補助金活用に向けた協議 [さめうらこむ]</li> <li>・製品のクオリティ向上 ⇒木工による地域産業活性化のための人材育成</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 18 嶺北広域観光アウトドアの里づくり(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本山町</li> <li>・ 大豊町</li> <li>・ 土佐町</li> <li>・ 大川村</li> <li>・ 本山町白髪山・工石山保全活用推進協議会</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数：50,000人&lt;H27：0人&gt; 白髪山・工石山への観光客数 ：200人(H28～31累計)&lt;H24～26累計：58人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>アウトドア拠点施設の利用者数：－ 白髪山・工石山への観光客数：10人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アウトドア拠点施設の利用者数：－</li> <li>・ 白髪山・工石山への観光客数：11人(前年同期比33%)</li> <li>・ 実施設計の策定に向けた取り組み開始(10月～)</li> <li>・ 高知・本山アウトドアの里づくり推進協議会：4回</li> <li>・ アウトドアの里づくり推進協議会打合せ：2回</li> <li>・ 嶺北地域4町村観光担当課長会：4回</li> <li>・ アウトドアの里づくり 団体との意見交換会：6回</li> <li>・ 本山町白髪山・工石山保全活用協議会総会：1回</li> <li>・ 県の観光拠点等整備事業費補助金交付決定(9/8)     本山町アウトドアの里拠点施設整備事業の実施設計委託(2月～)</li> <li>・ 本山町白髪山・工石山保全活用協議会総会：1回</li> <li>・ 白髪山「八反奈呂 根下がりヒノキ群生地」の県天然記念物指定(5/17)</li> <li>・ 白髪山モニターツアー：2回、参加者11名</li> <li>・ 白髪山ガイド研修：1回、参加者11名</li> <li>・ 奥工石山「紅簾石」の県天然記念物指定申請(2/8)、     指定答申(2/15)</li> <li>・ インストラクターやガイド研修による地域事業者の育成及び受入体制の充実</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アウトドア拠点開設に向けたスケジュール及び詳細事項の早期確定     ⇒実施設計の早期策定</li> <li>・ 嶺北広域での事業展開     ⇒交付金を活用した広域連携事業の実施     ⇒嶺北高校とも連携した世界的カヌー指導者の招へい     ⇒広域観光組織の機能強化</li> <li>・ 天然記念物を中心にした散策ルートの設置及びガイド育成     ⇒アウトドアの里づくりの取り組みと連動して実施</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 嶺北地域における山岳観光の拠点整備(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大川村</li> <li>・(一社)大川村ふるさとむら公社</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>白滝の里施設利用者数:15,000人&lt;H26:6,175人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>白滝の里施設利用者数:10,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白滝の里施設利用者数:10,790人(前年同期比106%)</li> <li>・大川村白滝の里観光交流基本構想策定委員会:4回</li> <li>・大川村白滝の里観光交流基本構想ワークショップ:5回</li> <li>・大川村白滝の里観光交流基本構想策定(3月末予定)</li> <li>・ホールアースとの協議(本社):1回</li> <li>・大川村PT観光・交流部会:11回</li> <li>・モニターツアー:2回、参加者39名</li> <li>・スポーツチームビルディング研修:2回、参加者29名</li> <li>・いなかビジネスマネージャー合同研修:1回</li> <li>・「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」ワーキンググループ:1回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想の実行準備</li> <li>・既存プログラムの磨き上げによる山岳観光の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒モニターツアーによる検証や新規のプログラム開発</li> <li>⇒「石鎚山系の魅力発信及び持続可能な資源とする事業」ワーキンググループとの連携(愛媛県西条市・久万高原町、いの町、山岳観光関係団体等)</li> </ul> </li> <li>・人材の育成・確保(プロジェクトリーダー等) <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒専門研修やOJT研修の実施</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 20 さめうら湖の活用をはじめとしたスポーツツーリズムの振興(嶺北地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者(NPO法人さめうらプロジェクト)等</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(嶺北畜産クラスターによる地域の活性化)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数:2.5万人&lt;H26:2万人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>さめうら荘利用者(宿泊・レストラン)数:2.1万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さめうら荘利用者数(2月末):20,868人(前年同期比104%)</li> <li>・イベント参加者数(2月末):延べ約750名 <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツフィッシング大会等:9回</li> <li>湖上清掃:2回</li> <li>SUP体験:4回</li> <li>ウォータースポーツ体験:4回</li> <li>水上バイク水難救助講習:1回</li> <li>ロードバイクイベント:1回</li> <li>安全航行講習:1回</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さめうら荘建設検討委員会：2回</li> <li>・さめうら荘建設に係るワーキンググループ：4回</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通して利用者が訪れる取り組みの構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒サイクリングコースの環境整備（スタンド等）</li> <li>大川村の集落活動センターと連携した湖面アクティビティの検討</li> <li>⇒カヌー練習場の整備と合宿等の誘致</li> </ul> </li> <li>・さめうら荘建設に向けた検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒H29.3月に基本設計を策定し、H29.4月以降に実施設計に着手予定</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 21 嶺北地域の連携による移住促進の取組（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・れいほく田舎暮らしネットワーク</li> <li>・本山町</li> <li>・大豊町</li> <li>・土佐町</li> <li>・大川村</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>移住者数 ：280人（H28～31累計）＜H24～26累計：214人＞</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>移住者数：100人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移住者数（1月末）：63人（45件）（前年同期比65%）</li> <li>・移住促進連絡会の開催：12回</li> <li>・県外での移住相談会への参加：5回（東京、大阪）</li> <li>・移住相談受付件数（1月末）：420件</li> <li>・空き家調査件数（1月末）：54件</li> <li>・土佐泡盛「REIHOKU」の企画・販売促進</li> <li>・お山のでづくり市の開催：4回、参加者約1,600名</li> <li>・移住者等交流会の開催：4回</li> <li>・土佐町中学校3年生総合学習（空き家再生）の支援：6回</li> <li>・田舎ラボ事業（受託）の実施：2回</li> <li>・CCRC事業（受託）の実施 「嶺北（本山町・土佐町）版生涯活躍のまち構想」策定シンポジウムの開催（3/20）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PR、情報発信の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒プロブロガーやNPO法人ONEれいほくとの連携</li> </ul> </li> <li>・空き家の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒町村営住宅等の整備及び空き家改修補助金の活用促進</li> </ul> </li> <li>・移住相談等増加への取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒町独自の移住イベントの開催や、CCRC、教育魅力化等、新たな人の流れの構築</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>大川村における移住支援体制の確立 ⇒集落活動センター結いの里の機能拡充</li> </ul>
<p>■No. 22 学生・若者と地域の連携による事業創出支援プラットフォーム「ONE れいほく」の構築（嶺北地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>NPO 法人 ONE れいほく</li> <li>高知大学</li> <li>嶺北高校</li> <li>本山町</li> <li>大豊町</li> <li>土佐町</li> <li>大川村</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>プロジェクト数：7 件&lt;H27：0 件&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>プロジェクト数：4 件</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト数：6 件</li> <li>NPO 法人登記（6/15）</li> <li>プロジェクトの受託 <ul style="list-style-type: none"> <li>①大豊町「特産物等販売戦略委託業務」（5 月） 基石茶親衛隊／生産補助者の受入</li> <li>②土佐町「地域の未来を担う人材育成事業（マイプロジェクト）委託業務」（7 月）</li> <li>③オーシャンリース「FAAVO 高知サブオーナーパートナー」（8 月）</li> <li>④大豊町「農業インターンシップ事業委託業務」（8 月）</li> <li>⑤本山町「清流館利用促進事業委託業務」（9 月）</li> <li>⑥大豊町「ひげニンニク販売促進事業委託業務」（12 月）</li> </ul> </li> <li>教育委員会、学校への協力依頼：5 回</li> <li>活動の PR（1 月末）：9 回</li> <li>だいちハウスのイベント・ワークショップ(1 月末)：8 回</li> <li>だいちハウス訪問者（1 月末）：延べ 585 人</li> <li>ONE れいほくの関与による嶺北への移住者(1 月末)：7 件 9 人</li> <li>大豊町で 2 つ目の活動拠点「はやしハウス」（シェアハウス）が稼働（10 月）</li> <li>はやしハウスの利用者（1 月末）：5 人</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の情報発信や人材の誘致 ⇒地域活性化に資するオリジナルプロジェクトの企画・実施</li> </ul>
<p>■No. 23 大豊町西峯地区におけるビジネス創出による地域活性化の取組（大豊町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>西峯地区活性化推進委員会</li> <li>大豊町</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>生産本数：2 万本&lt;H27：1,920 本&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>生産本数：2 万本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生産本数：約 17,600 本</li> <li>播種：550g（4 月、6 月）</li> <li>育苗ハウスの整備：1 棟（5 月）</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
※地域産業クラスター関連(嶺北地域の林業クラスターによる地域の活性化)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンテナへの移植: 19,880本(6月、8月、10月)</li> <li>・コンテナ苗採取機の導入: 1台(3月)</li> <li>・栽培管理に関する勉強会: 2回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移植作業の効率化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒油圧駆動キャビティ培土圧入機の導入検討 (土と肥料の混ぜ合わせ及びコンテナに入った土を圧縮し穴をあける機械)</li> </ul> </li> <li>・発芽不良及び移植後の苗の生育不良 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒勉強会等による栽培管理技術の習得</li> </ul> </li> <li>・継続的な販売先の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒森林組合等事業者との協議の継続</li> </ul> </li> </ul>

## 2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位: 千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
No.14 ばうむ合同会社による地域資源(木材・米)活用の取組(嶺北地域全域)	「もくレース」(木製雑貨)製造施設 拡張による増産体制の整備 (レーザー加工機及びPC等関連機器の増設並びに製造工場の拡張)	34,145 (15,807)
No.6 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興(本山町、土佐町、大豊町)	土佐あかうし増頭に伴う堆肥舎新設 (発酵槽、ロータリー攪拌機の整備)	54,000 (12,092)
No.7 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化(大川村)	食鳥処理・加工施設の整備事業 (建屋、外溝工事、食鳥加工ライン、の整備)	350,001 (100,000)

## 3 県民参画に向けた取組

- ・土佐町地区長会での第3期計画の説明(4/20)
- ・土佐れいほく農協理事会での第3期計画の説明(4/27)
- ・本山町民生委員児童委員協議会総会・定例会での第3期計画の説明(5/18)
- ・本山町商工会総会での第3期計画の説明(5/20)
- ・大豊町商工会総会での第3期計画の説明(5/20)
- ・産業振興計画シンポジウム(5/23)への参加案内(㈱大豊ゆとりファーム、碁石茶協同組合、西峯集落活動センター、JA土佐れいほく、土佐町森林組合、土佐地区商工会、土佐さめうら観光協会、集落活動センターいしはらの里、れいほく田舎暮らしネットワークなど)
- ・土佐の観光創生塾の受講の働きかけ(土佐さめうら観光協会)
- ・FAAVO高知関連「嶺北を面白くするアイデアソン(7/5)」への参加の働きかけ(本山町、土佐町、大川村内住民)

- ・四国銀行との連絡会における第3期産業振興計画及び地域アクションプランの説明（7/7）
- ・本山町区長会での第3期計画の説明（9/15）

#### 4 相談案件：11件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	商業	店舗及び土地の活用について
2	5/26	農業	6次産業化について
3	5/26	移住	旧施設の活用について
4	6/14	国際交流	チェンマイとの交流について
5	7/6	交流	コミュニティセンターの有効活用について
6	8/2	農業	産地づくり（野菜選別機の整備）について
7	12/8	産業	小型風力発電について
8	12/22	交流	カヌー指導者の誘致について
9	1/5	観光	地域資源の活用（紅れん石）
10	1/5	交流	豆腐づくり体験施設の整備について
11	3/7	商業	商工会主体の地域活性化策について





## 仁淀川地域アクションプランの進捗状況等

H29.3.28  
仁淀川地域本部

### 1 地域アクションプランの平成28年度の実施状況（総括）

#### (1) 総評

全37のプランについて、実行支援チームを編成、事業推進に向けた協議と進捗管理を実施し、それぞれの地域アクションプランに掲げた目標の達成を目指して取り組みを進めている。

事業のさらなるステップアップや課題を抱えている案件については、人材育成の講座への誘導、アドバイザーの派遣、各種補助金の活用など、案件に応じた支援事業を導入し、関係機関と連携した具体のサポートを実施している。

特に、産振総合補助金を活用して平成26年11月にリニューアルオープンした日高村の直販所「村の駅ひだか」については、開店以降集客、売上ともに好調で、集荷体制の整備、商品の品揃えや加工品の開発など、売上目標の達成を目指した取り組みを進めている。

農業分野では、農事組合法人ヒューマンライフ土佐において、こうち農業確立総合支援事業費補助金を活用したショウガ・ダイダイの乾燥・調製等の施設整備により加工体制の強化が図られたほか、(有)吉本乳業においては、産振総合補助金の活用により牛乳製造設備の機能強化を行い、今後はさらに衛生管理の高度化や販路拡大に取り組むこととしている。また、(株)フードプランにおいては、産振総合補助金の活用による新工場整備や関連企業・団体と連携した事業展開を検討するなど、増加するカット野菜の取引需要に対応しうる生産体制の強化と地域産業クラスターの形成に向けた取り組みを進めている。

林業分野では、平成28年4月、CLT用ラミナ及び家庭用品や建築用の板材を製造するための大型製材工場の完成により製品流通の拡大に向けた体制が整い、機械調整を行いながら生産量を増やしている。

水産分野では、企業組合宇佐もん工房において、産振総合補助金を活用した加工施設の拡張整備により衛生管理の高度化や生産性の向上が実現することから、今後はさらなる販路拡大に取り組むこととしている。

また、観光分野では、「志国高知 幕末維新博」の地域会場として紙の博物館及び青山文庫（歴史資源）の磨き上げが図られるとともに、これら地域会場を中心とする観光クラスターが形成され、観光に携わる事業者同士の連携体制の構築と周遊促進を図るための「観光クラスター整備計画」の実践により、将来にわたり全国からの誘客を図りうる観光地づくりを進めている。

#### (2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.2 薬用作物の産地拡大による所得の向上(仁淀川町、佐川町、越知町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・農事組合法人ヒューマンライフ土佐</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>薬用作物の作付面積(ヒューマンライフ土佐)</p> <p>ミシマサイコ:70ha&lt;H27:55ha&gt;</p> <p>サンショウ:80ha&lt;H27:73ha&gt;</p> <p>ダイダイ:30ha&lt;H27:28ha&gt;</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[H28 到達目標]</p> <p>ミシマサイコ : 56ha サンショウ : 70ha ダイダイ : 30ha</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬用作物の作付面積 (ヒューマンライフ土佐) <ul style="list-style-type: none"> <li>ミシマサイコ (3月末) : 55 ha (前年比 100%)</li> <li>サンショウ (3月末) : 69 ha (前年比 95%)</li> <li>ダイダイ (3月末) : 28 ha (前年比 100%)</li> </ul> </li> <li>・ミシマサイコ慣行品種発芽状況の確認 (3回)</li> <li>・ミシマサイコ2年株専用品種調査圃場設置 (6/24)、生育調査 (9/6、10/7、11/4)、種子および根収量調査 (12~1月)</li> <li>・ヒューマンライフ土佐総会 (6/2)</li> <li>・こうち農業確立総合支援事業費補助金を活用した施設整備 (ショウガ・ダイダイの乾燥・調整設備等) (4/22 交付決定)、ダイダイ (枳実) 乾燥機の整備完了 (7/13 納入検査)、ショウガ選別貯蔵施設及び乾燥・調整設備 (7月上旬着工、10/20 完成検査)</li> <li>・(株)ツムラ CSR 活動「土佐ツムラの森」協働の森づくり事業を、(株)ツムラ、ヒューマンライフ土佐、越知町、県の協働により実施 (3回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシマサイコ2年株専用品種への移行 ⇒現地実証圃等を利用した、2年株専用品種の栽培技術確立のための支援</li> <li>・担い手の確保と普及体制の整備 ⇒ヒューマンライフ土佐に薬用作物専門指導員1名(県委託事業)及び地域おこし協力隊2名の配置を予定</li> </ul>
<p>■NO.7 生姜の増産と加工品の生産拡大 (土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)前川博之商店</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 200,000 千円 &lt; H26 : 40,946 千円 &gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>生姜加工品の販売額 : 80,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生姜加工品の販売額 (H28.9月期) : 41,661 千円 (前年比 101.7%) (H28.10~H29.2月) : 21,308 千円 (前年同期比 171.3%)</li> <li>・生産農家との打合せ会</li> <li>・生協関係者との現地検討会</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会への参加</li> <li>・生姜加工の取り組みに関する協議：5回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加工用原料の安定確保 ⇒生姜栽培面積の拡大に向けて生産者との勉強会等を実施</li> <li>⇒農業生産法人よさこいファーム(自社)と幡多地域の農業者との連携を検討</li> </ul>
<p>■NO.8 いの町での生産等加工品製造施設の整備と販売促進(いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・西村青果株</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(いの町生姜生産・販売プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>生姜等加工品の販売額：3.6億円&lt;H26：3.4億円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>生姜等加工品の販売額：3.45億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生姜等加工品の販売額(H28.9月期)：5.31億円 (前年比156%) (H28.10～H29.1月)：1.93億円 (前年同期比96%)</li> <li>・町内取引農家との打合せ：145回</li> <li>・大手食品会社とのにんにく・生姜にかかる取引協議：1回</li> <li>・いの町内生姜生産農家からの加工品用生姜仕入高 (H27.10～H28.9月)：87.6t (H28.10～H29.1月)：92.4t</li> <li>・生姜の5割減農薬栽培グループ「高知まるひら会」(主宰)の勉強会実施(9月)</li> <li>・いの町生姜生産・販売拡大プロジェクト担当者会への出席(11/24、12/12)</li> <li>・いの町生姜生産・販売拡大プロジェクトクラスタープラン策定会議に参加し、「いの町生姜生産・販売拡大プロジェクトクラスタープラン」を策定(1/17)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産体制の維持及び販売強化 ⇒大手食品会社等の取引先との連携強化</li> <li>・原材料となる生姜の安定的な調達 ⇒生姜生産農家及び高知県園芸連との信頼関係の構築による取引の継続</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 本川きじの販路拡大 (いの町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本川手箱きじ生産企業組合</li> <li>・ いの町</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>販売額 : 13,580 千円 &lt;H26 : 4,913 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額 : 11,800 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売額 (3月末見込み) : 14,604 千円 (前年比 130.3%)</li> <li>・ 本川手箱きじ生産企業組合のHP開設 (4月)</li> <li>・ 県内PR イベントへの参加 : 14回</li> <li>・ (株)イーフィールド (名古屋市内で居酒屋・レストラン他経営)、サニーマート、地産外商公社東京事務所による視察への対応</li> <li>・ サニーマートでの取扱開始 (きじ肉入り鶏団子、年末カタログによる鍋セット)</li> <li>・ サンプル送付先への後追い営業等により新たな取引開始 (県外3件、県内3件)</li> <li>・ 大口契約先のニーズ (求められる個体 (1.2kg : 雄相当)) に対応した生産体制で生じる余剰在庫 (1.2kgに満たない雌等の小さいきじ) の販売先 (木の香、山荘しらさ) を確保</li> <li>・ 県版 HACCP 第2ステージ認証取得に向けた取り組み (HACCP 研修への参加、HACCP アドバイザーによる申請書類の作成指導及び現地指導)</li> <li>・ 県版 HACCP 第2ステージ認証申請 (H29.3月)</li> <li>・ 県版 HACCP 第3ステージの認証取得に向けた取り組み (HACCP アドバイザーの活用により、解体場及び加工場の改修箇所の洗い出し)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 営業力の強化による販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 利益率の高い一般消費者向け商品の販売促進</li> </ul> </li> <li>・ 県版 HACCP の取得 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 県版 HACCP 第2ステージ申請に係る加工場等の現地確認への確実な準備・対応</li> <li>⇒ 県版 HACCP 第3ステージの認証取得に係る加工場等の改修に向けた資金計画の検討</li> </ul> </li> <li>・ 本川手箱きじ生産企業組合の運営体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 定例会を活用した連携体制の強化</li> <li>⇒ 在庫管理及び原価計算の適正化による経常利益の向上</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 12 仁淀川流域における林業・木材産業の振興（仁淀川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林組合</li> <li>・ 林業事業者</li> <li>・ 素材生産業者</li> <li>・ 製材業者</li> <li>・ 自伐林家等</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>原木生産量：12.0 万 m<sup>3</sup>&lt;H26:8.0 万 m<sup>3</sup>&gt;</p> <p>製材工場原木利用量：5.0 万 m<sup>3</sup>&lt;H26:1.7 万 m<sup>3</sup>&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>原木生産量：9.0 万 m<sup>3</sup></p> <p>製材工場原木利用量：2.3 万 m<sup>3</sup></p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原木生産量（3 月末見込み）：9.0 万 m<sup>3</sup>（前年比 103%）</li> <li>・ 製材工場原木利用量（3 月末見込み）：1.6 万 m<sup>3</sup>（前年比 94%）</li> <li>・ 市町村・事業者等林業関係担当者会の開催（5/17）</li> <li>・ 増産に向けた事業者への聞き取り調査（2 森林組合、11 事業者）</li> <li>・ 森林経営計画・森の工場作成支援（6 市町村、11 事業者、2 森林組合）</li> <li>・ 大型製材工場の進捗管理及び指導（11 回）</li> <li>・ 管内森林組合の事業進捗管理及び経営指導（高知中央森組 14 回、仁淀川森組 13 回）</li> <li>・ 森林組合の作業システム改善指導（高知中央森組 3 回、仁淀川森組 1 回）</li> <li>・ 仁淀川町森林管理推進協議会（7/19、12/2）</li> <li>・ 仁淀川町森林管理推進協議会の先進事業者視察（大分県森林組合連合会 9/27～9/28、岡山県・兵庫県 2/27～2/28）</li> <li>・ 仁淀川流域森林管理システム（モデル事業）の検討（10 回）</li> <li>・ 佐川町森林 ICT プラットフォーム構築意見交換会（5 回）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 増産に向けたさらなる施業地の確保 ⇒市町村との連携による森林情報の収集・提供</li> <li>・ 森林組合の経営改善 ⇒関係各課と林業事務所で構成される支援チームによる経営及び技術指導の実施</li> <li>・ 木材の需給調整を担う組織（仮称：森林管理センター）の構築と人材の確保 ⇒森林管理及び川上・川下の需給調整を一体的に進めるため、仁淀川森林管理推進協議会との連携による新たな組織づくり、人材育成（H29 年度林業研修生の募集）、森林資源情報の把握（3D レーザー計測器の導入）及び施業地の集約化を実施</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 地域性の高い特用林産物の生産拡大(仁淀川地域全域)</p> <p>《事業主体》 特用林産物生産団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木まいたけ；いの町越裏門・寺川地区</li> <li>・マッシュルーム；によどマッシュルーム生産組合</li> <li>・シキミ・サカキ；越知町及び同町野老山地区</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：17 t &lt;H27:0.0t&gt; マッシュルーム出荷量：22 t &lt;H26:14.3t&gt; 原木まいたけ生産量：0.6 t &lt;H27:0.1t&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>シキミ・サカキ生産量：1 t マッシュルーム出荷量：14t 原木まいたけ生産量：0.26 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シキミ・サカキ生産量(3月末)：0 t</li> <li>・マッシュルーム出荷量(3月末見込み)：11.2 t (前年比 104%)</li> <li>・原木まいたけ生産量(3月末)：0.1 t (前年比 100%)</li> </ul> <p>&lt;シキミ・サカキ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者への指導(4回)</li> <li>・生産状況聞き取り調査(いの町1回、仁淀川町1回)</li> <li>・生産体制構築協議(越知町3回)</li> <li>・中央西地区シキミ・サカキ部会(1回)</li> <li>・仁淀花木生産部会総会における技術指導(1回)</li> </ul> <p>&lt;マッシュルーム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者への指導(10回)</li> <li>・試験研究機関との協議及び共同研究(5回)</li> <li>・新たなきのこ品種(原木きくらげ)栽培の開始及び指導(3回)</li> </ul> <p>&lt;原木まいたけ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者への指導(11回)</li> <li>・試験研究機関との協議及び共同研究(5回)</li> <li>・流通販売支援協議(越裏門寺川まち支部4回)</li> <li>・イベントの開催及び普及啓発(氷室まつり、まいなばざんまいツアー、都市緑化祭)</li> <li>・原木まいたけ完熟ほだ木の販売開始(8/10～8/17、100個限定)</li> <li>・集落活動センター「氷室の里」の落成に伴い拠点施設及び栽培施設が整い、本格栽培が開始</li> <li>・種菌メーカーとの協議(1回)</li> <li>・はたけしめじ、きくらげ栽培研修(2/21～2/22)</li> <li>・種菌メーカー、研究機関等への視察研修(宮城県 1/16～1/18)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>&lt;シキミ・サカキ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者不在、市場ニーズとの相違及び費用対効果により、越知町での取り組み継続を断念</li> <li>⇒支援対象を仁淀花き生産部会をメインとした仁淀川町内の生産者に変更</li> </ul> <p>&lt;マッシュルーム&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・培養基材の供給が不安定</li> <li>⇒マッシュルームの栽培規模を現状維持とし、新たに原木きくらげ栽培を開始</li> <li>・マッシュルームの品種改変に伴う栽培技術の向上</li> <li>⇒森林技術センターと連携した技術指導を継続</li> </ul>
<p>■No. 14 自伐型林業を核とした産業づくりと地域の活性化(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川町</li> <li>・自伐型林業に取り組む個人・団体</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(佐川町で展開する自伐型林業での木材産業クラスター)</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>林業関連新規就業者数：24人 (H28～31 累計)  <span style="float: right;">&lt;H27:5人&gt;</span></p> <p>山林の集約化面積：400ha (H28～31 累計) &lt;H27:0ha&gt;</p> <p>ものづくりと連携した起業者：3人 (H28～31 累計)  <span style="float: right;">&lt;H27:0人&gt;</span></p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>林業関連新規就業者数：6人</p> <p>山林の集約化面積：100ha</p> <p>ものづくりと連携した起業者：-</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業関連新規就業者数(3月末見込み)：6人</li> <li>・山林の集約化面積(3月末見込み)：90ha</li> <li>・町民向けの自伐型林業研修開催(5回、参加者延べ51人)</li> <li>・地域おこし協力隊採用 9人(自伐5人、ラボ4人)</li> <li>・佐川町森林 ICTプラットフォーム構築意見交換会(4回)</li> <li>・土地所有者へのアンケート調査実施(約200件)</li> <li>・さかわ発明ラボの開所(4/1) <ul style="list-style-type: none"> <li>オープンラボ(7回)</li> <li>ワークショップ(8回)</li> <li>学校教育との連携(7回)</li> </ul> </li> <li>・さかわ発明キャンプの開催(地域おこし協力隊の募集)</li> <li>・クラスタープロジェクトチームの開催(4回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山林の集約化</li> <li>⇒土地所有者へのアンケート調査結果をもとに、佐川町森林長期施業管理契約締結の推進</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自伐型林業のビジネスモデルづくり ⇒地域おこし協力隊の採用・育成と自立化</li> <li>・さかわ発明ラボの運営体制の確立 ⇒地域おこし協力隊(発明職)の採用、運営体制構築の検討 ⇒事務所移転によりラボ機能を集約整備</li> </ul>
<p>■No. 15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業組合宇佐もん工房</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(中央地域広域水産業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>うるめ商品の販売額: 100,000千円 &lt; H26: 61,550千円 &gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>うるめ商品の販売額: 96,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うるめ商品の販売額(3月末見込): 75,580千円 (前年比 92.5%)</li> <li>・一本釣りうるめ祭りの開催(5/15~5/31): 18店舗参加</li> <li>・イメージキャラクター「うるめもん」を活用した「うるめマップ(土佐市内のうるめ料理提供飲食店11店舗の紹介)」でのシールラリーの実施(有効期限 H29.12月末)</li> <li>・売上向上に向けた協議(加工施設の増改築等に係る産振総合補助金活用に向けた検討を含む): 21回</li> <li>・加工施設の増改築(11月着工、H29.3月完成予定) →原材料の安定確保に向けた体制強化と衛生管理の向上及び加工作業の効率化を実現(予定)</li> <li>・商談会、イベントへの出展: 5回  <ul style="list-style-type: none"> <li>商談件数: 70件</li> <li>新規取引先数: 15件</li> </ul> </li> <li>・ベンチャー企業育成支援事業の活用(ビジネスプランの作成)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料の安定確保 ⇒漁協や漁師との連携による原材料の調達力強化</li> <li>・販路拡大及び販売促進 ⇒県版 HACCP 第2ステージ認証の H29 年度中の取得に向け、加工施設の増改築完成後、社内に HACCP チームを編成し取り組みを推進 ⇒「宇佐の一本釣りうるめ」の認知度向上に向け、「一本釣りうるめ祭り」、「うるめいわしシールラリー」を継続して開催</li> <li>・うるめ不漁時の加工場の稼働率向上 ⇒他魚種の一次加工処理及び加工品開発による売上確保</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 17「土佐和紙」の販売促進と保存・継承 (土佐市、いの町、仁淀川町、日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手すき和紙協同組合</li> <li>・高知県製紙工業会</li> <li>・いの町紙の博物館</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>土佐和紙の販売額：4.8 億円（機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円）</p> <p>&lt;H26：4.8 億円（機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円）&gt;</p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体：31 事業体</p> <p>&lt;H27：31 事業体&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>土佐和紙の販売額：4.8 億円 (機械すき 4.4 億円、手すき 0.4 億円)</p> <p>手すき和紙協同組合加入の事業体：31 事業体</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐和紙の販売額（3 月末見込）：4.8 億円（前年比 100%）</li> <li>・手すき和紙協同組合加入の事業体（3 月末見込）： 30 事業体</li> <li>・Kami 祭実行委員会（いの通信局チーム会）の開催：7 回</li> <li>・Kami 祭開催（11/23）</li> <li>・土佐和紙関係者意見交換会の開催（いの町産経課、紙の博物館、手すき和紙協同組合、高知県製紙工業会、高知県工業振興課、地域本部）：2 回</li> <li>・産業振興アドバイザー制度の活用（紙博売店の魅力ある店づくり）：3 回</li> <li>・紙の博物館内における体験メニューの提供 (5/3～5/5) 利用者数：ちぎり絵約 100 人、マーブリング 34 組、和紙缶バッジ約 50 人、リングノート 30 人 (8/11～8/14) 利用者数：マーブリング 78 人、和紙缶バッジ 94 人 (8/6、8/7、8/13、8/14、8/21、8/27、8/28) 利用者数：折り紙 183 人 (11/23) Kami 祭 利用者数：ちぎり絵 30 人（色紙 8 人、はがき 22 人）、ガーランド 20 人、ミニぞうり 4 人、紙のぼち袋 8 人、紙のブレスレット 9 人、紙の椿 6 人、リングノート 29 人、マーブリング 19 人、缶バッジ 32 人、手すき絵馬体験 15 人 (3/4～3/5) かみのひなまつり 利用者数：折り紙 64 人、貼り絵付け体験 62 人、ちぎり絵体験 36 人、リングノート作り 42 人、ひなまつり紙漉き体験 96 人 (3/12) 折箱・エコバックワークショップ</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐和紙に関するお問い合わせ受付窓口（紙の博物館内）の対応：18件</li> <li>・県歴史観光資源等強化事業費補助金の活用による紙の博物館の店舗改修（3/4 リニューアルオープン）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・志国高知幕末維新博の地域会場である紙の博物館への集客と土佐和紙商品の販路拡大 ⇒商品構成の見直し、職人・生産者の顔の見える売り場づくり</li> </ul>
<p>■No. 20 地域産品を活用した冷菓等の製造販売（いの町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)高知アイス</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>冷菓等の販売額：4.5億円&lt;H26：3.75億円&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>冷菓等の販売額：4億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷菓等の販売額 (H28.12月期)：4.13億円 (前年比 116.3%) (H29.1月)：19,700千円(前年同期比 221%) (内訳)</li> <li>海外での卸販売額(H28.12月期)：0.54億円(前年比 200%) (H29.1月)：2,000千円 (前年同期比 85.7%)</li> <li>国内販売額 (H28.12月期)：3.28億円 (前年比 107.8%) (H29.1月)：17,000千円(前年同期比 310.4%)</li> <li>売店販売額 (H28.12月期)：0.31億円 (前年比 129.1%) (H29.1月)：700千円 (前年同期比 97.8%)</li> <li>・県外、海外（台湾、ハワイ、タイ、シンガポール）での商談会、プロモーション活動（3月末）：20回</li> <li>・ハワイ商談件数 30 件、受注数 30 件</li> <li>・国内外の販路拡大に向けて産振総合補助金や経営革新支援事業の活用を検討・協議：16回</li> <li>・高知県産の素材を活かした新商品（吉本乳業のコーヒー牛乳もなかとミレービスケットのアイス）発売（11月）</li> <li>・売店2号店（高知市永国寺町）の開設（11/19オープン）</li> <li>・県版 HACCP 取得に向けた HACCP 研修の受講（10月）</li> <li>・県版 HACCP 第3ステージ認証申請（12月）</li> <li>・県版 HACCP 第3ステージ申請に係る工場の現地確認（2月）</li> <li>・産振総合補助金審査会(2月)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外での販路拡大 ⇒関西圏及び名古屋の販路開拓 ⇒香港・シンガポールの市場拡大と他のアジアの国々やアメリカを中心とした市場開拓</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒もなかアイス用三方シーラーの導入やドリンクの製造ライン増設による生産体制の拡充、売店施設の拡充(テラス部分を室内部に改修及び倉庫の機能強化)(H29産振総合補助金を活用予定)</p> <p>⇒TV、新聞等での広報・宣伝活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県版 HACCP の取得</li> </ul> <p>⇒県版 HACCP 第3ステージ申請に係る工場の現地確認後の確実な対応</p>
<p>■No. 21 (株)フードプランのカット野菜事業等の展開による雇用の確保と販売拡大(仁淀川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)フードプラン</li> <li>・仁淀川町</li> <li>・庭先集荷の農家</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(株)フードプラン、仁淀川町等を中心としたカット野菜事業クラスター)</p>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>販売額：7.6億円&lt;H26:4.7億円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額：6.0億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売額 (H27.10～H28.9月)：5.6億円(前年比121%) (H28.10～H29.1月)：2.0億円(前年同期比106%)</li> <li>・新工場整備計画等に基づく関係者協議の定期開催：13回(クラスター化を見据えた農業生産及び他業種連携の検討、設備投資にかかる財源確保、資金計画の精査等)</li> <li>・クラスタープランを構成する「おでんによる流域観光振興」の取り組みPR等のため、仁淀川町のスポーツイベントでおでんの試食を実施</li> <li>・業務用商品相談会において野菜の端材を活用した加工品の商品化について相談、市場対応商品開発等事業費補助金の活用を検討</li> <li>・産振総合補助金審査会(2月)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増加する取引需要に対応できる加工施設の整備 ⇒2月の産振総合補助金審査会(3月採択予定)を受け、フードプラン、県、役場、関係機関が連携して事業推進にかかる協議を継続 ⇒県版 HACCP 第2ステージ(H29年度)及び第3ステージ(H30年度)取得に向けた一般衛生管理研修の実施等</li> <li>・県内産野菜確保の仕組みづくり ⇒仁淀川町役場等の支援を得ながら、町内を中心に、原材料となる野菜の生産体制構築を検討(町内耕作放棄地を活用した新規営農、フードプランによる法人設立等を視野に入れた農業生産)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進 (佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐川町</li> <li>・ JA コスモス</li> <li>・ 地元農家</li> <li>・ 地元酪農家</li> <li>・ 佐川町商工会</li> <li>・ 地元商工業者</li> <li>・ (有)吉本乳業</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>牛乳類商品販売額 : 1.3 億円 &lt;H27:0.86 億円&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>牛乳類商品販売額 : 0.92 億円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 牛乳類商品販売額 (H28.7 月期) : 1.3 億円 (前年比 102%) (H28.8~H29.1 月) : 0.62 億円 (前年同期比 97%)</li> </ul> <p>地乳プロジェクトの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ さかわの地乳プロジェクト推進会議の開催 (14 回)</li> <li>・ 産業振興アドバイザー制度の活用による「第 2 回さかわ地乳まつり」の企画及び検証 (3 回)</li> <li>・ イベントの開催及び普及啓発 (さかわ地乳まつり)</li> <li>・ 地乳みるく坦々うどんの提供開始 : 4 店舗</li> </ul> <p>牛乳加工施設の整備及び販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旭食品(株)2016 四国・中国・九州地区秋冬新商品発表会に出展</li> <li>・ 事業計画に係る協議 (1 回)</li> <li>・ 産振総合補助金活用に係る関係者協議 (17 回)</li> <li>・ HACCP 研修 (1 回)、土佐 MBA「経営戦略入門」(1 回)への参加</li> <li>・ HACCP アドバイザーによる現地指導 (1 回)</li> <li>・ HACCP 第 2 ステージ取得に向けた書類作成相談 (1 回)、第 2 ステージ申請 (3 月予定)</li> <li>・ 産振総合補助金の活用によるさかわの地乳製造施設の整備 (12/26 採択、3 月完了予定)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地乳のブランド力向上 ⇒地乳プロジェクト推進会議の組織体制および事業内容の再検討</li> <li>・ 地乳の販路拡大 ⇒四国・関西圏を中心とした県外量販店との取引拡大、さらなるブランド化に向けた情報発信、おいしさの維持、産地の見える製品づくり</li> <li>・ 衛生管理体制の強化 ⇒第 3 ステージ取得 (H29 年度) に向けた社内体制の構築</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 23 柑橘類等地域の農産物を活用した加工品の生産と販売拡大（越知町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)岡林農園</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>岡林農園の販売額：1.8 億円&lt;H26：1.4 億円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>岡林農園の販売額：1.75 億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡林農園の販売額(H28.8月期):1.93 億円(前年比 133.1%) (H28.9~H29.2月):1.28 億円 (前年同期比 121%)</li> <li>・県版 HACCP 取得に向けた研修への参加(1回)及び現地指導(1回)</li> <li>・オーストラリア、インドネシア等海外へのユズ果汁等の輸出を拡大</li> <li>・ディスカバー農山漁村の宝(農林水産省)に選定(10/17)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善 ⇒業務用及び海外部門の販売拡大による経営改善の推進</li> </ul>
<p>■No. 24 ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の生産・販売促進(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)エスエス</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額：90,000 千円 &lt;H26：46,760 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額：70,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネコ砂(木質系排泄物処理剤)の販売額 (H28.8月期):66,397 千円(前年比 141.9%) (H28.9~H29.1月):28,213 千円(前年同期比 108.7%)</li> <li>・日産 350~400 ケースで月産(25日稼働)10,000 ケースを目指した生産体制の整備(パート雇用:2名増、オガ粉(原材料)の仕入先:1件増)</li> <li>・(株)コスモ工房の竹製品製造過程で発生する竹くずを一部の商品の原料に混ぜてテスト使用(9月~)し、経年変化を確認中</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネコ砂の安定的な生産体制の構築 ⇒OEM 先のアース・バイオケミカル(株)との連携強化 ⇒原材料(オガ粉)の安定調達に向け、調達先との原料取引の継続と新たな調達先の確保</li> <li>・OEM 先の新商品の開発 ⇒竹くず単体での商品開発も視野に入れ原料調達に向けて(株)コスモ工房との連携体制を構築</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 「村の駅ひだか」を拠点とした交流人口の拡大と地域の活性化（日高村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> <li>・榎村の駅ひだか</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（日高村トマト産地拡大プロジェクト）</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>直販市の販売額：200,000千円&lt;H26：104,382千円&gt;        フットパス等体験観光客数：400人&lt;H26：241人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>直販市の販売額：200,000千円        フットパス等体験観光客数：280人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販市の販売額（3月末見込み）：224,439千円            （前年比 113.8%）</li> <li>・フットパス等体験観光客数(3月末見込み)：252人            （前年比 122.9%）</li> <li>・日高村農業クラスタープロジェクト会への参加（10/19）</li> <li>・日高村農業クラスタープラン策定会議に参加し、「日高村トマト産地拡大プロジェクトクラスタープラン」を策定（1/5）</li> <li>・村の駅ひだか運営等検討会（商品・月別売上分析や取組内容の検討等）の開催：11回</li> <li>・庁内プロジェクト会議（進捗確認や課題整理及びスケジュール確認等）の開催：4回</li> <li>・H26.11月オープン以来の来客者数（レジ通過）30万人達成（5/17）及び40万人達成（11/18）</li> <li>・来客者数（レジ通過）（2月末）：188,813人            （前年同期比 108%）</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直販市の機能強化及び観光情報の発信            ⇒商品の集荷体制の確立            ⇒店舗の狭隘への対応（地方創生拠点整備交付金を活用）            ⇒特産品生産者（生活改善グループ）の高齢化に伴う後継者づくり            ⇒観光案内所機能の充実</li> </ul>
<p>■No. 26 「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進（仁淀川地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・（一社）仁淀ブルー観光協議会</li> <li>・土佐市</li> <li>・いの町</li> <li>・仁淀川町</li> <li>・佐川町</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数：5,500人        &lt;H26：4,153人&gt;</p> <p>主要宿泊施設の宿泊者数：72,000人&lt;H26：65,410人&gt;        主要観光施設の入込客数：276,000人&lt;H26：216,458人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数：4,500人        主要宿泊施設の宿泊者数：61,000人        主要観光施設の入込客数：270,000人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・越知町</li> <li>・日高村</li> <li>・いの町観光協会</li> <li>・仁淀川町観光協会</li> <li>・(一社) さかわ観光協会</li> <li>・越知町観光協会</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀ブルー観光協議会関連のツアー客数(3月末見込み) : 4,400人(前年比116.2%)</li> <li>・主要宿泊施設の宿泊者数(3月末見込み) : 67,000人(前年比97.5%)</li> <li>・主要観光施設の入込客数(3月末見込み) : 243,000人(前年比87.6%)</li> <li>・ホームページ、フェイスブック、ツイッターによる情報発信</li> <li>・セールス件数 : 54件(東京、大阪、名古屋、岡山、香川、愛媛エージェント) → 新たなエージェント開拓件数 : 4件</li> <li>・物産観光PR : 6回(東京海上、JR大阪駅、豊穰祭2ヶ所、ドリーム夜さ来い、香川)</li> <li>・高知銀行(仁淀川エリア)のノベルティグッズ製作・販売を契機とした仁淀ブルーお土産品の開発(7月～)</li> <li>・高知県トラック協会仁淀川支部とのコラボにより、トラック700台に仁淀ブルーステッカー(高橋宣之氏の画像)を貼り県内外で仁淀ブルーをPR(10/17PRトラック出発式開催)</li> <li>・仁淀ブルーメールマガジン配信数 : 50本</li> <li>・一般社団法人仁淀ブルー観光協議会通常総会、臨時総会、理事会、観光担当者会の開催</li> <li>・仁淀ブルーブランド化事業ワークショップ : 6回</li> <li>・12/16 第二種旅行業登録完了</li> <li>・「仁淀川地域観光振興計画」策定</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会関係者(事務局、市町村、観光協会、県(地域本部・地域観光課))のパートナーシップの強化 ⇒理事会や観光担当者会において、関係者による仁淀川地域観光振興計画の方向性の確認や実践に向けた協議を実施</li> <li>・観光施設、宿泊施設、食事施設、レジャー施設等の事業者や商工会、JA、森林組合、漁協などの仁淀川地域観光に携わる関係者が協議会のパートナーとして連携するという意識の醸成及び自主財源の確保 ⇒仁淀川地域観光に携わる人材の育成 ⇒市町村、観光協会と連携して仁淀川地域の観光施設、宿泊施設、食事施設等の事業者を訪問し、協議会活動への賛同者の獲得及び賛助会費の確保 ⇒仁淀川地域のお土産品や特産品の開発・販売</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 27 観光交流施設の整備・運営による新居地区の活性化(土佐市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐市</li> <li>・特定非営利活動法人新居を元気にする会など</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>施設来客者数 12万人&lt;H27:0人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>施設来客数 7万人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設来客数(3月末見込み): 6.9万人</li> <li>・新居地区観光交流施設「南風(まぜ)」落成式(4/24)、オープン(4/27)</li> <li>・運営検討会: 13回</li> <li>・移動販売の実施(12月～)</li> <li>・飲食店営業時間の拡大(モーニング開始)(2月)</li> <li>・産業振興アドバイザー制度の活用(直販所の魅力ある店づくり): 1回</li> <li>・イベントの実施(豊穰祭、ごちゃ南風フェス、土佐文旦フェアなど)</li> <li>・県道(土佐市)へ「南風(まぜ)」案内標識を設置(3月 ※中央西土木事務所対応)</li> <li>・直販所レジ通過者数(4/27～2月): 33,152人</li> <li>・直販所売上高(4/27～2月): 25,436千円</li> <li>・飲食店レジ通過数(4/27～2月): 18,807人</li> <li>・飲食店売上高(4/27～2月): 18,992千円</li> <li>・雇用の創出: 15人(うち長期11人・短期4人)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口を増加させるための仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒観光案内、情報発信の強化</li> <li>⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会と連携したツアー客の受入や観光商品づくり</li> <li>⇒観光体験メニュー(カヤック、BBQ、サイクルオアシス等)の提供</li> <li>⇒施設の認知度向上及び集客のためのイベント企画・開催</li> </ul> </li> <li>・観光交流施設「南風(まぜ)」(直販所・カフェ)の安定的な運営及び来客者等のニーズに合ったサービス・事業の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒直販所の商品確保に向けた生産者への周知、集荷体制の整備、移動販売の実施、加工品の開発</li> <li>⇒品揃えの充実に向けた旬の商品などの仕入れの実施</li> <li>⇒飲食店の太平洋を臨むロケーションを活かした集客戦略の実践及び雇用の確保</li> </ul> </li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 32 歴史と文教を活かしたまちづくりによる観光の推進(佐川町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐川町</li> <li>・さかわ観光協会</li> <li>・佐川町内の地域づくり団体</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>上町地区への入込客数:20,000人&lt;H26:15,000人&gt; 上町まち歩きガイド利用者数:5,000人&lt;H26:4,585人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>上町地区への入込客数:21,250人 上町まち歩きガイド利用者数:3,800人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上町地区への入込客数(3月末見込み):22,500人 (前年比109%)</li> <li>・上町まち歩きガイド利用者数(3月末見込み):4,000人 (前年比115%)</li> <li>・土佐の観光創生塾への参加:6回(2人)</li> <li>・四国DCイベント参加によるPR活動:1回</li> <li>・旧竹村呉服店改修完了及び出店者(使用者)決定 →10月から同施設の活用開始</li> <li>・高知県歴史観光資源等強化事業費補助金(7/25交付決定)を活用した青山文庫磨き上げ(リアル化)のための改修工事が完了(2月)→3/4志国高知幕末維新博開幕にあわせてリニューアルオープン</li> <li>・維新博に向けた青山文庫展示物・企画展の検討の結果、3/4から企画展第1弾「志士たちの遺墨1～田中光顕の想い～」がスタート</li> <li>・さかわ観光クラスター協議会を開催し、青山文庫リアル化事業に係る情報共有や、周遊コースの設定及び仕掛け等について協議(7回)。高知県歴史観光資源等強化事業費補助金(10/13交付決定)を活用し、上町地区の町並み整備や関係施設の磨き上げを実施するなど観光クラスター形成の取り組みを推進</li> <li>・観光ガイド勉強会の実施(英語ガイド、佐川の偉人等)(10回)</li> <li>・産振アドバイザー制度を活用し、旧浜口邸における上町地区の風情に合ったカフェメニューづくりの検討(3回)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さらなる誘客に向けたおもてなしの体制づくり ⇒青山文庫をはじめとした歴史資源の磨き上げ及び周遊コースの仕掛けや体験プログラムの検討等クラスターづくりの推進</li> <li>⇒旧浜口邸において、佐川の素材を活かし、上町地区の風情に合った食事メニューの提供</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 34 体験型観光の拠点となるキャンプ場の整備による交流人口の拡大と地域の活性化(越知町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・越知町</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <p>スノーピークを核としたアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本設計の作成に向けた協議 (4/20、6/7、9/6) (日ノ瀬および宮の前公園にセンターハウス、キャンプサイト、トレーラーハウス、カヌー・ラフト艇庫等の整備)</li> <li>・観光拠点等整備補助金及び地方創生拠点整備交付金の活用に向けた観光振興部との協議 (3回)</li> <li>・キャンプ場の整備に向けた土木事務所との協議</li> <li>・スノーピークキャンプフィールド奥日田視察 (7/22、7/23)</li> <li>・トレーラーハウスやスノーピークショップの見学 (9/15、16)</li> <li>・スノーピーク山井社長との事業計画協議 (7/22、9/15)</li> <li>・用地取得に向けた所有者との交渉</li> <li>・町民等に事業の周知を図ることを目的に宮ノ前公園でアウトドアイベントを開催(11/3～11/6、約600人参加)</li> <li>・基本計画最終報告 (11/7)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30.4月オープンに向けた事業進捗</li> <li>・用地購入、移転交渉</li> </ul>
<p>■No. 35 「屋形船仁淀川」を核とした交流人口の拡大と地域の活性化(日高村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日高村</li> <li>・(株)屋形船仁淀川</li> </ul>	<p>[目標 (H31)]</p> <p>乗船者数：4,500人&lt;H26：3,261人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>乗船者数：4,100人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗船者数(3月末見込み)：4,985人(前年比124.8%)</li> <li>・役場内プロジェクト会議による進捗確認や課題整理及びスケジュール確認等(4回)</li> <li>・産振アドバイザーを活用した屋形船ガイド養成研修の開催：5回、ガイド候補者25人参加</li> <li>・「村のガイドひだか(屋形船、フットパス、ケービング等のガイド組織)」設立(9月)</li> <li>・レンタサイクル駐輪場の整備</li> <li>・ガイド人数(2月末)：5人</li> <li>・ガイド付き乗船者数(2月末)：519人</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客の受入体制の充実 ⇒遊覧ガイドの養成・増員</li> <li>⇒(一社)仁淀ブルー観光協議会との連携強化</li> <li>⇒体験交流スペースや飲食コーナーを有する宿泊施設(地方創生拠点整備交付金及び集落活動センター推進事業費補助金の活用を検討中)、売店など観光拠点としての整備を検討</li> <li>⇒雨天時や冬期の体験メニューの企画・試行</li> </ul>
<p>■No. 37 仁淀川町における茶を中心とした農産物の6次産業化推進(仁淀川町)</p> <p>≪事業主体≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仁淀川町</li> <li>・(株)ビバ沢渡</li> <li>・町内の6次産業化に取り組む事業者</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要事業者の販売額 80,000千円&lt;H27:50,000千円&gt; うち(株)ビバ沢渡の販売額 41,840千円&lt;H27:20,000千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>主要事業者の販売額 50,000千円 うち(株)ビバ沢渡の販売額 20,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業者の販売額(H29.1月期見込み):65,009千円</li> <li>・(株)ビバ沢渡の販売額(H29.1月期見込み):27,269千円 (前年比131%)</li> </ul> <p>商品開発、販売促進などによる経営の持続安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産振アドバイザー制度を活用した販売力強化のための研修会に茶生産者が参加(5回)</li> <li>・2事業者がHACCP研修に参加</li> <li>・(株)ビバ沢渡がスーパーマーケットトレードショーに出展</li> </ul> <p>(株)ビバ沢渡による拠点施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備にかかる事業計画、流域誘客プラン等策定に向けた関係者協議を定期開催</li> <li>・拠点施設整備予定地付近の交通量調査の実施(8月)</li> <li>・仁淀川町内のイベントにおける新メニュー(沢渡茶スムージー)の試験販売による消費者ニーズ調査の実施(10/2)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)ビバ沢渡の販売拡大に向けた拠点施設整備 ⇒本年度末の産振総合補助金審査会に向け協議を加速 ⇒沢渡茶を活用した飲食メニュー等の開発</li> </ul>

2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
No. 15 宇佐の一本釣りうるめいわしのブランド化（土佐市）	・加工施設の増改築及び加工機器の導入により高度な衛生管理（高知県版 HACCP の取得）の実現及び加工処理能力の向上を図り、さらなる地産外商の推進、販路拡大につなげる。	69,918 (32,369)
No. 22 地域資源を活用した売れる商品づくりと地産外商の推進（佐川町）	・牛乳製造設備の整備により高度な衛生管理（高知県版 HACCP の取得）の実現と生産能力の向上を図ることで、県外を中心に販路拡大を進め、酪農家及び菓子等加工事業者の所得向上、地域雇用の拡大につなげる。	32,187 (14,865)

3 県民参画に向けた取組

- ・日高村商工会総会で第 3 期計画の説明(5/19)
- ・越知町商工会総会で第 3 期計画の説明(5/20)
- ・土佐市商工会総会で第 3 期計画の説明(5/23)
- ・いの町観光協会総会で第 3 期計画の説明(5/24)
- ・いの町商工会総会で第 3 期計画の説明(5/26)
- ・高知県版 HACCP 研修受講の働きかけ（企業組合宇佐もん工房、(有)高知アイス、本川手箱きじ生産企業組合、利休、(有)吉本乳業）
- ・四国銀行各支店長等と地域本部との情報共有会議での第 3 期計画の説明（7/4）
- ・高知銀行各支店長等と地域本部との情報共有会議での地域アクションプランの進捗状況等の説明（10/26）

4 相談案件：6 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	5/25	農業	自然薯の生産・販売促進
2	5/30	観光	仁淀ブルーの P R ・ 情報発信
3	7/5	観光	幕末維新博での地域の歴史史料展示
4	7/22	商工	紙製品の店舗の建設、販売促進（地域 A P 外）
5	9/1	商工・観光	カットフルーツ・スイーツ販売施設の整備及び観光ツアーとの連携
6	12/5	観光	吟醸酒蔵建設（企業誘致）に伴う蔵見学棟及び物販コーナーの建設

## 高幡地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 3 . 2 8

高幡地域本部

### 1 地域アクションプランの平成 28 年度の実施状況（総括）

#### (1) 総評

全 42 項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、各支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいる。

農業分野では、まとまりのある産地づくりなどにより、みょうがやにらなど全国トップのシェアを誇る園芸品目の品質確保と生産拡大に取り組むとともに、中山間地域でのゆずや加工用わさびなど補完品目の生産拡大と複合経営などによる農家所得の向上を目指して取り組みを進めている。

J A 土佐くろしおの直販所「とさっ子広場」は、地元の豊富な農産物、水産物の販売のほか、イートインコーナーでの軽食の提供などにより、販売額、来客数とも順調に推移している。

また、四万十栗のブランド化と関連産業を含めた地域産業クラスターの形成を図るため、栗の生産拡大とともに、加工施設の整備に向けた取り組みを進めている。

畜産分野では、養豚農家自らが産振総合補助金を活用して整備した加工・直販所が昨年 4 月にオープンし、順調に売上を伸ばしているほか、養豚規模の拡大と生産効率の改善に向けて畜舎の整備が進んでいる。

林業分野では、四万十町森林組合が F S C、S G E C の森林認証材など「四万十ヒノキ」をはじめとする地域材のさらなる販売促進を図るため、都市部の家具デザイナーやバイヤーの産地への呼び込みによる成約率の向上を目指して、集成材製品の展示・商談施設の整備に着手した。

また、国内の高級ベッドメーカーが「四万十ヒノキ」シリーズのベッドを 9 月に商品化し、東京・大阪のギャラリーでの展示販売が好調である。

水産分野では、平成 27 年度に操業を開始した須崎市と中土佐町の 2 か所の水産加工施設において、それぞれ、県外の取引先への定期的な外商活動や県外からの産地視察の受入れ等により、販売量を徐々に拡大している。

商工業分野では、中土佐町の情報発信や地産外商の中心拠点となる道の駅の整備に着手し、本年夏のオープンを目指して、出荷者やテナントとの運営協議等を進めている。

観光分野では、昨年 4 月から 12 月に開催した「2016 奥四万十博」において、5 市町や地域住民・民間事業者が連携して全国への情報発信を展開し、主要観光施設・宿泊施設・体験プログラム・イベントとも前年を上回る集客実績となった。博覧会終了後も、これまでに培ったノウハウを活かした取り組みを継続できるよう専任職員を配置して、5 市町が連携して広域で観光を推進することとしている。

また、須崎市では、浦ノ内湾を海洋スポーツの拠点として整備し、スポーツ大会の開催や体験型観光等の推進による地域の活性化を目指して取り組みを進めている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 地域基幹園芸品目の生産振興と農家の所得向上(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ J A土佐くろしお</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう)</p> <p>販売額: 92億円&lt;H27:85.6億円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>主要農産物3品目(みょうが、きゅうり、ししとう)</p> <p>販売額: 82億円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販売額(H28園芸年度): 85.6億円(前年比100%)</li> <li>・ 目慣らし会: 22回</li> <li>・ 現地検討会: 14回</li> <li>・ 栽培現地実証圃の調査: 26ヶ所</li> <li>・ IPM技術の実証圃の調査: 34ヶ所</li> <li>・ 環境制御技術の実証圃の調査: 56ヶ所</li> <li>・ 各PT会で、活動計画の検討と関係者間での目標の共有</li> <li>・ 環境制御技術を活用した栽培に関心を持つ農家の増加</li> <li>・ 環境制御機器の導入 (環境測定装置) みょうが16戸、きゅうり1戸、ししとう4戸 (炭酸ガス施用装置等) みょうが10戸、きゅうり3戸、ししとう3戸</li> <li>・ H31年度までに各戸1機の排液処理・循環装置導入をみょうが生産部会で決定。(産地パワーアップ事業により、H30年度までに90戸で導入を計画)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 栽培技術の定着化 ⇒目慣らし会等の開催、定期的な巡回指導の実施</li> <li>・ 排液処理・循環装置の導入 ⇒国補助事業の活用を検討</li> </ul>
<p>■No.2 J A土佐くろしおが担う地域農業の活性化(須崎市、中土佐町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 榑土佐くろしお村村営みのり</li> <li>・ J A土佐くろしお</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>全作業受託面積: 10ha&lt;H27:5ha&gt;</p> <p>一部作業受託面積: 54ha&lt;H27:30ha&gt;</p> <p>販売額: 195,100千円&lt;H26:77,185千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>全作業受託面積: 9ha</p> <p>一部作業受託面積: 30ha</p> <p>販売額: 142.7471千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全作業受託面積(3月末見込み): 13ha(前年比260%)</li> <li>・ 一部作業受託面積(3月末見込み): 30ha(前年比100%)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・販売額(3月末見込): 200,642千円</li> <li>[米作受託]</li> <li>・新規雇用者数(パート): 1名</li> <li>・規模拡大、耕作放棄地対策として小型トラクターの導入</li> <li>・こうち農業確立総合支援事業を活用した育苗センター(米、にら)の施設整備が決定</li> <li>[直販所]</li> <li>・直販所(とさっ子広場)開店(4/21)</li> <li>・生産者勉強会: 1回</li> <li>・新規雇用者数(パート): 16名</li> <li>[課題と今後の対応]</li> <li>・直販所の売上向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒出荷者・顧客の聞き取り調査、販売データ分析</li> </ul> </li> <li>・米作受託地が点在 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒受託地をまとめることによる効率化</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.4 中山間地域での持続可能な農林業経営の確立(梶原町、津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA津野山</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要農産物5品目(みょうが、土佐甘とう、ししとう、米なす、小なす)販売額: 3.2億円&lt;H26:2.7億円&gt;</p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額: 20,000千円&lt;H26:8,099千円&gt;</p> <p>所得400万円以上の農家数: 8戸&lt;H26:6戸&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>主要農産物5品目販売額: 2.9億円</p> <p>農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額: 14,500千円</p> <p>所得400万円以上の農家数: 6戸</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要農産物5品目販売額(3月末見込み): 3.98億円 (前年比111.8%)</li> <li>・農業分野補完品目(ゆず+加工用わさび)販売額 (H28園芸年度): 23,030千円(前年比168.9%) (内訳)ゆず販売額: 18,409千円(前年比187%) 加工用わさび販売額: 4,620千円(前年比122%)</li> <li>・所得400万円以上の農家数(実績): 9戸</li> <li>・生産者部会の開催: 20回</li> <li>・実証圃の設置: 15ヶ所</li> <li>・帰省者向け相談会開催(8/14): 2名参加</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒営農みらい塾開催</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.5 葉にんにくを活用した加工食品の生鮮・販売の拡大(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)アースエイド</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:40,000千円&lt;H26:5,719千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高:30,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高(1月末):18,240千円(前年同期比106%)</li> <li>・展示商談会等の参加:12件</li> <li>・須崎市産振補助金を活用した成分分析及び販売促進業務の委託</li> <li>・新規取引開拓:27件</li> <li>・新商品開発:3品目(黒にんにくペースト、黒にんにく、アヒージョ)</li> <li>・産振アドバイザーの活用(マーケティング戦略の策定)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路の開拓</li> </ul> <p>⇒県外への販売促進活動の強化</p>
<p>■No.6 大野見米のブランド化(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおのみエコロジーファーマーズ</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>エコ米販売量:27t&lt;H27:12.9t&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>エコ米販売量:16t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコ米販売量(3月末見込み):20t(前年比155%)</li> <li>・作付面積(H28):9.9ha(前年比102%)</li> <li>・生産者数:1名増(計7名)</li> <li>・執行委員会の開催:3回</li> <li>・ほ場の巡回指導による栽培指導の実施:1回</li> <li>・病虫害防除等の現地検討会の実施:1回</li> <li>・まるごと高知、高知大丸、ゆういんぐ四万十等での販促活動:6回</li> <li>・教育現場との交流活動:4回</li> </ul> <p>高知県立大学(COME☆RISH)田植え体験交流、生育状況確認、清流度調査、水生生物調査、収穫体験</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の拡大</li> <li>・作付面積の拡大</li> </ul> <p>⇒生産拡大に向けた営農指導</p>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.7 梶原産キジ肉の生産・販売の拡大 (梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梶原町雉生産組合</li> <li>・梶原町</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>販売額 : 22,000 千円 &lt;H26:14,367 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売額 : 17,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売額 (3月末見込み) : 17,481 千円 (前年比 118.3%)</li> <li>・産地視察型商談会への参加 : 2回 (6社商談)</li> <li>・新規取引先 : 6件 (うち県外4件)</li> <li>・町内飲食店で提供されるキジ肉料理「キジグルメ」を龍馬パスポートに登録 : 9店舗参加</li> <li>・アドバイザーの指導を受け、新たにフレンチの食材として商品化と販路開拓の検討を開始</li> <li>・飼育マニュアル作成</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒商談会への参加</li> </ul> </li> <li>・担い手の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒飼育マニュアルの活用による新規就農者の掘り起こし</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.8 つの茶販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA津野山</li> <li>・津野町</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>茶製品販売額 : 34,000 千円 &lt;H26:13,596 千円&gt;</p> <p>荒茶販売額 : 54,000 千円 &lt;H26:51,218 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>茶製品販売額 : 25,901 千円</p> <p>荒茶販売額 : 52,489 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶製品販売額 (3月末見込み) : 25,200 千円 (前年比 114%)</li> <li>・荒茶販売額 (H28実績) : 47,769 千円 (前年比 136%)</li> <li>・つの茶の販促イベントの実施 : 21回</li> <li>・かぶせ茶の生産面積の拡大 H27 : 0.5ha → H28 : 0.65ha</li> <li>・津野町が「茶業アドバイザー」を設置し、イベント等でPR</li> <li>・海外での商談 : 2回 (台湾、シンガポール)</li> <li>・H29年度に大手企業の協賛による放棄茶園管理及び産地との交流事業の実施が決定</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶製品の販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒イベント参加から販売先の開拓に重点をシフト</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 みどり市を核とした「地消地産」の推進(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・JA四万十</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>産直コーナーの販売金額 : 300,000千円&lt;H26: 221,286千円&gt;</p> <p>手作りキッチンの販売金額 : 32,000千円&lt;H26: 30,047千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>産直コーナーの販売金額: 250,000千円 手作りキッチンの販売金額: 33,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産直コーナーの販売金額(1月末): 203,763千円 (前年同期比104.7%)</li> <li>・手作りキッチンの販売金額(1月末): 32,563千円 (前年同期比121.1%)</li> <li>・みどり市産直の運営に係る検討会: 11回</li> <li>・みどり市総会: 1回</li> <li>・野菜栽培講習会: 11回</li> <li>・野菜栽培現地巡回指導: 22回</li> <li>・手作りキッチンの運営に係る検討: 26回</li> <li>・ときめきバイキング: 12回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物の生産出荷量の増加 ⇒新規生産者への栽培技術指導</li> <li>・販売促進 ⇒新商品の開発やメニューの充実</li> </ul>
<p>■No.10 四万十の栗再生プロジェクト(四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会</p> <p>※地域産業クラスター関連(四万十の栗プロジェクト)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>原材料供給量(JA集荷量): 45t&lt;H26:17t&gt; 加工品売上高: 60,000千円&lt;H26:33,320千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>原材料供給量(JA集荷量): 25t 加工品売上高: 60,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料供給量(JA集荷量)(H28実績): 29t(前年比121%)</li> <li>・加工品売上高(1月末): 68,996千円(前年同期比122%)</li> <li>・四万十の栗再生プロジェクト推進協議会: 1回</li> <li>・栗技術チーム会: 5回</li> <li>・目慣らし会、講習会、研修会等の栽培技術集団指導: 15回</li> <li>・協議会の課題解決に向けた関係機関等との協議: 7回</li> <li>・栗の剪定技術指導のため栽培技術者(指導剪定士)1名を委嘱(H28年度)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発：3種類（栗スイーツ・四万十ドラマ）</li> <li>・「ものづくり・商業・サービス新展開支援補助金」採択（ペースト加工用機械の導入・四万十ドラマ）</li> <li>・1.5次加工施設整備に係る産地パワーアップ事業の交付決定（しまんと新一次産業）</li> <li>・四万十の栗剪定補助事業(四万十町)を活用した剪定指導24名(35回)</li> <li>・四万十地栗モンブラン（四万十ドラマ）が高知家のうまいもの大賞2017に入賞</li> <li>・農林水産業みらい基金2016年度助成対象に決定（四万十ドラマ）</li> <li>・農業クラスタープラン（四万十の栗プロジェクト）の策定（1月）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栗の生産出荷量の増加 ⇒低樹高栽培に向けた剪定技術の普及</li> </ul>
<p>■No. 13 四万十町畑作振興プロジェクト （四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十野菜合同会社</li> <li>・(株)ハマヤ</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>販売額：118,911千円&lt;H26:0円&gt; 雇用者数：18人（累計）&lt;H26:0人&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>販売額：76,660千円 雇用者数：7人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売額（1月末）：44,205千円</li> <li>・雇用者数（3月末見込み）：7名</li> <li>・定例会：11回</li> <li>・四万十野菜合同会社の経営安定支援：6回</li> <li>・野菜栽培指導：19回</li> <li>・四万十野菜の販売促進（検討会・情報提供・協議・情報交換会）：4回</li> <li>・四万十野菜のブランド化に向けた会議：3回</li> <li>・野菜取引先：12社</li> <li>・宅配野菜セット550件受注（四万十町ふるさと納税返礼品・四万十野菜有機栽培グループ）</li> <li>・四万十野菜を「しまんと畑」の名称でブランド化を図ることを決定（2月）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十野菜のブランド化に向けた露地野菜の産地化 ⇒四万十野菜合同会社の経営安定と委託農家の確保</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十ポークブランド推進協議会</li> <li>・ 農事組合法人四国デュロックファーム</li> <li>・ 農事組合法人平野協同畜産</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連 (四万十ポーク ブランド推進プロジェクト)</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>(農)四国デュロックファーム売上高 : 551, 545 千円&lt;H27:518, 785 千円&gt;</p> <p>(農)平野協同畜産母豚数 : 500 頭&lt;H27:420 頭&gt;</p> <p>(農)平野協同畜産年間出荷頭数 : 11, 000 頭&lt;H27:8, 400 頭&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>(農)四国デュロックファーム売上高 : 537, 271 千円 (農)平野協同畜産母豚数 : 420 頭 (農)平野協同畜産年間出荷頭数 : 8, 400 頭</p> <p>[取組状況]</p> <p>〔(農)四国デュロックファーム売上高〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養豚売上高(12月末):344, 622 千円(前年同期比 90. 2%)</li> <li>・ 加工場直販所(四万十町) 売上高(1月末) : 56, 259 千円</li> <li>・ 飲食店(高知市) 売上高(1月末): 10, 966 千円</li> </ul> <p>〔(農)平野協同畜産〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母豚数:(2月末) 428 頭(前年同期比 102. 4%)</li> <li>・ 年間出荷頭数(2月末): 8, 362 頭(前年同期比 102. 1%)</li> </ul> <p>○四万十ポークブランド推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 打合せ会(クラスター計画の共有・修正、総会の準備、役割分担、進捗管理等): 12 回</li> <li>・ 通常総会に係る準備会: 1 回</li> <li>・ 通常総会: 1 回</li> <li>・ 臨時総会: 1 回</li> </ul> <p>○(農) 四国デュロックファーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雇用創出数: 25 人</li> <li>・ 加工場及び直販所開業(4月)</li> <li>・ バーベキュー施設開業(7月)</li> <li>・ 豚カツ・豚串等専門店開業(12月・ひろめ市場)</li> <li>・ 商談会への参加: 3 回</li> </ul> <p>○(農) 平野協同畜産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産振総合補助金に係る打合せ: 28 回</li> <li>・ 産振総合補助金の活用による畜舎等整備(9/21 交付決定、11月着工、5月完了予定)</li> <li>・ 農場 HACCP に係る打合せ、チーム会: 26 回</li> <li>・ 農場 HACCP 推進農場に認定(12月・県内初)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <p>〔(農) 四国デュロックファーム〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加工場及び直販所の販売額の増加 ⇒イベントへの出店や営業活動等による販路の拡大及び顧客の確保</li> </ul>
<p>■No. 15 「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売（中土佐町、四万十町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四万十町森林組合</li> <li>須崎地区森林組合</li> <li>四万十町</li> <li>中土佐町</li> <li>地元事業者</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>地域森林資源の原木生産量（ヒノキ、スギ） ：15,400 m<sup>3</sup>&lt;H26:13,999 m<sup>3</sup>&gt;</p> <p>集成材工場の売上高：3億円&lt;H26:4億円&gt;</p> <p>F S C等認証森林面積：8,013ha&lt;H26:6,678ha&gt;</p> <p>販売連携事業者数：3社&lt;H26:0社&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>地域森林資源の原木生産量：14,000 m<sup>3</sup></p> <p>集成材工場の売上高：2.9億円</p> <p>F S C等認証森林面積：7,000ha</p> <p>販売連携事業者数：1社</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集成材工場の売上高(1月末)：1.72億円(前年同期比102%)</li> <li>F S C等認証森林面積(1月末)：7,189ha</li> <li>販売連携事業者数(3月末)：1社</li> <li>大正集成材工場展示場整備に関する打合せ：10回</li> <li>産振総合補助金の活用による大正集成材工場展示場の整備(10/17交付決定、1月着工、8月完了予定)</li> <li>新国立競技場のベンチ(7万席)のサンプルを出荷(8月中旬)</li> <li>ジャパンホームショー(東京)へ出展(10/26～10/29)</li> <li>四万十町森林組合大正集成材工場の外商回数(1月末)：246回</li> <li>ベッドメーカー(シモンズ)へのベッドの納品：140台</li> <li>H29 新規研究課題検討会(森林技術センター)：1回 研究課題を決定(四万十ヒノキを含めたヒノキ製材品の強度、性能試験)</li> <li>四万十ヒノキブランド化協議会 幹事会：2回、総会：1回 高知もくもくランドへ出展PR(10/22～10/23)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四万十ヒノキ集成材製品の販路の拡大 ⇒集成材製品展示場の整備による外商活動の強化</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十ヒノキの認知度の向上 ⇒四万十ヒノキの性能試験の実施、ロゴマーク活用による認知度の向上</li> </ul>
<p>■No. 18 四万十川源流クロモジ等中山間資源活用ビジネスの創出 (中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高知精工(株)</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>商品販売高：7,000 千円&lt;H26:5,701 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>商品販売高：7,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商品販売高 (3 月末見込み)：8,500 千円 (前年比 123.5%)</li> <li>・ 生薬原料製造会社による現地視察：1 回</li> <li>・ 新商品試作：1 品目</li> <li>・ 新規取引先：5 件</li> <li>・ PR の強化に向け HP を改修中</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 販路の開拓及び生産量の拡大 ⇒イベントへの出店、HP 等での PR 及び製薬会社等への商談</li> </ul>
<p>■No. 21 美味しい!須崎の魚 (いお) 消費拡大プロジェクト (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 須崎市</li> <li>・ 海の駅「須崎の魚」</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>売上高：10,000 千円&lt;H26：8,027 千円&gt;</p> <p>交流人口：10,000 人&lt;—&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：9,000 千円</p> <p>交流人口：9,000 人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上高 (1 月末)：6,511 千円 (前年同期比 89%)</li> <li>・ 交流人口 (1 月末)：6,389 人</li> <li>・ 旬の魚まつり開催：11 回</li> <li>・ 鯉の薫焼きタタキ体験者数 (1 月末)：168 人</li> <li>・ 須崎市観光漁業センターとの連携による釣客の魚捌きサービス開始 (7 月～) → 利用者数 (1 月末)：4 組</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ぐるーめ須崎の利活用の促進 ⇒定期的なイベント開催による認知度向上</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 野見湾産養殖カンパチの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大谷漁協</li> <li>・大谷漁協ネイリ部会</li> <li>・(株)みなみ丸</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 86,960 千円&lt;H26:4,320 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>大谷漁協ネイリ部会・みなみ丸売上高 : 57,612 千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上高 (3月末見込み) : 27,600 千円 (前年比 173.6%)</li> <li>・ネイリ部会での勉強会 : 2 回</li> <li>・商談会参加 : 5 回 (東京、大阪) 3 社と取引開始</li> <li>・HACCP 取得に向けた保健所との協議 : 4 回</li> <li>・県版 HACCP 第 1 ステージ取得、第 2 ステージ申請作業中</li> <li>・奈良コープでの試食会の開催 : 7 回 (延べ 14 日間)</li> <li>・須崎市ふるさと納税返礼品として「極美勘八」を全国発送</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販路の開拓 ⇒県補助事業を活用した商談会への参加</li> </ul>
<p>■No. 23 浦ノ内湾産養殖マダイの販路拡大 (須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高知県漁協深浦支所</li> <li>・土佐鯛工房</li> <li>・乙女会</li> <li>・(株)大東冷蔵</li> <li>・(有)小島水産</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐鯛工房 : 100 千尾&lt;H26:60 千尾&gt;</li> <li>・乙女会 : 300 千尾&lt;H26:53 千尾&gt;</li> </ul> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売数量</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐鯛工房 : 約 80 千尾</li> <li>・乙女会 : 約 300 千尾</li> </ul> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売数量 (1 月末) 土佐鯛工房 (海援鯛) : 57,770 尾 (前年同期比 97%) 乙女会 (乙女鯛) : 148,996 尾 (前年同期比 44%)</li> </ul> <p>[土佐鯛工房]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外のバイヤーによる産地見学会 : 13 回 →1 社取引開始</li> <li>・商談会参加 : 1 回 →1 社取引開始</li> <li>・漁業就業セミナー開催 : 1 名参加</li> </ul> <p>[乙女会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィレ等に加工した商品の販売拡大</li> <li>・HACCP 取得に向けた検討</li> <li>・須崎市ふるさと納税返礼品として「乙女鯛」を全国発送</li> <li>・須崎市産振補助金を活用して加工場整備</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HACCP 取得</li> </ul> <p>⇒アドバイザーや保健所による指導・助言</p>
<p>■No. 25 中土佐町地域ブランドの創出と販売促進(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中土佐町</li> <li>・ 中土佐町地域振興公社</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>商品売上高：35,987千円&lt;H26:6,635千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>商品売上高：22,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商品販売高(1月末)：13,912千円(前年同期比213%)</li> <li>・ 鰹のたたき等の商品PR：7回</li> <li>・ 商談会等：5回(県内)、4回(県外)</li> <li>・ 産地見学会等：19回</li> <li>・ OEM商品の製造販売開始</li> <li>・ HACCP研修参加：1回</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ぴんぴ鰹のタタキ」「上々鰹のタタキ」など自社ブランド製品の販売強化</li> </ul> <p>⇒県外の新規販売先の確保などの外商活動</p>
<p>■No. 27 久礼の浜屋敷整備事業(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中土佐町</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>—</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 庁内シープロジェクト検討会実施：37回</li> <li>・ 庁内施設(直販所)設計協議：5回</li> <li>・ 出店予定者との協議：9回</li> <li>・ 外部関連団体との協議：5回</li> <li>・ 行政支援による設計・調整協議：23回</li> <li>・ 議会説明、協議：3回</li> <li>・ 町外施設の視察：2回</li> <li>・ 生産者への講習：2回</li> <li>・ 運営会社設立登記(4/27)</li> <li>・ 道の駅の実施設設計が完了(7月)</li> <li>・ 工事入札・契約</li> <li>・ テナント協議会立ち上げ(11/17)</li> <li>・ 産振アドバイザーの活用(ビジネスプランのブラッシュアップ)：3回(12/12、1/20、3/9)</li> <li>・ 道の駅登録申請(2/14)</li> <li>・ 産振総合補助金の活用による道の駅の整備(10月着工、H29.6月完了予定)</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体の賑わいの創出に繋がる施設や仕組みづくり ⇒お宮さん通りの観光拠点施設や大正町市場等との連携</li> <li>・道の駅の着実な経営 ⇒産振アドバイザー等の活用</li> <li>・テナントへの事業サポート ⇒人材育成や商品開発に関する支援制度の提案等</li> </ul>
<p>■No. 28 「中土佐のうまいもん食わしちやお」 商品開発プロジェクト(中土佐町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企画・ど久礼もん企業組合</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>開発する商品数：年1商品(4商品) 商品売上高：50,000千円&lt;H26：32,180千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>開発する商品数：1商品 商品売上高：35,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発商品数：1商品(マグロワタラー油)</li> <li>・商品売上高(1月末)：22,647千円(前年同期比80.6%) (内訳)店舗：7,606千円(前年同期比106.8%) 出荷：15,041千円(前年同期比71.7%)</li> <li>・新商品試作：2商品</li> <li>・商談会及び営業活動：7回</li> <li>・イベント等でのPR販売：13回</li> <li>・テレビ、取材等：4回</li> <li>・食品表示セミナー参加：1回</li> <li>・HACCP研修参加：3回</li> <li>・大正町市場の活性化賑わいづくりへの取り組み：16回</li> <li>・中土佐町ふるさと納税返礼品の出荷業務受託</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発</li> <li>・販路の拡大 ⇒アドバイザーの活用、セット商品の開発 ⇒衛生面に配慮した加工施設整備の検討</li> </ul>
<p>■No. 30 津野町地産地消・外商販売戦略 (津野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)津野町ふるさとセンター</li> <li>・(株)満天の星</li> <li>・津野町</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>直販所販売額(高知店3店舗)：1億円&lt;H26:0.91億円&gt; 直販所総販売額：1.62億円&lt;H26:1.53億円&gt; 満天の星売上：2.27億円&lt;H26:1.89億円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>直販所販売額(高知店3店舗)0.8億円 直販所総販売額：1.55億円 満天の星売上：2.12億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>直販所販売額(高知店3店舗)(1月末):0.67億円 (前年同期比97.3%)</li> <li>直販所総販売額(1月末):1.25億円(前年同期比97.5%)</li> <li>満天の星売上(1月末):2億円(前年同期比110.7%)</li> <li>関係者経営会議等:11回</li> <li>奥四万十博関連で道の駅食堂の新メニュー開発</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費者ニーズに応えた生産・供給体制 ⇒各店舗ごとの販売状況の分析</li> </ul>
<p>■No.32 高幡地域における広域観光の推進 (高幡地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高幡広域市町村圏事務組合(高幡広域観光推進本部)</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>主要観光施設入込客数 :2,459,000人&lt;H26:1,954,206人&gt;</p> <p>宿泊者数:51,300人&lt;H26:40,925人&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>主要観光施設入込客数:2,433,216人 宿泊者数:49,033人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主要観光施設入込客数(3月末見込み):2,060,574人(前年比102.7%)</li> <li>宿泊者数(3月末見込み):45,801人(前年比105.3%)</li> <li>奥四万十博オープニングイベント来場者数:25,000人</li> <li>奥四万十博推進協議会本部会等開催:12回</li> <li>旅行会社、航空会社での企画商品化:3社</li> <li>テレビCM(15秒)の実施(愛媛448回、岡山396回、高知475回)</li> <li>道の駅でのPR:松山</li> <li>大型商業施設等でのPR:6回(大阪、徳島、香川、愛媛、高知2回)</li> <li>スポーツ紙等での特集記事掲載(大阪、名古屋)</li> <li>旅行会社へのセールス実施 (東京、福岡、愛媛、岡山)</li> <li>コンベンション協会主催のキャラバン参加(首都圏、関西)</li> <li>高知県観光説明会への参加:4回(東京、大阪、名古屋、岡山)</li> <li>道の駅飲食コーナー(6店舗)や飲食店での奥四万十博限定メニュー開発</li> <li>商品への奥四万十博ロゴマーク使用登録件数:17件 (満天の星豆菓子、土佐足袋、サークルK四万十うなぎ他)</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥四万十博物産コーナーの設置(高知空港、共済会館、ひろめ市場)</li> <li>・奥四万十博記念切手販売(須崎郵便局)</li> <li>・29年度、専任職員を配置して広域観光を推進</li> <li>・奥四万十観光動向調査の実施及び「奥四万十広域観光推進指針」の作成</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラムの造成、磨き上げ ⇒実績の把握・分析による改善策の提案</li> <li>・持続的な広域観光の推進 ⇒広域観光のあり方について関係機関の協議</li> </ul>
<p>■No. 33 須崎市立スポーツセンターを活用した体験型観光等の推進による地域の活性化(須崎市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・須崎市</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31)]</b></p> <p>交流人口：23,000人&lt;H26:16,000人&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>交流人口：17,500人</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流人口(1月末)：18,951人</li> <li>・利用者へのアンケート調査の実施(大学、高校等)</li> <li>・新たな体験メニュー導入(サップボード、シーカヤック)</li> <li>・庁内海洋スポーツパーク建設推進委員会開催(2回)</li> <li>・県と須崎市関係各課との協議(7回)</li> <li>・スポーツセンターを活用した地域活性化策に関する検討会の開催(4回)</li> <li>・須崎市海洋スポーツパーク構想(大島地区及び坂内地区の整備)を決定(10月)</li> <li>・H29年度開催のすさきOWS(オープンウォータースイミング)大会の実施に向けた協議</li> <li>・須崎市広報紙及び地区説明会の開催を通じた住民への広報</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受入体制の充実・強化 ⇒関係団体、地域住民等との協議</li> <li>・PRの強化 ⇒合宿等の誘致</li> </ul>
<p>■No. 38 わざわざいこう「海洋堂ホビー館四万十」を核としたミュージアムのまちづくり(四万十町)</p>	<p><b>[目標 (H31)]</b></p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人&lt;H26：44,033人&gt; 常勤雇用者数：5人&lt;H26：5人&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>ホビー館の年間入場客数：50,000人 常勤雇用者数：5人</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十町</li> <li>・ ㈱海洋堂</li> <li>・ ㈱奇想天外</li> </ul>	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入館者数(1月末)：40,230人(前年同期比91.7%) (延べ入館者数：347,892人(H23.7～H29.1月末))</li> <li>・ 企画展開催：4回 (エヴァンゲリオンフィギュアワールド(3/5～5/30)) (海洋堂造型怪獣総進撃(7/16～10/24)) (情景師アラーキの凄い！ジオラマ展(11/19～2/13)) (海洋堂からの挑戦状(3/18～5/29))</li> <li>・ イベントの開催：10回 (ガラポンくじ、ダンスステージ、ビンゴ大会、かっぱうようよ号乗車体験(海洋堂ホビートレイン改装)、第2回全国かっぱサミット in 四万十、第2回かっぱ塾等)</li> <li>・ イベント広報用チラシ作成：5回</li> <li>・ 渋滞対策の実施：14回 (シャトルバスの運行及び警備員の配置)</li> <li>・ PR活動：2回 (ワンダーフェスティバル2016夏(7/24)、 2017冬(2/19)幕張メッセ)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋堂ホビー館を拠点とした滞在型観光の仕組みづくり ⇒観光協会や地元団体等との連携強化</li> </ul>
<p>■No.42 肉用牛の生産拡大による地域産業の活性化(梶原町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般社団法人津野山畜産公社</li> <li>・ 梶原町</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>出荷頭数：129頭&lt;H27：105頭&gt; 販売額：104,000千円&lt;H27：100,969千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>出荷頭数：105頭 販売額：93,700千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出荷頭数(1月末)：84頭(前年同期比109%)</li> <li>・ 販売額(1月末)：97,734千円(前年同期比130.6%)</li> <li>・ 畜産クラスター計画の策定に向け、協議会設立(11/1)</li> <li>・ 畜産クラスター協議会開催：2回</li> <li>・ 畜舎建設地の造成工事に着手(5月完成予定)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 畜産クラスター計画の策定 ⇒協議会構成員、関係者との協議による計画の策定</li> </ul>

## 2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 14 四万十のうまい豚プロジェクト (四万十町)	・分娩豚舎及び繁殖舎の新設、既存施設の離乳舎及び肥育舎への補改修による生産規模拡大 ・精肉や OEM 商品の販売拡大	108,505 (16,746)
■No. 15 「四万十ヒノキ」をはじめとする地域森林資源の販売促進 (四万十町森林組合、須崎地区森林組合、四万十町、中土佐町、地元事業者)	・大正集成材工場に展示場を整備することにより、四万十ヒノキ製品の販路の拡大を図る。	36,210 (22,351)
■No. 27 久礼の浜屋敷整備事業 (中土佐町)	・久礼新港背後地に道の駅を整備することにより、地域の所得向上や雇用の創出等を図り、町全体へ経済効果を波及させる。	619,370 (50,000)

## 3 県民参画に向けた取組

- ・四国銀行等との意見交換会での第 3 期計画の説明(8/2)
- ・高知銀行との意見交換会での第 3 期計画の説明(6/15)
- ・商品開発及び経営改善を目指す事業者等への土佐 M B A の P R (道の駅「かわうその里」ほか 8 件)
- ・事業者への H A C C P 研修会の受講案内(須崎商工会議所ほか 16 件)
- ・高知銀行との意見交換会での地域 A P の説明(1/19)
- ・『目指せ！ 弥太郎 商人塾』体験講座 in 高幡の開催(3/13)

## 4 相談案件：11 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/18	食品加工	みょうがを使った加工品の原料確保について
2	4/20	製造業	土壌改良剤の製造設備の整備への支援について
3	5/12	食品加工	地域産業クラスターの概念等について
4	5/17	食品加工	田舎寿司の製造に向けた乾燥しいたけの供給先について
5	5/23	農業生産	就農のための農業機械の購入への支援について
6	7/21	水産養殖	水産養殖施設への支援制度について
7	8/16	製造業	新規地域アクションプランの追加協議
8	9/26	食品加工	地域の食材を活用した菓子製品の製造設備への支援について
9	10/12	食品加工	みょうがを使った加工品事業の経営計画策定への支援について
10	1/31	水産加工	養殖魚の加工事業の計画策定・施設整備への支援について
11	2/16	食品加工	道の駅での加工品の開発について



## 幡多地域アクションプランの進捗状況等

H 2 9 . 3 . 2 8

幡多地域本部

### 1 地域アクションプランの平成 28 年度の実施状況（総括）

#### (1) 総評

幡多地域における地域アクションプラン（47 事業）は、上半期に引き続き、アドバイザーの導入や各種研修会への参加等により、生産拡大への取り組みはもとより、県版 HACCP の取得など、衛生・品質管理体制の強化に向けた取り組みが積極的に進められてきた。また、販路拡大に向けた商品提案書の作成やそれを活用した県内外での営業活動や商談会等への参加など、外商活動も積極的に展開されており、概ね順調に推移している。

農業分野では、「ユズ」、「直七」、「ぶしゅかん」等の柑橘の産地化やブランド化を目指した作付面積の拡大や、官民協働による地域での体制づくりなどの取り組みが順調に進められている。特に「ユズ」は、農業公社を中心に集落活動センターや地域住民との連携を密にしながら、農地集積による新植や収穫が順調に進み、栽培面積や生産量が着実に増加している。さらに、11 月には共同選果・搾汁加工施設が完成し、青果率の向上に向けた仕組みが確立するとともに、ユズ果汁を活用した新たな加工品づくりにも着手するなど、農家所得の向上やユズの一大産地化に向けた取り組みが加速化している。

林業分野では、土佐備長炭の更なる生産量の拡大と品質の向上を目指した生産体制の強化や販路拡大に向けた取り組みが進められている。また、懸案となっていた原木の調達については、地域との連携を図りながら、地区管理の山林の伐採や整備を請け負う形で、一定量を継続的に確保できる仕組みが整った。

水産業分野では、「かつおの薫焼きたたき」をはじめ、「干物」や「メジカ」、「ブリ」、「きびなご」等の加工品づくりに取り組む水産加工事業者を中心に、従業員の増等による生産の拡大や効率化等に向けた取り組みのほか、積極的な外商活動の展開、県外の飲食関係の事業者との連携による販売体制の確立などによって、着実に売上を伸ばしており、雇用の創出にもつながっている。さらに、地域の事業者や関係団体、行政等が一丸となり、「メジカ」や「養殖マグロ」といった地域の強みを活かした地域産業クラスターの形成を目指す取り組みも推進されている。

観光分野では、滞在型・体験型観光の確立を目指し、地域の観光地づくりのかじ取り役となる日本版 DMO 候補法人に登録された「幡多広域観光協議会」を核として、6 市町村や観光関係団体の連携のもと、広域での誘客力の高い着地型の旅行商品づくりや旅行会社等へのプロモーションが引き続き展開されているほか、スポーツツーリズムの情報を発信するポータルサイトの開設や、体験型観光と融合させたスポーツツーリズムの受入体制づくりが進められている。

そのほか、28 年 4 月にオープンした道の駅「よって西土佐」は、8 月中旬には、売上額が当初の年間計画である 1 億円を突破し、12 月にはレジ通過者数が 15 万人を達成するなど順調に推移している。また、「なぶら土佐佐賀」などの道の駅においても、事業展開が順調に進められている。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.1 高知県産洋ランのブランド確立・流通促進事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石田蘭園</li> <li>・ 蘭遊六志会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>売上高：165,000千円&lt;H26：80,438千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：100,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高〔1～12月〕：74,842千円 (前年比106.2%)</p> <p>◇生産体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海外拠点とのリレー出荷システムの構築に向けた取り組み</li> </ul> <p>◇販路拡大、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ I F E X 2016 へ出展</li> <li>・ J F I トレードフェア 2016 秋 i n F A J へ出展</li> <li>・ 豊明花き高知県洋蘭フェア in 愛知へ出展</li> <li>・ 第1回秋の関西3市場合同園芸商まつりへ出展</li> <li>・ 大手量販店のカタログギフト本誌掲載</li> <li>・ 宿毛市ふるさと納税カタログギフトに掲載</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利益アップに向けた更なるコスト削減策の検討 ⇒海外の生産拠点からの苗の安定的な供給体制の確立</li> <li>・ 切り花出荷の強化 ⇒新たな取引先や個人ユーザーの獲得など販路の拡大</li> <li>・ 新たな取引先の獲得 ⇒県外でのフェアや商談会への参加などの営業活動の展開</li> </ul>
<p>■No.2 四万十ぶしゅかん産地の形成とブランド化事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四万十市</li> <li>・ 生産者</li> <li>・ 四万十ぶしゅかん(株)</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>栽培面積：1,440a&lt;H27：490a&gt;</p> <p>生産量：46,800kg&lt;H27：18,700kg&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>栽培面積：840 a</p> <p>生産量：25,600kg</p> <p>[取組状況]</p> <p>栽培面積：720a〔3月末見込み〕 (前年比146.9%)</p> <p>生産量：26,259kg〔3月見込み〕 (前年比140.4%)</p> <p>◇産地化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産者組合の設立〔5/27〕</li> <li>・ 接ぎ木苗の育苗、若木の管理等の定例的な講習会の開催</li> <li>・ 苗木の購入に係る市単独補助事業の実施〔4月～〕</li> </ul> <p>◇集出荷体制の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集出荷の仕組みづくりに向けた検討〔8/17、11/25〕</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷基準づくりに着手 [8月]</li> <li>◇生産体制及び衛生管理体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討チーム会の開催 [4/8、10/11]</li> </ul> </li> <li>◇展示会や商談会への出展及び量販店への営業活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十ぶしゅかん(株)・・・営業担当雇用 (1名)</li> <li>・78業者と商談活動 [うち15業者と取引開始]</li> <li>大手コンビニチェーン県内9店舗でぶしゅかんドリンクの販売スタート [11/29]</li> <li>・催事販売等の実施 (9回)</li> <li>・商談会へ出展 (10回)</li> <li>地方創生『食の魅力』発見商談会 2016へ出展 (40社との名刺交換⇒4社との取引開始)</li> </ul> </li> <li>◇各種媒体でのPR活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶしゅかんソングのラジオCM放映 [6~8月]</li> <li>・ぶしゅかんドリンクのテレビCM放映 [6~7月]</li> <li>・スタンドPOPを市内宿泊施設や飲食店へ配布</li> <li>・ぶしゅかんヌーボー開催 [8/21、209名]</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産者の生産技術、ノウハウの習得 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒生産者の栽培技術の向上や知識の習得に向けた研修会、講習会の継続的な実施</li> <li>⇒栽培管理マニュアルの更新</li> </ul> </li> <li>・100年ぶしゅかんブランドの確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒生産者組合の連携体制の一層の強化、結束力の向上</li> <li>⇒青玉の出荷基準の作成</li> </ul> </li> <li>・販売戦略の構築 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ターゲットを絞った販売ルートの確立</li> <li>⇒商品コンセプトの再構築</li> </ul> </li> <li>・ぶしゅかんの認知度の向上 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒地元の飲食店等での活用促進</li> <li>⇒メディアを活用したぶしゅかんのPR強化</li> </ul> </li> <li>・生産コストの削減、衛生管理体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒集荷・選果・搾汁・保管機能を有した拠点施設整備</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No.3 6次産業化の推進による地域農業振興事業 (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)大月農園</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31)]</b></p> <p>売上高：35,000千円&lt;H26：12,314千円&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>売上高：30,000千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>売上高 [6~2月]：3,500千円 (前年同期比 33.3%)</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇農産物の生産拡大、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里芋(50a)、コガネセンガン(10a) 生姜(4ha)の作付</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先との栽培・加工契約が終了 ⇒経営規模縮小等により、H28年度末でAPから削除予定</li> </ul>
<p>■No.4 三原村ユズ産地化計画の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)三原村農業公社</li> <li>・三原村</li> <li>・JA高知はた</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>生産量:495t&lt;H27:150t&gt; 販売金額:129,388千円&lt;H26:16,738千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>生産量:175t 販売金額:27,500千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>生産量[3月末見込み]:221.5t(前年比147.7%) 販売金額[3月末見込み]:37,500千円(前年比157.4%)</p> <p>◇総合的な生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産面積の拡大(H27:43.3ha → H28:50ha)</li> <li>・定例的な栽培講習会等の実施 8回 [4/28、5/27、6/28、7/26、8/26、9/28、10/18、11/18]</li> <li>・ユズ選果施設、搾汁施設の稼働[11/11竣工式]</li> <li>・県版HACCP研修会への参加 [6/2、6/18、6/19、7/25、7/26、9/9]</li> <li>・HACCPに関する書類・施設現地指導[11月]</li> <li>・青果率の向上(H27:20.8t、13.6% → H28:40.7t、20.6%)</li> </ul> <p>◇加工品づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズジュース(カート缶)の発売及びキャンペーン活動 (4月発売、5月～キャンペーン)</li> <li>・道の駅や県内量販店を中心としたユズジュース(カート缶)の営業活動の推進[4月～]</li> </ul> <p>◇研修生の受入強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新農業人フェア、高知くらしフェア2016等への参画 [6/4大阪、6/12東京、11/12東京、12/11東京]</li> <li>・県担い手育成センターの視察受入[6/25]</li> <li>・農業大学校訪問(研修生受け入れに関する協議及び学生への勧誘活動)[7/12]</li> <li>・新規就農トークララー[8/10]</li> </ul> <p>◇地域との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落活動センター定期総会で事業全体の進捗状況や今後の事業計画等を説明</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肥培管理の徹底 ⇒生産指導の徹底による栽培管理体制の強化</li> <li>・研修施設のPR、新規就農者の確保 ⇒県外での移住相談会等への積極的な参加 ⇒県農業大学校等を通じたPR活動</li> <li>・ユズ加工商品の販路の再構築 ⇒ユズ加工商品の販売促進に向けた戦略づくり等 ⇒北川村ユズ王国との連携で加工品製造に取り組む</li> <li>・選果場の環境整備 ⇒選果ラインのルールづくり</li> <li>・選果・加工施設の労働力確保 ⇒作業の見直しなどによる通年雇用の創出</li> </ul>
<p>■No.6 町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業(大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大月町備長炭生産組合</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>販売量: 200 t &lt; H26: 75.7t &gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>販売量: 120 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>販売量 [3月末見込み]: 113.6 t (前年比 93.1%)</p> <p>◇生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産組合の定例総会の開催(事業計画等の協議) [5/13]</li> <li>・生産者(9名)による継続的な生産活動の実施 [4月~] (新規生産者の確保のため4月より新たに1名が町内で研修中)</li> </ul> <p>◇販路拡大、広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都内の取引先(問屋)での視察研修会の実施 [6/29~6/30]</li> <li>・大月町産業祭へ出展 [11/3]</li> </ul> <p>◇原木(ウバメガシ)の安定的な確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自伐型林業に関する勉強会に参加 [8/25]</li> <li>・西泊地区が管理する山林の伐採権の譲渡契約を締結 (原木確保と山の手入れ作業実施)</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原木(ウバメガシ)の安定的な確保 ⇒山林の確保に向けた関係先との調整</li> <li>・生産の安定化と増産、品質の確保 ⇒生産性の向上を目指した意識づけ、知識・技術の習得</li> <li>・売上アップに向けた取り組み ⇒新たな販売先の確保に向けた営業活動の強化</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No.9 レストランチェーンと連携した地域水産物の流通・加工体制の推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》 ・(株)ピアサーティー</p> <p>※地域産業クラスター関連(幡多地域広域水産業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)] 売上高:4.0億円&lt;H26:2.7億円&gt;</p> <p>[H28到達目標] 売上高:3.7億円</p> <p>[取組状況] 売上高〔5~2月〕:3.0億円(前年同期比113.4%)</p> <p>◇生産体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・肉加工施設稼働〔9月~〕(8名雇用)</li> <li>・さかな工房で雇用1名増</li> <li>・中国での新規実習生の募集活動〔3月〕</li> </ul> <p>◇販路拡大、PR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自社レストランや系列店を中心とした取引量の拡大</li> <li>・県外での宿毛フェア等の販促イベントの実施 「カツオフェア」〔6、7、8月開催〕</li> </ul> <p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿毛リゾート「椰子の湯」への出荷(タイ、イサキなど)</li> <li>・新商品(イサギのフィレ)の系列レストランへの出荷</li> <li>・生き締めの鮮魚の取り扱い開始予定 〔H29.4月中旬生簀完成予定〕</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上アップに向けた販売量の増大と更なる取引先の拡大 ⇒自社レストラン等での周年によるイベントの開催</li> <li>・安定した生産体制の整備 ⇒従業員の募集の継続 ⇒中国人実習生の受入(H29.4月から3名受入決定)</li> </ul>
<p>■No.10 宿毛近海の水産資源を活用した地域ブランド確立・推進事業(宿毛市)</p> <p>《事業主体》 ・(株)沖の島水産</p> <p>※地域産業クラスター関連(幡多地域広域水産業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)] 売上高:6億円&lt;H26:2.5億円&gt;</p> <p>[H28到達目標] 売上高:3.5億円</p> <p>[取組状況] 売上高〔7~2月〕:1.7億円(前年同期比151.1%)</p> <p>◇商品開発と販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外の展示会・商談会への出展 〔8/17~8/19、8/30~9/1、9/14、9/20~9/21、10/4、10/6、10/18~10/20、11/1、11/2~11/8、2/15~2/17、2/22、2/23、2/22~2/23、3/7~3/8〕</li> </ul> <p>◇生産体制の充実、強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい加工場の整備(改装工事中・H29.9月稼働予定)</li> </ul> <p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規事業(スキューバダイビング)の開始</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自社レストラン以外への販路開拓 ⇒シーフードショーや居酒屋産業展、土佐の宴等への出展による新規販路の開拓</li> <li>⇒通信販売（ネット、DM）等の強化</li> <li>・ 衛生管理体制の充実 ⇒HACCP 研修の受講の検討</li> <li>・ 漁労部門の周年雇用の確保 ⇒スキューバダイビング事業の充実、強化</li> </ul>
<p>■No. 11 宿毛湾の養殖魚を中心とした付加価値の高い加工品の販売事業（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株)勇進</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（幡多地域広域水産業クラスター）</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>売上高：2.56 億円&lt;H26：0 円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：1.26 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高〔5～2月〕：72,700 千円</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商談会等へ参加 〔5/31、8/30～9/1、9/7～9/8、9/14、9/29、10/6、10/18～10/20、11/1、11/10、1/12～1/13、1/26～1/27、2/22～2/23、3/7～3/10〕</li> <li>県内外大手スーパーマーケットと新規契約成立</li> <li>県外外食関係事業者と新規契約成立（夏以降出荷開始）</li> <li>・ 引き続きシーフードショー等商談会の出展準備、取引先との調整及び取引交渉の促進</li> </ul> <p>◇生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 従業員の確保に向けた取り組み</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上アップに向けた新たな取引先の獲得 ⇒商談会や催事等への積極的な参加</li> <li>⇒取引先の拡大に向けた県外での営業活動の強化</li> <li>⇒新商品の開発及び経営見直しに向けた、アドバイザーの活用</li> <li>⇒海外の新規取引予定業者との交渉の促進</li> <li>・ 新工場を活かした衛生管理体制の確立 ⇒HACCP 取得に向けた社員教育の実施</li> <li>・ 生産体制の充実、強化 ⇒責任者の配置、人材育成の強化</li> <li>・ 経営計画、販売計画の再検討 ⇒産振アドバイザーの活用</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 13 キビナゴ加工商品の生産販売体制強化事業(大月町)</p> <p>《事業主体》 ・八重丸水産㈱</p> <p>※地域産業クラスター関連(幡多地域広域水産業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>きびなごケンピ売上高: 29,820千円&lt;H26: 25,950千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>きびなごケンピ売上高: 26,500千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>きびなごケンピ売上高〔9~12月〕: 8,752千円 (前年同期比 88.4%)</p> <p>◇新商品の開発、既存商品の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品(イカのポン菓子)の開発の検討</li> <li>・商品形態のバリエーション充実の検討</li> </ul> <p>◇販路拡大・販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・きびなごケンピの製造、取引先への継続的な出荷</li> <li>・日曜日(イカの日干し、太刀魚、ウツボ、イワシ等)への出店(毎週日曜日)</li> <li>・産地視察型商談会への参加(成約5件)〔5/31〕</li> <li>・商談会、フェア等へ出展 (名古屋フードビジネスショー〔9/20~9/21〕他)</li> <li>・県版 HACCP 研修会へ参加〔8/22〕、HACCP アドバイザー派遣〔12/1、1/17、3/7〕</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場ニーズに対応した新商品の開発 ⇒商品づくりのための機器等の導入</li> <li>・衛生管理にかかるノウハウの習得、施設の活用の見直し ⇒県版 HACCP の取得に向けた取り組みの強化</li> <li>・売上アップに向けた商品の磨き上げや改良 ⇒商品形態のバリエーション充実の検討</li> <li>・経理等を含めた経営力のワンランクアップ ⇒雇用等による体制強化を含めた経営力の向上</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 衛生管理強化等による干物等水産加工品販路拡大事業（大月町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐大月海産</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（幡多地域広域水産産業クラスター）</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>商品売上高：33,000 千円&lt;H26：14,549 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>商品売上高：20,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品売上高〔1～12月〕：23,852 千円（前年比 152.5%）</p> <p>◇販促営業、情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ、インターネットを通じた継続的な干物販売 [4月～]</li> <li>・県内商社を通じたきびごまの販売 [4月～]</li> <li>・名古屋フードビジネスショーへの参加 [9/20～9/21]</li> </ul> <p>◇新商品の開発、既存商品の磨き上げ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商社との連携による新商品（タコのから揚げ）の試作 [4月～]</li> <li>・冷蔵庫、倉庫の増設 [4月]</li> <li>・商品ごとのマーケティング調査の実施 [5月]</li> <li>・原魚や資材の価格高騰に伴う商品販売価格の見直し</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新工場を活かした衛生管理体制の構築 ⇒県版 HACCP の取得に向けた社員教育の実施</li> <li>・きびごまなど加工品の販路の拡大 ⇒商談会等への参加などの外商活動の強化</li> <li>・売上アップに向けた新たな個人顧客の獲得 ⇒インターネット販売、カタログ販売の強化</li> </ul>
<p>■No. 16 直七の生産、加工、販売の促進事業（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・直七生産㈱</li> <li>・直七の里㈱</li> <li>・直七酒販㈱</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>直七果実生産量：200 t &lt;H27：117 t&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>直七果実生産量：220 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>直七果実生産量〔1～12月〕：171t（前年比 146.1%）</p> <p>◇生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・搾汁機械の修繕</li> <li>・生産面積の拡大に向けた追加植樹（11月、3月に計3,500本を植樹予定）</li> <li>・植え付け講習会の実施 [11/5]</li> </ul> <p>◇新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「直七とあめ色玉ねぎのドレッシング」発売 [2月]</li> </ul> <p>◇販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植樹祭の実施 [10/7]</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外商活動の展開（主な成約先：8社、商談中の企業は複数社あり）</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原料（直七）供給の安定化 ⇒新規生産者の増加と計画的な作付面積の拡大による原料供給の安定化</li> <li>・大手企業との取引に向けた衛生管理の徹底 ⇒県版 HACCP 第3ステージの申請</li> </ul>
<p>■No. 17 昭和初期からの地域伝統商品の販売拡大等事業（宿毛市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有)菱田ベーカリー</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31)]</b></p> <p>売上高：60,000千円&lt;H26：3,000千円&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>売上高：45,000千円 (羊羹パン 35,000千円、ラスク 10,000千円)</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>売上高〔12月末〕：26,920千円（前年同期比 100.1%）</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羊羹パンの首都圏でのテストマーケティングの実施 〔5月～〕</li> <li>・顧客への周知を図るため、産振アドバイザーを活用 〔6～10月〕→プレスリリースを作成し、各メディアを訪問</li> <li>・プレハブ冷凍庫の導入</li> <li>・保存用ラスク：三重県南伊勢町に納品決定（14,000缶）</li> </ul> <p>◇新商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沢渡茶を活用した「沢渡の田舎蒸しパン」の発売</li> <li>・トマトなど、地元の食材を活用した新商品の開発</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・羊羹パンの更なる認知度の向上 ⇒インターネットを活用した通販事業の強化 ⇒プレスリリースを活用した販売戦略の強化 ⇒県内外の展示会、商談会の参加や営業活動による外商の取り組みの強化</li> <li>・保存用ラスクやその他の商品の販路拡大 ⇒公官庁、自主防災組織等への売り込み</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 18 土佐清水メジカ関連産業再生プロジェクト（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水ホールディングス(株)</li> <li>・土佐食(株)</li> <li>・(株)土佐清水元気プロジェクト</li> <li>・宗田節をもっと知ってもらいたい委員会</li> <li>・土佐清水市</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連（幡多地域広域水産業クラスター）</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>売上高：25 億円（2 社合計）＜H26：17.92 億円＞</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：19.8 億円（2 社合計）</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高〔12 月末〕：13.46 億円（2 社合計）</p> <p>◇経営戦略の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営計画、事業計画の策定〔6 月〕</li> <li>・産振アドバイザーの活用（事業戦略の策定）〔12 月～〕</li> </ul> <p>◇原魚確保、生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規雇用 正規 2 名、パート 5 名</li> <li>・メジカ漁師の研修生の受入：2 名〔3 月 1 名、4 月 1 名〕</li> <li>・国交付金の活用による鍋とラベラーの導入、稼働〔5 月～〕</li> <li>・冷凍庫の稼働率の向上に向けた取り組み</li> <li>・HACCP 研修の受講（土佐食）〔7/25～7/26〕</li> </ul> <p>◇商品開発、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節ポン酢の販売開始〔4/15〕</li> <li>・三原村トマト等を活用したドレッシング販売開始〔2 月〕</li> <li>・宗田節だしシリーズの商品の販売促進</li> <li>・ドレッシングの新型ボトルによる販売開始〔7 月〕</li> <li>・宗田だしぼん酢が「高知家のうまいもん大賞-2017-」優秀賞を受賞〔12 月〕</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係団体との連携体制の構築 ⇒メジカ関連クラスターの形成に向けた、民間、行政等関係団体の参画による協議の仕組みづくりと連携体制強化</li> <li>・需要に対応した生産ラインの確立 ⇒衛生管理の向上、生産の効率化など、生産体制の更なる充実、強化</li> <li>・商品力の強化と販路拡大に向けた取り組みの強化 ⇒市場ニーズに対応した商品づくりの継続的な展開</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 19 だしが良くでる宗田節商品の販路拡大促進事業（土佐清水市）</p> <p>《事業主体》 ・(株)ウェルカムジョン万カンパニー</p> <p>※地域産業クラスター関連（幡多地域広域水産業クラスター）</p>	<p>[目標 (H31) ] 販売額：70,000 千円&lt;H26：47,600 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標] 販売額：70,000 千円</p> <p>[取組状況] 販売額〔1～12月〕：91,242 千円（前年比 148.0%）</p> <p>◇外商活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会等へ参加 2回</li> <li>・県内外の催事での販促 PR 活動 7回（東京：4回、須崎市1回、福岡市1回、広島県1回）</li> <li>・産地視察型商談会へ参加〔5/31〕</li> <li>・スーパーマーケット・トレードショーへの参加〔2/15～2/17〕</li> </ul> <p>◇生産体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賞味期間にかかるデータ収集〔4月～〕</li> <li>・衛生管理トップセミナーへ参加〔6月〕</li> <li>・HACCP 研修へ参加〔7月〕</li> <li>・カビ対策のための食品乾燥機と容器洗浄機の更新〔8月〕</li> <li>・HACCP アドバイザーによる書類作成指導〔11/9〕</li> <li>・HACCP アドバイザーによる現地指導〔1/27〕</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアでの知名度を活かしたビジネス展開 ⇒県外での商談会や催事等への積極的な参加</li> <li>・需要に応じた生産体制（人的体制を含む）の再構築 ⇒パート職員の増強を含めた生産ラインの見直し</li> <li>・研修を踏まえた県版 HACCP の早期取得 ⇒社員教育のためのアドバイザーの導入</li> </ul>
<p>■No. 20 幡多地域産品販売体制構築事業（幡多地域全域）</p> <p>《事業主体》 ・宿毛市 ・土佐清水市 ・四万十市 ・大月町 ・三原村 ・黒潮町 ・生産者 ・加工事業者</p>	<p>[目標 (H31) ] —</p> <p>[H28 到達目標] 関係者による組織体制の基盤づくり</p> <p>[取組状況] ◇推進組織体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設立準備会の開催〔4/18、4/28〕</li> <li>・協議会の設立〔5/19〕</li> <li>・作業部会の開催〔6/7、7/21、8/17、9/29、12/9、1/27〕</li> <li>・進捗管理のための推進チームの発足〔6月〕</li> <li>・事業計画、年間スケジュール等の策定〔5月〕</li> <li>・事業者のリストアップと商品提案書の作成促進〔6月〕 ⇒事業者が計 23 品の提案書を作成</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県版 HACCP 取得に向けた意識の啓発 [6月]</li> <li>・ フェア開催に向けた事業者との協議 [8月、10月]</li> <li>・ 量販店での幡多フェアの開催 [10/1～10/2] ⇒23 事業者参加</li> <li>・ 土佐清水ワールド(神戸市)での幡多フェア [12/1～1/31]</li> <li>・ 地域本部と合同で物流研修会を実施 [1/27]</li> <li>・ (株)ワールド・ワンと幡多6市町村との連携協定締結 [2/17] ⇒土佐清水ワールド幡多バルオープンイベントへの参加 [3/3]</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6市町村の結束力や連携体制の一層の強化、担当窓口の機能強化 ⇒関係者による定期的な会議等の開催</li> <li>・ 外商活動や商品 PR などの具体的な販売戦略の構築 ⇒更なる事業者のラインナップの充実と商品提案書の作成に向けた取り組みの展開 ⇒外商活動の展開(産地視察型商談会の開催、県外バイヤーの招聘、四万十まるごと幡多まつりなど)</li> <li>・ 効率的な情報の収集と関係者での共有 ⇒外商に意欲的な事業者の掘り起こしやニーズ把握、ネットワークの構築に向けた事業者調査の実施</li> </ul>
<p>■No. 21 「いちじょこさん市場」を拠点とした中心市街地活性化推進事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まちづくり四万十(株)</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>売上高：62,935千円&lt;H26：44,250千円&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>売上高：45,000千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>売上高 [5～2月]：33,927千円(前年同期比93.5%)</p> <p>◇販売促進に向けた取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集出荷業務の継続 (集荷者数 35名、出荷者数 136名をキープ)</li> </ul> <p>◇地域拠点としての機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PRによる催事スペースの有効活用(老人クラブ等)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 店舗の継続に向けた経営改善 ⇒出荷者の拡大など集出荷体制の強化</li> <li>・ 生産体制の強化 ⇒人材の確保と育成</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 22 栗からはじまる西土佐地産外商プロジェクト推進事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)しまんと美野里</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>栗加工品製造量: 8.0 t &lt;H26: 4.0 t&gt;</p> <p>原材料(生栗)仕入量: 12 t &lt;H26: 6.5 t&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>栗加工品製造量: 6.0 t</p> <p>原材料(生栗)仕入量: 10 t</p> <p>[取組状況]</p> <p>栗加工品製造量[6~2月]: 6.1 t (前年同期比 110.9%)</p> <p>原材料(生栗)仕入量[6~2月]: 9.8 t (前年同期比 118.1%)</p> <p>◇商品の付加価値化と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パウダーを活用した商品開発(ビスケット、焼きショコラ、マシュマロ、ミレーサンド)、道の駅を中心に販売開始</li> <li>・生産体制の充実、強化(焼き栗の加工機械の導入)</li> <li>・焼き栗の出張販売[10/17~10/19 ものづくり総合技術展、あぐり窪川、高知市内スーパー、高松市大手スーパー等]</li> </ul> <p>◇栽培しやすい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農家定例会の開催[4/18、6/22、8/27、1/27]</li> <li>・集出荷システム、作業道整備、獣害対策網設置[9月]</li> </ul> <p>◇地域の素材を活かした加工品づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユズ製品の加工、販売</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安定的な栗の仕入れ ⇒JA 高知はたなど関係機関との連携強化</li> <li>・道の駅を中心とした販売促進、PR ⇒道の駅での統一した商品ラベルの作成と貼付</li> </ul>
<p>■No. 23 四万十牛の生産・販売拡大事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)四万十牛本舗</li> <li>・西土佐中央牧場</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 200,000 千円 &lt;H26: 131,446 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高: 150,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇販路拡大と新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新メニューの開発 1件(牛スジ煮込み)</li> <li>・道の駅「よって西土佐」との連携(弁当、食堂メニュー)</li> </ul> <p>◇原材料供給体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レンタル牛舎の運営開始(3月完成、4月運営開始)</li> <li>・ブランド牛(飛騨高山市)の視察、研修[6/3~6/5]</li> <li>・飼育頭数の拡大(130頭(9月)→年度内200頭へ)</li> <li>・プロジェクトチームの編成協議[10/25、11/4、1/5]</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブランド化に向けた取り組み ⇒四万十牛の認知度の拡大に向けた商品開発や店舗のPR及び販促活動の強化</li> <li>・道の駅を通じた加工品の販売促進 ⇒消費者ニーズに対応した継続的な商品づくり ⇒継続的な新たな加工品等の開発</li> <li>・糞尿処理対策、繁殖農家の確保など、一連の課題解決 ⇒関係機関の連携による農業好循環の推進体制の構築</li> </ul>
<p>■No. 24 売り出せ西土佐プロジェクト推進事業(拠点ビジネス)(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)西土佐ふるさと市</li> <li>・四万十市</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 120,200千円&lt;H26: 0円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高: 100,336千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高[3月末見込み]: 166,000千円</p> <p>◇地域ならではの商品づくり、販売活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅「よって西土佐」開業 3/31 プレオープン、4/10 グランドオープン 5/27 来店40,010人、9/22 来店100,000人突破 10/8 よって西土佐まつやまオープン 2月末 レジ通過者数167,196人</li> <li>・各種イベントへの出店 (週休日、ゴールデンウィーク等に実施)</li> <li>・旬の作物フェアの開催(毎月)</li> <li>・名古屋JTБの受入[7~8月]</li> <li>・道の駅での結婚式の開催[9/24]</li> <li>・産振アドバイザーの活用(新商品開発及び既存商品のブラッシュアップ)[10/25、11/25、12/15]</li> </ul> <p>◇周辺施設、商品開発等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街とタイアップしたイベントの開催[11/13]</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗の売上げの拡大 ⇒運営会議の継続的な開催(情報共有・改善点等への対応協議) ⇒新たな商品、メニュー等の開発 ⇒集客アップのためのイベント等の開催</li> <li>・周辺整備の計画づくり ⇒将来を見据えた整備計画の作成</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 25 四万十地域の素材を活かした新たな 外商戦略構築事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しまんと百笑かんばんに㈱</li> <li>・四万十市地域商品研究会</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品売上高: 50,000千円&lt;H26: 30,000千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>商品売上高: 40,320千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>商品売上高〔2月末〕: 44,754千円(前年同期比159.2%)</p> <p>◇自社商品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山椒を活用した「だし醤油」の開発</li> <li>・フルフルドレッシングのニューバージョン開発に向けたクラウドファンディング開始〔12/22～〕 ⇒フルフルのイタリアンバージョン完成〔2月〕</li> <li>・我家のだしシリーズ(5種)のリニューアル ⇒賞味期限が6か月から1年に延長</li> </ul> <p>◇販売拠点整備と販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外での販促活動(6回)</li> <li>・国内の商談会へ参加(13回)〔5/31、6/28～6/29、6/29、8/2～8/3、8/17～8/19、9/7～9/9、9/14～9/16、10/6、10/18～10/19、1/26～1/27、2/8～2/10、2/15～2/17、2/22～2/23〕</li> <li>・国外での商談会〔4/15(シンガポール)、11/21(台湾)〕</li> <li>・台湾微風広場高知県フェア 〔打ち合わせ6/7～6/11、9/21～9/24〕 〔フェア開催11/10～11/20、17事業者〕 〔フェア後のフォロー1/16～1/19〕</li> </ul> <p>◇その他の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十市地域商品研究会の開催〔4/22、6/24、1/27〕</li> <li>・産業振興計画シンポジウムで事例発表〔5/30〕</li> <li>・衛生管理に係る取り組みの推進(HACCP研修ほか) ⇒食の未来創造セミナー〔6/2〕、HACCP研修〔7/25～7/26〕 HACCP研修補講〔10/25〕、一般衛生管理研修〔11/9〕、 HACCP書類作成アドバイザー〔12/1、1/17〕 HACCPアドバイザー現地指導〔2/24〕</li> <li>・人材育成に向けた取り組みの推進 ⇒第1回人材育成セミナーの主催(23名参加)〔5/27〕 第2回(36名参加)〔7/28〕 第3回(33名参加)〔9/29〕 第4回(28名参加)〔10/26〕 第5回(13名参加)〔11/25〕 第6回(19名参加)〔12/21〕 第7回(10名参加)〔3/3〕</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏での販路拡大 ⇒営業活動拠点の整備に向けた物件等の情報収集</li> <li>・地域商品研究会の活動強化(会員の確保等) ⇒人材育成セミナーの継続開催及び会員募集</li> <li>・現加工場の狭隘対策 ⇒新加工場整備に向けた事業計画及び収支計画の策定</li> </ul>
<p>■No. 26 地元農産物等を活用したペット関連商品の開発・販売拡大事業(四万十市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WAN LIFE</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 10,352千円&lt;H26: 2,088千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高: 6,073千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高〔1~12月〕: 10,821千円(前年比212.3%)</p> <p>◇商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の事業者と連携した商品開発</li> <li>・市内の農産物(芋)の活用に向けた市との協議</li> <li>・産振アドバイザーの活用(新商品の開発など) 〔8/24、9/14、10/6、11/24、2/7〕</li> <li>・ペット博大阪〔9/17~9/19〕でのギフトセット(3種)の試作販売</li> <li>・ギフトセットの開発(HPの販売フォームができ次第、販売開始)</li> </ul> <p>◇販促活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・即売会へ参加 〔4/16 東京自由が丘、4/17 神奈川県鎌倉、7/6~7/11 阪急百貨店うめだ本店(催事)、9/3 阪急百貨店西宮阪急(試食会イベント)、9/4 阪急百貨店うめだ本店(試食会イベント)、2/20~2/23 阪急百貨店うめだ本店(催事)〕</li> <li>・商談会へ参加〔6/10 お台場ペットショップ、9/17~9/19 ペット博大阪、10/22~10/23 ペット博広島、1/7~1/9 ペット博横浜〕 ⇒阪急百貨店のお中元カタログに採用決定〔2月〕</li> <li>・ふるさと納税返礼品への登録に向けセット商品の開発(10種、11/6 エントリー)</li> <li>・ANAの「ペットらくのりサービス」への商品提案の検討</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部での商品の認知度の向上 ⇒都市部での販促活動の展開</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料の確保</li> <li>⇒原材料生産者の情報収集</li> </ul>
<p>■No. 27 四万十の地域食材を中心とした商品 開発・販売事業（四万十市）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)LLP しまんと</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>売上高：37,500千円&lt;H26：24,297千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：29,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高〔3月末見込み〕：21,000千円（前年比85.1%）</p> <p>◇商品のラインナップの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の発売（紫芋かりんとう、黒糖かりんとう）〔4/20〕</li> <li>・ソイチップスの発売に向けた準備（発注ロット数交渉中）</li> </ul> <p>◇販路開拓、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業活動、各種イベント等へ参加 9回 〔4/16、5/3、5/22～5/24、9/5～9/6、10/1～10/2、10/5、10/15、11/11～11/12、11/16～11/20〕</li> <li>・商談等へ参加 8回 〔5/31、7/28、10/27、11/8、11/21、12/21、2/8～2/10、2/15～2/17〕</li> <li>・第一弾のOEM商品の発売開始（黒糖かりんとう） 〔7月末〕</li> <li>・野菜パウダー等を活用したランチの提供</li> <li>・高知県食品外販協同組合に加入〔9月〕</li> </ul> <p>◇組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織を株式会社化〔4/1（9/1完全移行）〕</li> <li>・四万十市地域商品研究会に加入〔5月〕</li> <li>・衛生管理に係るセミナーを受講〔6/2〕</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産コストの縮減 ⇒生産ラインの見直しや原材料等の仕入コストの削減</li> <li>・新商品の販路拡大 ⇒商品のPR活動の強化、販売先の獲得に向けた営業活動の展開</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 28 素材の特性を活かした地域色豊かな 冷凍加工食品の開発・製造・販売事業 (四万十市)</p> <p>《事業主体》 ・(有)和</p>	<p>[目標 (H31) ] 売上高：23,852千円&lt;H26：11,744千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標] 売上高：14,680千円</p> <p>[取組状況] 売上高〔6～1月〕：12,476千円</p> <p>◇販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内外のイベント等での実演販売の実施(58回)</li> <li>・商談等へ参加 13回〔5/31、7/19、7/28、10/6、10/11、10/20、11/1、11/10、11/15～11/17、11/22、11/24、12/9、2/8～2/10〕</li> </ul> <p>◇商品開発及び改良</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3種類の餃子が完成(しいたけ・地鶏・直七鯛(白身魚)と大葉)、既存商品2種のパッケージを改良(2月上旬の商談会にてPR開始)</li> <li>・地元の事業者と連携した肉まん等の開発</li> </ul> <p>◇その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・HACCP研修受講〔7/25～7/26〕</li> <li>・HACCP研修補講受講〔10/25〕</li> <li>・一般衛生管理研修受講〔11/9〕</li> <li>・HACCP書類作成アドバイザー〔12/1〕</li> <li>・HACCPアドバイザー現地指導〔1/17、2/1、2/15〕</li> <li>・食品表示セミナー〔1/16〕</li> <li>・栄養成分表示研修〔2/9〕</li> <li>・地域産業創出I(土佐MBAアドバンス)受講</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・販売先の確保 ⇒商談会等への参加など継続的な外商活動の展開</li> <li>・生産拡大と効率化や衛生管理の徹底のための環境づくり ⇒県版HACCPの取得に向けた取り組みの強化 ⇒HACCPに対応した新たな施設整備の検討</li> </ul>
<p>■No. 29 大月町まるごと販売事業(拠点ビジネス)(大月町)</p> <p>《事業主体》 ・(一財)大月町ふるさと振興公社</p> <p>※地域産業クラスター関連(幡多地域広域水産業クラスター)</p>	<p>[目標 (H31) ] 売上高：2.5億円&lt;H26：1.86億円&gt;</p> <p>[H28 到達目標] 売上高：2.4億円</p> <p>[取組状況] 売上高〔12月末〕：1.49億円(前年同期比100%)</p> <p>◇地場産品総合販売ビジネス(ファンづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客アップに向けた各種イベントの実施〔4/24つつじ祭り、5/5GWイベント、他3回〕</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おおつきふれあいマーケットの実施 〔毎月第3日曜日開催〕</li> <li>・イベント等へ出店 (はた旅観光・物産展海遊館、ウミノフォトフェス等)</li> <li>・商談会、フェアへの出展(食の大商談会〔10/6〕)</li> </ul> <p>◇町内事業者と連携した特産品開發生産ビジネス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通年用の通販ビジネスの検討</li> <li>・ふるさと納税向けの商品ラインナップの充実</li> <li>・テイクアウト商品の開発、販売</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・更なる集客アップに向けた戦略づくり ⇒売店における商品の充実、強化 (幡多地域の商品の充実等) ⇒テイクアウト商品の充実、強化</li> <li>・カタログ、ネット販売やふるさと納税関連の企画販売等の強化 ⇒通年によるカタログ、ネット販売の展開</li> </ul>
<p>■No. 30 苺を核とした6次産業化確立事業 (大月町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農業生産法人 苺氷り本舗(株)</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>販売額：苺氷り 80,000 千円&lt;H26：65,120 千円&gt;           その他 7,600 千円&lt;H26：4,000 千円&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>販売額：苺氷り 70,000 千円           その他 7,600 千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>販売額 [H27.12～H28.11月]：</p> <p>          苺氷り 50,650 千円 (前年比 77.8%)           その他 4,350 千円 (前年比 108.8%)</p> <p>◇販路拡大、広告宣伝活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外での営業活動の展開 (新規案件 15 件)</li> <li>・取引先との関係構築のための販売フォロー</li> <li>・各種イベントへ出店 (Tシャツアート展、ウミノフォトフェス等)</li> <li>・道一 1 グランプリで準優勝 [9/24～9/25]</li> </ul> <p>◇新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OEM 商品の試作 (茨木の小豆、奈良県五條市の柿)</li> <li>・生鮮苺の収穫 (6 t)、栽培</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外での販路拡大、各取引店舗における販売量の増大 ⇒販売先の確保に向けたコンセプトの見直しや経営戦略づくり</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな商品づくり、OEM 生産の促進</li> <li>⇒苺氷り以外の商品づくり</li> </ul>
<p>■No. 31 三原村のどぶろくによる地域活性化事業（三原村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐三原どぶろく合同会社</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>売上高：8,630 千円&lt;H27：4,540 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：5,900 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高 [11～1月]：2,228 千円 (11 月酒類販売免許取得のため)</p> <p>◇組織体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・法人化に向けた取り組み 法人形態や酒類販売免許の協議、税理士を招いた勉強会の開催、関係先との協議など ⇒土佐三原どぶろく合同会社の設立 [7/5]</li> <li>・事務局体制の整備 新規雇用 (1 名) [7 月～]</li> <li>・酒類販売免許 (一般酒類販売免許、通信販売酒類小売業免許、洋酒卸売免許) の取得 [11/8]</li> <li>・産振アドバイザーの導入 (経営戦略の構築及び新商品の開発) [2 月]</li> </ul> <p>◇販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント・商談会への出展：24 回 (宿毛市産業祭、大月町ウミノフェス、ヒメノボタンの里めぐり、ふるさと祭り (高知市)、どぶろく祭り、トップバイヤーによる個別商談会、県庁生協での販売等)</li> <li>・クラウドファンディングの活用について金融機関と協議開始</li> <li>・季節限定商品の開発 (新米仕込み、お歳暮)</li> <li>・全国どぶろく研究大会への出展 [2 月]</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経営戦略の構築 ⇒情報発信力の強化、三原村へ来てどぶろくを飲んでもらえるような仕掛け、酒屋や料理店等との連携</li> <li>・新商品の開発・販売 ⇒季節限定商品や加工品等新たな商品の開発</li> <li>・販路の拡大 ⇒県外での P R 活動、商談会等への参加</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 32 地域産トマトの加工・販売の推進事業 (三原村)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(株)ベストグロー</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>売上高：65,000 千円&lt;H26：32,850 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：40,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高〔5～11月〕：32,877 千円 (前年同期比 134.0%)</p> <p>◇生産体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○青果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町での生産開始〔7月〕、出荷開始〔8月〕</li> </ul> </li> <li>○加工品 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発等に係わる加工機械の導入 (10月：充填機、攪拌機、ラベル貼り機、真空包装機)</li> <li>・ボイラー槽の整備〔12月〕</li> <li>・HACCP研修へ参加 (2名：7/25、7/26)</li> </ul> </li> </ul> <p>◇加工品の販売促進と新商品の開発等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商談会への出展 (7回：フードランド (高知市)、土佐の宴 (大阪市)、(株)エームサービス商談会、アグリフード (大阪市) 等)</li> <li>・GABA (新たに栽培したトマト) のジュースを新商品として検討中 (H28 年度内商品化予定)</li> <li>・トマトピューレ等の商品化の検討中</li> <li>・小規模事業者持続化補助金の交付決定 (7月：パッケージ、カタログ作成)</li> <li>・産振アドバイザーの活用 (商品開発)〔2月〕</li> </ul> <p>◇新規雇用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四万十町での生産開始による雇用の創出：23人 雇用人数：4人〔5月〕→27人〔2月〕</li> </ul> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品の開発 ⇒商品開発アドバイザー派遣〔H29.4月予定〕</li> <li>・加工品の生産・販売体制の充実・強化 ⇒各種商談会への参加等による販路開拓</li> </ul>
<p>■No. 33 天日海塩を活用したビジネス推進事業 (黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>・(有)ソルティープ</p>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>売上高：23,000 千円&lt;H27：12,000 千円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高：15,000 千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高〔3～12月〕：12,698 千円 (前年同期比 105.2%)</p> <p>◇生産施設の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規雇用1名〔4月～〕</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製塩施設の整備 [4月着工、11月完成]</li> <li>◇販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな販促ツール(リーフレット等)の作成 [8月]</li> <li>・県外での外商活動の展開3回 <ul style="list-style-type: none"> <li>居酒屋産業祭 [8・9月 2業者と取引開始]</li> <li>食の大商談会 [10月]</li> <li>土佐の宴 [11月]</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>◇その他の取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内事業者との協働による新商品の開発:販売開始3件のりしおつくだに [6月販売開始]</li> <li>塩飴、塩ラスク [10月販売開始]</li> <li>・町のふるさと納税返礼品への出品(塩商品+塩づくり体験) [7月]</li> <li>・塩づくり体験の受入[12月末]:256名(前年同期比74.9%)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の知名度アップと更なる販路の拡大 ⇒各種商談会への参加による販路開拓の促進</li> <li>・県内事業者等への天日塩の活用促進 ⇒県内事業者との連携強化による新たな商品の開発や素材活用の提案</li> <li>・塩づくり体験への誘客促進 ⇒体験観光の促進に向けた体験施設の整備及び案内看板等の設置</li> </ul>
<p>■No. 34 佐賀地域の資源を活用した拠点ビジネス推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)なぶら土佐佐賀</li> <li>・黒潮町</li> </ul>	<p><b>[目標(H31)]</b></p> <p>売上高:209,945千円&lt;H26:118,658千円&gt;</p> <p><b>[H28到達目標]</b></p> <p>売上高:199,829千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>売上高[3月末見込み]:170,000千円(前年比104.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇組織体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規雇用1名[4月~]</li> <li>・産振アドバイザーを活用した社員教育の実施(棚卸等に係る勉強・接遇研修、2・3月)</li> <li>・売上アップに向けた戦略の構築</li> </ul> </li> <li>◇町内の関係施設と連携した商品開発、販売促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒潮一番館との連携(小鉢メニューの充実、強化)</li> <li>・地元水産業者のチラシへの商品掲載(文旦ゼリー入り塩ソフト)[6~8月]</li> <li>・新メニューの開発(お子様セット、ビールセット等)</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントの実施(2周年記念イベントの開催〔4月〕、カツオと鯉のぼりの川渡しフェスティバルとの連携〔5月〕、歌って走ってキャラバンバン〔7月〕等)</li> <li>◇ 観光案内等の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幡多広域観光協議会によるデジタルサイネージ設置〔4月〕</li> <li>・ 幡多地域の観光PRパンフレット、ちらし等の収集、配布</li> </ul> </li> <li>[課題と今後の対応] <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 誘客促進のための魅力ある店舗づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒ 定期的なイベント等の開催</li> <li>⇒ 観光等の幡多地域の情報発信機能の強化</li> <li>⇒ 商品の品揃えの充実、商品アイテムや数量の増大、スペースの有効活用</li> <li>⇒ 食事メニューの充実</li> <li>⇒ 黒潮一番館など地元の事業者や関係機関との更なる連携強化</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
<p>■ No. 35 幡多地域の資源を活用した水産加工品等販売促進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (有)土佐佐賀産直出荷組合</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高: 130,310千円&lt;H26: 84,159千円&gt;</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高: 115,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高〔H28.3~H29.2月〕: 87,112千円(前年比119.1%)</p> <p>◇ 商品開発、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生協系の事業者を通じたカタログ販売の実施</li> <li>・ 県内外でのPR販売・営業活動の展開5回 <ul style="list-style-type: none"> <li>シーフードショー〔8月〕</li> <li>ふるさとコレクション〔8月〕</li> <li>日本名門酒会の催事〔9月〕</li> <li>県外大手事業者の視察受入れ〔9月〕</li> <li>もどりカツオ祭り〔10月〕</li> </ul> </li> <li>・ 海外での営業活動の展開 <ul style="list-style-type: none"> <li>高知県物産展 in 台湾〔11月〕</li> </ul> </li> <li>・ 新商品の開発2件(シイラのチーズ春巻き(販売開始)、カツオのなめろう(改良中))</li> <li>・ 生産効率アップのための生産機器の導入(フィレマシーン、ヘッドカッターなど)</li> </ul> <p>◇ スタッフ教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ HACCP研修〔7月〕</li> <li>・ HACCPアドバイザー派遣〔9月〕</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県版 HACCP 第 3 ステージの取得(県内水産加工事業者初) 〔12 月〕</li> <li>◇生産の担い手対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規雇用 3 名 (製造 1 名、事務 1 名〔4 月～〕、製造 1 名〔6 月～])</li> <li>・パート 1 名を正社員化</li> </ul> </li> <li>[課題と今後の対応] <ul style="list-style-type: none"> <li>・生協系の取引先へのさらなる販売拡大 ⇒生協系の主要取引先(4 社)との連携強化による取引量の増大</li> <li>・県外での PR 販売など営業活動の強化 ⇒中部地区をターゲットとした販路開拓</li> <li>・従業員教育の強化 ⇒県版 HACCP 第 3 ステージに基づく衛生管理手順の遵守及び社員教育の継続的な実施</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 36 地域資源を活かした防災関連商品推進事業(黒潮町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒潮町</li> <li>・(株)黒潮町缶詰製作所</li> </ul>	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高:1 億円&lt;H26:0.13 億円&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>売上高:0.5 億円</p> <p>[取組状況]</p> <p>売上高〔3 月末見込み〕:0.5 億円(前年比 131.6%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇施設・体制の強化充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規雇用 1 名(品質管理担当)〔4 月～〕</li> <li>・施設改修工事(作業場の増設)に向けた調整</li> <li>・各種研修会の受講(県版 HACCP、食品表示等)〔6 月・7 月〕</li> </ul> </li> <li>◇新商品の開発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発や製造工程に係る現場研修 2 回</li> <li>・グルメ缶の新商品開発 10 品 うなぎの蒲焼〔7 月販売開始〕 栗ぜんざい・ブリ大根〔9 月販売開始〕 シイラとタケノコのアヒージョ〔11 月販売開始〕等</li> </ul> </li> <li>◇販路拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体や金融機関への備蓄用缶詰の営業活動</li> <li>・トップセールスの実施</li> <li>・イベント等への出店 13 回 T シャツアート展〔5 月〕 四万十まるごと幡多まつり(津山)〔10 月〕 黒潮町まるごと産業祭〔11 月〕 ものづくり総合技術展〔11 月〕等</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>⇒新規契約【備蓄】金融機関3件、自治体9件、民間3件 【グルメ】17店舗</p> <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質管理、衛生管理体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒県版 HACCP の取得に向けた取り組みの強化</li> <li>⇒継続的な社員教育の実施(現場研修による社員教育の実施)</li> </ul> </li> <li>・売上アップに向けた販売戦略の確立 <ul style="list-style-type: none"> <li>⇒備蓄用缶詰、グルメ缶詰ごとのターゲットを絞った販路開拓</li> </ul> </li> </ul>
<p>■No. 37 幡多広域における滞在型・体験型観光推進プロジェクト(幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社) 幡多広域観光協議会</li> </ul> <p>※地域産業クラスター関連(幡多地域広域水産業クラスター)</p>	<p>[目標(H31)]</p> <p>入込客数: 1,296,000人 &lt;H26: 1,274,622人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>入込客数: 1,296,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>◇商品造成・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土佐の観光創生塾」への参加[6回]</li> </ul> <p>◇誘客促進の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般旅行: 高知県観光コンベンション協会主催のセールスキャラバン参加[5/26~5/27 東京、6/9 大阪] <ul style="list-style-type: none"> <li>高知県観光説明会[6/21~22 名古屋、岡山]</li> <li>四国ツーリズム創造機構主催[9/29 東京、10/12 大阪]</li> <li>外国客船誘致商談会(2/21 高知市)</li> </ul> </li> <li>・教育旅行: 関西でのセールス活動[6/13~6/14、2/24] <ul style="list-style-type: none"> <li>関東でのセールス活動[12/12~14]</li> </ul> </li> <li>・受入実績[3/7 現在]: 1,848人 <ul style="list-style-type: none"> <li>小学生 293人(6校)</li> <li>中学生受入 529人(5校) <ul style="list-style-type: none"> <li>(関西圏 473人、韓国 56人)</li> </ul> </li> <li>高校生 1,029人(14校)</li> </ul> </li> </ul> <p>◇組織強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広域観光推進部会等の開催[4/8、5/30、6/2、11/8]</li> <li>・藤沢アドバイザーによる現地指導アドバイス <ul style="list-style-type: none"> <li>[5/10~5/11、11/8]</li> </ul> </li> <li>・日本版DMO候補法人登録[8/31]</li> <li>・幡多エリア観光人財育成研修ツアーの開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>[1/17、2/7、2/15、3/1] 参加者数 125人</li> </ul> </li> <li>・四国運輸局との二次交通対策勉強会の開催[1/26~1/27]</li> </ul>



項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周遊観光につなげる旅行商品づくり ⇒「土佐の観光創生塾」の参加関係団体等と連携した周遊観光商品づくり</li> <li>・誘致促進に向けた取り組み ⇒高知県、高知県観光コンベンション協会や市町村等と連携した誘致活動の継続 愛媛県南予地域と連携したPR活動の展開やインターネット広告等を活用した誘客促進PRの展開</li> <li>・関係団体と連携した組織強化 ⇒多様な関係者と連携し、日本版DMO候補法人登録を活かした観光地づくり</li> </ul>
<p>■No. 38 幡多広域におけるスポーツツーリズムを核とした交流人口拡大プロジェクト (幡多地域全域)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一社) 幡多広域観光協議会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>入込客数：8,470人&lt;H26：4,600人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>入込客数：5,291人</p> <p>[取組状況]</p> <p>入込客数 [1/7 現在]：4,701人</p> <p>◇地域の受入体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験、民泊の受入体制づくり</li> <li>・集落活動センター等と連携した受け皿づくり</li> <li>・ミズノカップ等大会の受入(宿毛市、黒潮町) [7月]</li> <li>・関西の高校合宿受入 [10/8～10/10 黒潮、三原]</li> </ul> <p>◇PR、誘致活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関との連携によるプロモーション活動の展開(九州、山陰、中四国、関西、関東等への誘致)</li> </ul> <p>◇広域連携による取り組みの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幡多広域観光協議会におけるワンストップ窓口(予約等)の機能強化</li> <li>・ポータルサイト構築等協議 [8/22、10/25、11/30、1/31、3/13]</li> </ul> <p>◇各市町村内における連携体制の仕組みづくり(サッカー、フットサル、グラウンドゴルフ、野球等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四国ブロック グラウンドゴルフ高知大会視察研修 [9/15]</li> <li>・宿毛市との受入体制構築協議 [10/5、10/11]</li> <li>・神戸大学とのラクロス誘致協議 [10/17]</li> <li>・黒潮町スポーツツーリズム推進会議への参加 (5回)</li> <li>・各市町村別のH29年度事業計画等個別協議 [2/3、2/9、2/16]</li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工芝の完成を見越した施設等のPR促進 ⇒継続的なプロモーション活動の促進 ⇒オープニングイベントを活用したPRによる誘客の検討</li> <li>・スポーツツーリズムに係る広域観光協議会及び各市町村の体制づくり ⇒6市町村の施設概要や受入情報等を提供できる仕組みづくりに向けたポータルサイトの開設(3月予定) ⇒受入体制づくりに向けた各市町村担当課とのさらなる連携強化</li> <li>・観光コンベンションや各種競技団体など関係機関との連携強化 ⇒スポーツツーリズムに係る関係機関との協議の継続</li> <li>・地域の受入体制づくり ⇒観光協会、旅館組合等との受入協議</li> <li>・集落活動センターなど地元住民の積極的な関わり ⇒集落活動センター等を活用した宿泊・お弁当販売、体験受入をセットにした仕組みづくり</li> </ul>
<p>■No. 40 竜串地域観光再生プロジェクト (土佐清水市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土佐清水市</li> <li>・(一社) 土佐清水市観光協会</li> <li>・NPO 竜串観光振興会</li> <li>・竜串自然再生協議会</li> </ul>	<p>[目標 (H31) ]</p> <p>入込客数：125,000人 &lt;H26：95,000人&gt;</p> <p>[H28 到達目標]</p> <p>入込客数：106,250人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇竜串地域の再生に向けた総合的な計画づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体構想の策定に向けた意見交換 [5/13]、協議 [5/17]</li> <li>・道の駅等、周辺施設の整備に向けた検討、協議</li> <li>・土佐清水市観光マスタープラン(素案)の検討 [10/27]</li> </ul> </li> <li>◇竜串地域との連携体制づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験型観光プログラムづくり (土佐の観光創生塾への参加 6/8・6/28、NPO 竜串振興会会長とのプログラム造成等協議 12/12)</li> <li>・各種ツアー、体験型観光メニュー受入 幡多エリア観光人財育成研修ツアーの受入 [1/17、2/15] 参加者数68人</li> <li>・地元調整と住民参画の仕組みづくりに向けた検討 [竜串再生協議会 5/17]</li> <li>・基本計画住民説明会の開催 [11/24]</li> <li>・NPO 竜串振興会理事との連携体制づくり等協議 [2/26]</li> </ul> </li> </ul>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>◇スノーピークを核としたアウトドア施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本計画最終報告書の完成 [11/8]</li> <li>・モニタリングキャンプイベントの実施 [7/16～7/18]</li> <li>・キャンプ場の整備に向けた国等との調整、協議</li> </ul> <p>◇観光拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋館の再整備、ビジターセンター、ジオパークセンターの建設に向けた調整、協議</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体ビジョン策定にかかる行政、民間の連携体制の構築、意思統一 ⇒土佐清水市観光マスタープランの策定</li> <li>・地元を巻き込んだキャンプ場運営に向けた推進体制づくり ⇒定期的な地元説明会の開催による情報提供 ⇒キャンプイベント開催等による地元住民との協働の仕組みづくり</li> <li>・体験型プログラムづくりに向けた体験メニューのブラッシュアップ、人材育成 ⇒地域住民を巻き込んだ体験型プログラムの造成 ⇒地域住民を主体としたインストラクターの育成</li> </ul>
<p>■No. 47 幡多産柑橘等を活用した新たな事業展開による販路拡大等事業 (宿毛市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(有) 成田果樹園</li> </ul>	<p><b>[目標 (H31) ]</b></p> <p>売上高：65,000 千円 &lt;H27 見込：43,000 千円&gt;</p> <p><b>[H28 到達目標]</b></p> <p>売上高：47,000 千円</p> <p><b>[取組状況]</b></p> <p>売上高 [8～12月]：11,792 千円 (前年同期比 96,2%)</p> <p>◇新たな事業展開を見据えた経営戦略と中長期計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産振アドバイザー事業活用 [6月～]</li> </ul> <p>◇販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな購買層に的を絞ったHPのリニューアル</li> <li>・ワークショップの開催 [10/29、11/22、11/23]</li> <li>・発掘・発見商談会 in 幡多 [11/10]</li> <li>・ふるさと納税返礼品への出品</li> <li>・プレスリリース (テレビ、各種雑誌)</li> </ul> <p><b>[課題と今後の対応]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売上アップに向けた新たな市場開拓 ⇒シトラスビューティー(柑橘等を利用した美容と健康の増進)のPR活動の実施 ⇒既存商品(柑橘・加工品)のPR促進</li> </ul>

## 2 平成 28 年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

単位：千円

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
■No. 17 昭和初期からの地域伝統食品の販売拡大等事業（宿毛市）	・羊羹ぱんの駅ナカ催事マーケティング事業 （首都圏駅構内でのテストマーケティング）	1,949 (902)

## 3 県民参画に向けた取組

- ・中村商工会議所総会での第3期計画の説明（5/17）
- ・四万十市西土佐商工会総会での第3期計画の説明（5/20）
- ・産業振興計画シンポジウムの開催（宿毛市、5/30）
- ・大月町行政連絡会（区長会）での第3期計画の説明（5/31）
- ・三原村集落活動センター推進協議会委員総会での第3期計画の説明（6/1）
- ・幡多信用金庫との情報共有会議での第3期計画の説明（6/9）
- ・四国銀行各支店長等と地域本部との情報共有会議での第3期計画の説明（7/11）
- ・高知県信用保証協会幡多支所、幡多信用金庫との勉強会で第3期計画の説明（8/17）
- ・全国町村会小田切ゼミとの意見交換会で第3期計画の説明（8/29）
- ・高知銀行各支店長等との情報共有会議で第3期計画の説明（11/10）
- ・「目指せ弥太郎商人塾 体験講座」で第3期計画の説明（1/24）
- ・「こうち幡多で ICT と雇用創出セミナー」で第3期計画の説明（2/1）

## 4 相談案件：13 件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/10	水産	大学と連携したナマズの養殖について
2	6/6	水産加工	増産や HACCP 取得に向けた設備投資への補助制度について
3	6/9	農産物	新たな柑橘系果物の生産拡大における雇用助成制度について
4	6/16	養鶏	養鶏による地元ブランド造成事業について
5	6/20	観光	交流人口拡大に向けた観光事業会社の起業について
6	7/14	林業	榊の生産・販売の取り組みの法人化について
7	7/16	農業	肥料製造に向けた起業支援について
8	9/6	農業	素粒水を活用した新たな農業の展開について
9	12/5	水産	四万十川での新たな養鰻事業について
10	2/7	林業	備長炭による起業について
11	2/27	水産業	宿毛湾の魚を活用した加工品製造の事業拡大について
12	2/27	農業	天日干しの米作りと農業の体験受入の事業化について
13	2/27	水産業	ツガニの養殖の事業化について